

年 報

# 相模原市の消防

2023

令和5年版

相模原市消防局



# 相 模 原 市 民 憲 章

制定 昭和54年11月18日公告

わたくしたち相模原市民は 相模野の広い台地 相模川の雄大な流れ 先人より受け継いだ開拓の精神や伝統を誇りとし 敬愛と協調を高め 住みよい風格のあるまちへの 限りない発展を願つて この市民憲章を定めます

- 1 青い空 あふれる緑 澄んだ水 うるおいのあるまちをつくります
- 1 いのちを大切にし 思いやりと笑顔で 明るいくらしを築きます
- 1 心とからだをきたえ はげましあい 希望をもつて働きます
- 1 ものをだいじにし きまりや約束を守ることを誇りとします
- 1 おたがいに学びあい 豊かな市民の文化を育てます





## 緊急人員搬送車

【南本署配置 令和4年度製作車両】



# 目 次

◇ 相模原市の概要 ◇	
・ 相模原市の位置	1
・ 人口の推移	2
・ 相模原市勢	2

## 相模原の消防

◇ 相模原市消防の歴史 ◇	
・ 沿革	5
◇ 消防の組織 ◇	
・ 消防局	7
・ 消防署	8
・ 消防機関等一覧表	9
・ 相模原市消防局・消防署及び分署等の分布図	10
◇ 消防の予算 ◇	
・ 市の一般会計予算と消防費との比較	12
・ 令和5年度消防費とその内訳	12
・ 令和5年度主要業務	12
◇ 消防職員 ◇	
・ 職員定数の推移	13
・ 消防吏員の在職年数	14
・ 消防吏員の年齢	14
・ 職員の配置	15
・ 令和4年度研修結果	16
・ 令和4年度消防吏員の公務災害発生状況	19
◇ 国際協力 ◇	
・ 国際消防救助隊	20
・ 車両の寄贈	20
◇ 消防団 ◇	
・ 相模原市消防団の歴史	21
・ 沿革	21
・ 消防団組織図	22
・ 消防団現勢	23
・ 消防団員の産業別構成比	25
・ 消防団員の報酬	26
・ 出動報酬支給実績	26
・ 令和4年度消防団員等の公務災害発生状況	26
・ 令和4年度研修・訓練結果	27
・ 消防団機械器具配置	28

## 災害の警備

◇ 災害出場体制 ◇	
・ 火災出場体制	33
・ 火災以外の出場	34
・ 消防相互応援協定	35
・ 消防広域応援体制	35
・ 国際消防救助隊	35

・救助体制	35
・救助活動の内容	36
・警防計画	36
・職員の訓練	37
◇ 消 防 車 両 ◇	
・製作車両	38
◇ 消 防 水 利 ◇	
・消火栓	40
・防火水槽	40
・プール	40

## 救急

◇ 救 急 ◇	
・救急救命活動	43
・救急隊員の研修	45
・医療機関との連携	46
・市民と救急隊の連携	50

## 火災の予防

◇ 火 災 の 状 況 ◇	
・令和4年中の火災	57
・過去からの火災	58
・月別・地区別火災状況	59
・原因別火災件数と内訳	61
・時刻別の火災件数	61
・火災の覚知別	62
・住宅用火災警報器	62
◇ 火 災 の 予 防 ◇	
・火災予防の年間行事	63
・火災予防の広報	64
・初期消火協力の推進	64
・市民への防火指導	65
・枯草・空家火災防止対策	65
・防火協力団体等の育成指導	66
◇ 防 火 対 象 物 ◇	
・防火対象物と防火管理者の選任状況	67
・中高層建築物	67
◇ 火 災 予 防 の 査 察 ◇	
・査察対象物の区分	69
・査察の種類と実施状況	70
・防火対象物定期点検報告制度対象物状況（敷地数）	71
・防災管理対象物状況（敷地数）	71
◇ 建 築 関 係 ◇	
・消防同意事務	72
・開発事業協議	72

## 危険物の保安

◇ 危 険 物 の 施 設 ◇	
・消防署所別・倍数別施設数	75



・ 類別構成・事務処理状況	76
・ 年度別危険物許可・承認件数	76
・ 認可・届出の取扱	77
・ 年度別危険物施設査察実施状況	77
・ 年度別移動タンク貯蔵所・運搬車両街頭査察実施状況	77
・ 年度別事故発生状況	77
◇ 火薬類の施設 ◇	
・ 区分別施設数	78
・ 査察実施状況	78
・ 事務処理状況	79
・ 年度別事故発生状況	79
◇ 高圧ガスの施設 ◇	
・ 区分別施設数等	80
・ 査察実施状況	80
・ 事務処理状況	81
・ 年度別事故発生状況	81
◇ 液化石油ガスの施設 ◇	
・ 区分別施設数等	82

## 消防通信

◇ 消防通信 ◇	
・ 消防情報管理システム	85
・ 消防緊急情報システムの構成	88
・ ネットワーク構成図（全庁WAN）	89
・ 消防無線通信系統図	90
・ 通報状況	92
・ テレホンサービスの利用状況	92
・ 多言語通訳利用状況	92

## 資料・統計編

### 【総務】

☆ 歴代消防長	95
☆ 歴代消防団長	96
☆ 年度別一般会計と消防費の比較	98
☆ 消防情勢の推移	100
☆ 消防吏員の年齢	102
☆ 消防吏員の在職年数	103
☆ 消防団員の階級別勤務年数	104
☆ 消防団員の階級別年齢	106
☆ 令和4年度退職消防団員の階級別勤務年数	108
☆ 令和4年度退職報償金の階級・勤務年数別支払状況	108

### 【警防】

☆ 消防相互応援協定	109
☆ 火災相互応援状況	109
☆ 航空機特別応援状況	109
☆ 消防水利状況	110
☆ 消防活動状況	111
☆ 各種災害活動状況	112
☆ 救助活動状況	114

☆水防倉庫備蓄状況	115
☆排水ポンプ、土のう備蓄状況	116
☆消防車両の配置状況	117
☆救助隊用資機材配置先	118
☆消防隊・救急隊用資機材配置先	120

## 【救急】

☆地区別救急事故	121
☆月別・曜日別救急事故	122
☆時刻別・覚知別救急出場件数	124
☆程度別・年齢別搬送人員状況	124
☆急病にかかる疾病分類別・傷病程度別搬送人員	125
☆応急処置状況	126
☆診療科目別搬送人員	126
☆過去5年間の救急出場件数と隊別出場件数状況	127

## 【火災予防】

☆地区別・署別・覚知別の火災	128
☆月別・時刻別・曜日別の火災	130
☆原因別・月別の火災発生状況	132
☆建物用途別火災発生状況	134
☆建物用途別出火原因	135
☆令和4年中の主な火災	136
☆防火対象物の地区別・署別・中高層建築物の状況	137
☆防火対象物の防火管理者状況	138
☆防火対象物の中高層別状況	139
☆署別・防火対象物別中高層建築物の状況	140
☆署別・種別対象物数	142
☆防火対象物査察実施状況	143
☆建築物消防同意事務取扱状況	145
☆火災予防上必要な各種申請・届出・願・報告書	146

## 【危険物】

☆危険物施設の状況	147
☆年度別危険物施設数	148
☆署別・類別貯蔵取扱量	148

## 【気象観測】

☆気象観測表	149
☆降雨状況	151
☆気象通報状況調べ	152

## 【旧分署等財産一覧】

☆旧分署等財産一覧	153
-----------	-----

## 【防災対策】

☆総合防災訓練の実施	154
☆個別訓練	154
☆自主防災組織の育成	156
☆避難場所・防災備蓄倉庫の整備	156

# 相模原市の概要

相模原市は、神奈川県北部に位置し、北は東京都、西は山梨県と接し、東西35.6km、南北22.0kmで面積は328.91km<sup>2</sup>と県内では横浜市に次ぐ2番目の広さで、神奈川県北部の大部分を占めています。

本市は昭和29年11月20日に、全国で453番目、県下で10番目の市として誕生しました。昭和30年代になると、企業の進出が活発となり、内陸工業都市として発展し、その後、高度成長に伴い住宅建設が進むことで、人口は急激に増加しました。昭和62年8月に50万人、平成12年5月には60万人を突破し、平成15年には全国で31番目の中核市へ移行しました。その後、津久井郡との合併を経て、平成22年4月、戦後に誕生した市として初めて、全国で19番目の政令指定都市へ移行し、現在の人口は72万人を超えています。

令和4年中の本市の気象は、最高気温37.6、最低気温-3.2で、平均気温は16.3であり、降雨状況は、総降水量1,637.5mm、降雨日数は117日となっています。

消防の活動は、火災件数166件、救急件数42,060件、救助件数842件で、前年比で火災件数、救急件数、救助件数はともに増加しました。

( 気象データは消防指令センター(中央区中央)での観測値 )

## 相模原市の位置

相模原市役所	東経	139度22分26秒	消防局	東経	139度22分13秒
	北緯	35度34分16秒		北緯	35度34分21秒
	海拔	124.21メートル			

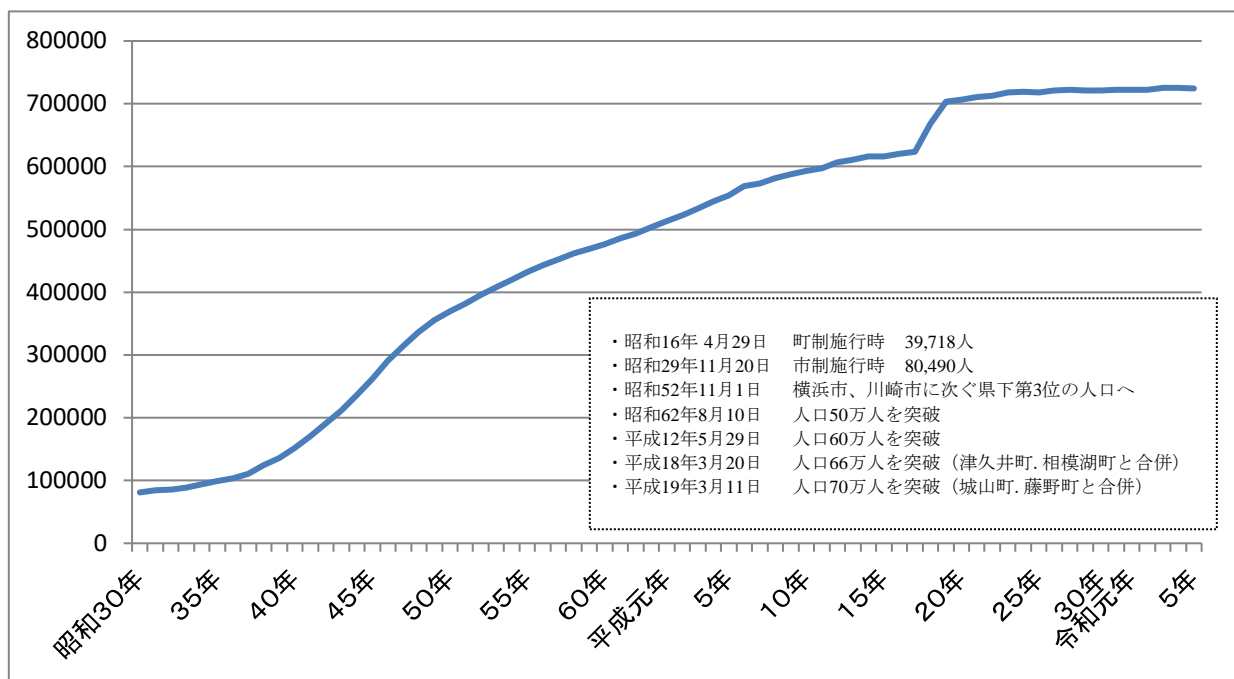
国土地理院地図を参照したもの(参考値)

神奈川県における相模原市の位置



☆人口の推移☆

昭和29年11月20日、市制施行時の人口は8万人で、昭和42年8月に20万人を超え、その後、急激な伸びを示し、昭和46年に30万人、昭和52年11月に40万人を超え、県内では横浜市、川崎市に次ぐ人口3番目の都市となり、昭和62年8月に50万人、平成12年5月には60万人、平成19年3月に70万人を突破し、現在の人口は、724,724人となっています。



☆相模原市勢☆

(令和5. 4. 1)

区・地区名	面積 km <sup>2</sup>	世帯数	人 口			前年比較増減		
			総 数	男	女	世帯	人口	
総 数	328.91	342,866	724,724	360,792	363,932	3,838	△ 645	
緑 区	253.93	76,584	168,035	84,434	83,601	612	△ 982	
中 央 区	36.87	129,012	274,197	136,874	137,323	1,752	428	
南 区	38.11	137,270	282,492	139,484	143,008	1,474	△ 91	
緑 区	橋本地区	7.75	36,497	73,727	37,163	36,564	356	△ 133
	大沢地区	7.62	13,551	32,717	16,363	16,354	129	△ 155
	城山地区	19.91	9,912	23,215	11,534	11,681	149	64
	津久井地区	122.10	10,087	22,950	11,579	11,371	△ 4	△ 434
	相模湖地区	31.61	3,338	7,266	3,711	3,555	8	△ 142
	藤野地区	64.94	3,199	8,160	4,084	4,076	△ 26	△ 182
中央区	小山地区	3.58	10,413	21,001	10,538	10,463	148	96
	清新地区	2.83	16,215	31,753	16,106	15,647	256	138
	横山地区	1.82	6,100	14,598	7,183	7,415	53	△ 73
	中央地区	3.43	19,150	36,558	18,173	18,385	176	△ 94
	星が丘地区	1.39	8,191	17,526	8,788	8,738	92	△ 16
	光が丘地区	2.48	11,184	25,936	12,756	13,180	42	△ 265
	大野北地区	6.45	31,177	63,712	31,705	32,007	419	316
	田名地区	9.68	12,459	30,047	15,121	14,926	327	205
上溝地区	5.21	14,123	33,066	16,504	16,562	239	121	
南区	大野中地区	8.02	28,297	62,922	31,039	31,883	244	△ 147
	大野南地区	5.49	40,736	81,310	40,063	41,247	314	63
	麻溝地区	8.18	7,703	18,743	9,412	9,331	170	45
	新磯地区	6.03	5,469	13,228	6,670	6,558	69	23
	相模台地区	5.70	23,126	45,093	22,281	22,812	391	110
	相武台地区	1.72	10,091	19,138	9,377	9,761	90	△ 108
	東林地区	2.97	21,848	42,058	20,642	21,416	196	△ 77

# 相模原の消防



# 相模原市消防の歴史

本市の常備消防は、昭和30年5月に市役所総務課に消防係を設置し、同年10月在日米陸軍補給廠から寄贈された消防ポンプ自動車1台を配置し、市職員15名による特設消防隊を編成しました。

昭和31年5月に市役所行政機構改革により、消防係を民生部消防課に昇格、昭和32年9月市議会において常備消防本部の設置が決定されました。

昭和33年1月消防本部を設置し、消防士12名を採用、同年4月消防署を開署し、6人編成による消防隊を配置しました。

平成18年3月20日、津久井郡津久井町及び相模湖町と合併し、市域が拡大するとともに、津久井郡広域行政組合消防本部と組織統合し、津久井郡城山町及び藤野町の常備消防事務を受託していましたが、平成19年3月11日、津久井郡城山町及び藤野町と合併したことから、受託はなくなりました。

平成19年4月の組織改正に伴い、局制が施行され名称が相模原市消防局となりました。

令和3年4月の組織改正に伴い、部制が施行され2部制（消防部・警防部）での運用となりました。

## 沿革

- |       |                                                               |
|-------|---------------------------------------------------------------|
| 昭和33年 | 消防庁舎建設、消防ポンプ自動車1台、職員19名で業務開始、消防士12名採用（1月）、消防士11名採用（3月～6月）     |
| 昭和34年 | 消防制度審議会設置、水槽付消防ポンプ自動車、指令車を購入                                  |
| 昭和36年 | 消防署南出張所開設、消防ポンプ自動車1台、職員16名で業務開始                               |
| 昭和37年 | 消防署橋本機関員派出所開設、消防ポンプ自動車1台、職員12名で業務開始                           |
| 昭和38年 | 消防制度審議会廃止、救急業務開始、電話交換機設置                                      |
| 昭和39年 | 消防署橋本機関員派出所を橋本出張所と改称                                          |
| 昭和40年 | 本部に庶務課、警防課設置、南出張所救急業務開始、淵野辺出張所開設、職員12名で業務開始                   |
| 昭和41年 | 消防専用電話設置、救急用器材を購入                                             |
| 昭和42年 | 救助用器材の整備                                                      |
| 昭和43年 | 庶務課に庶務係、管理係設置、消防署相陽出張所開設、職員6名で業務開始                            |
| 昭和44年 | 消防署田名分署開設、消防ポンプ自動車1台、職員10名で業務開始                               |
| 昭和46年 | はしご付クレーン自動車購入、南出張所に赤バイ配置、日本損害保険協会から化学消防ポンプ車の寄贈、               |
| 昭和47年 | 消防本部庁舎完成、水槽付消防ポンプ自動車購入、消防署麻溝台分署を開設、職員12名で業務開始                 |
| 昭和48年 | はしご付消防ポンプ自動車、ミニ消防自動車購入、田名分署に救急自動車を配置し職員6名で業務開始                |
| 昭和49年 | 橋本分署移転、麻溝台分署に救急自動車を配置し業務開始（消防隊兼務）                             |
| 昭和50年 | 南分署を南消防署に昇格、大沢分署を開設、消防ポンプ自動車1台、職員10名で業務開始                     |
| 昭和51年 | 東林分署を開設、消防ポンプ自動車1台、職員12名で業務開始                                 |
| 昭和52年 | 大沼分署を開設、消防ポンプ自動車1台、職員13名で業務開始                                 |
| 昭和53年 | 相原分署を開設、消防ポンプ自動車1台、職員13名で業務開始、消防本部に防災課を設置、職員6名で業務開始           |
| 昭和54年 | 日本損害保険協会から救急自動車の寄贈、警備課に訓練指導係設置、橋本分署に救急自動車を配置し業務開始             |
| 昭和55年 | 消防本部に通信課を設置、職員18名で業務開始                                        |
| 昭和56年 | 日本損害保険協会から高発泡車の寄贈、消防ポンプ自動車、査察車、救急自動車、指揮車購入、大沼分署に救急自動車を配置し業務開始 |
| 昭和57年 | 緑が丘分署を開設、消防ポンプ自動車1台、高発泡車1台、職員22名で業務開始、人員搬送車、救急自動車購入           |
| 昭和59年 | 「常設消防二十五年の歩み」発刊                                               |
| 昭和60年 | 相武台分署を開設、消防ポンプ自動車1台、はしご付消防ポンプ自動車1台、職員25名で業務開始、気象情報収集システムの運用開始 |
| 昭和61年 | 淵野辺分署移転、行政組織変更に伴い警備課に通信課を統合                                   |

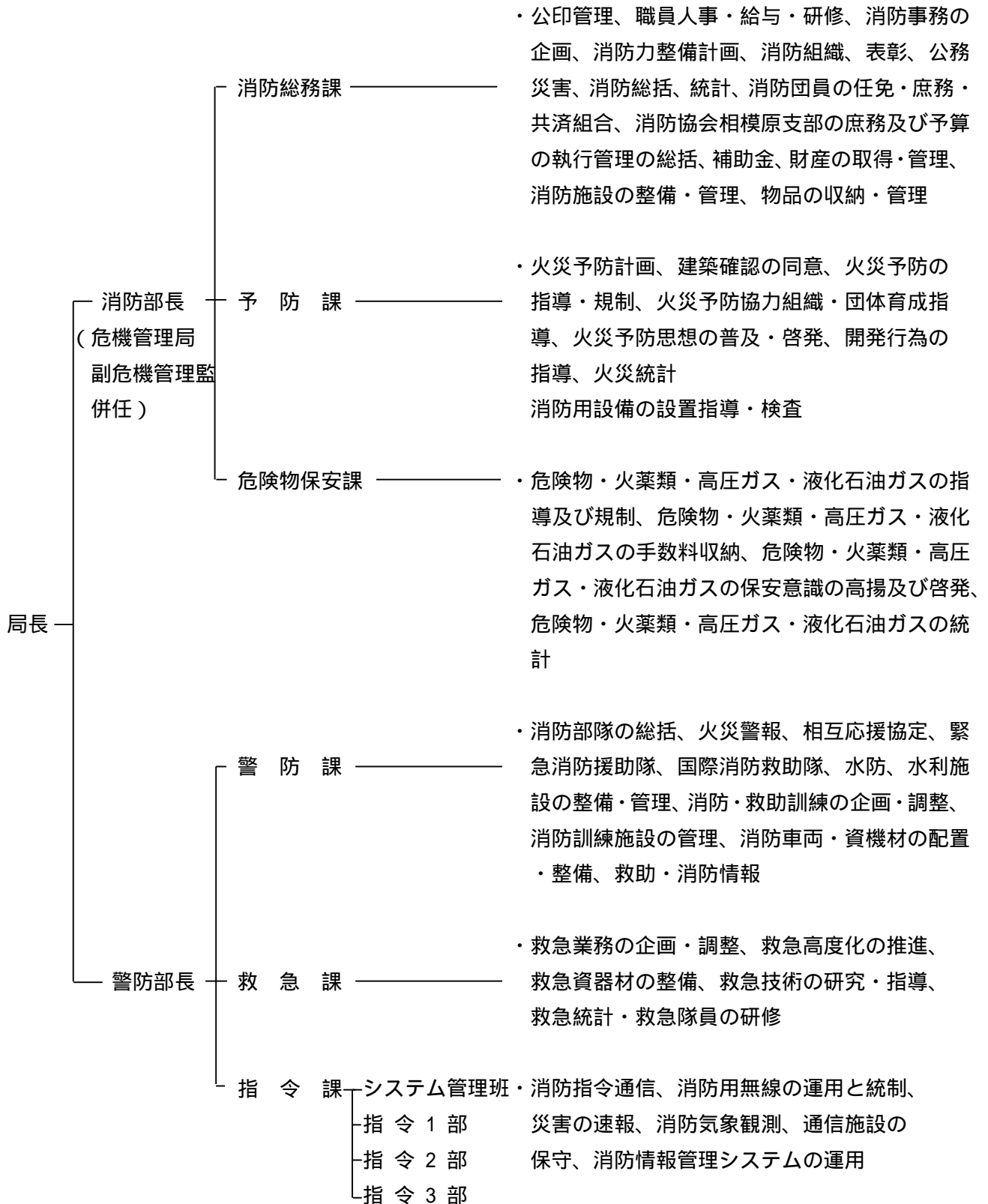
昭和62年	南消防署庁舎建て替え
昭和63年	消防指令センター - 建設着工、「相模原消防史」発刊
平成元年	緑が丘分署に救急自動車を配置し業務開始、消防指令センター完成
平成2年	消防・防災緊急情報システム運用開始、行政組織変更に伴い指令課を設置
平成3年	上溝分署を開設、水槽付消防ポンプ自動車1台、職員16名で業務開始、上鶴間方面分署建設着工
平成4年	上鶴間分署を開設、水槽付消防ポンプ自動車1台、職員16名で業務開始
平成5年	高規格救急自動車導入、救急救命士業務開始
平成6年	組織改正に伴い消防署に課制を導入（警備課、査察指導課）、防災消防訓練場開設
平成7年	淵野辺分署に高規格救急自動車を配置し業務開始、大沼分署改築工事に伴い仮眠室個室化推進
平成8年	大沢分署移転、高規格救急自動車を配置し業務開始
平成9年	上鶴間分署に高規格救急自動車を配置し業務開始
平成10年	上溝分署に高規格救急自動車を配置し業務開始、田名分署・橋本分署に高規格救急自動車を導入、緑が丘分署に高所救助車を導入、相原分署・上鶴間分署の仮眠室個室化
平成11年	橋本分署を北消防署に昇格、緑が丘分署の仮眠室個室化、大沼分署に高規格救急自動車を配置
平成12年	警防課の課内室とし救急対策室を設置、麻溝台分署の仮眠室個室化
平成13年	国際消防救助隊に隊員8名を登録、田名分署を移転し救助隊を設置、相武台分署の仮眠室個室化
平成14年	北消防署にはしご付消防自動車を配置、淵野辺分署の仮眠室個室化
平成15年	指令課及び相模原消防署本署の仮眠室個室化
平成16年	救急対策室が救急対策課、東林分署の仮眠室個室化
平成17年	上溝分署の仮眠室個室化
平成18年	津久井町及び相模湖町と合併、津久井郡広域行政組合と組織統合、城山町及び藤野町の区域の常備消防を受託、津久井消防署が加わり4消防署14分署2出張所1派出所の体制になるとともに津久井消防署に指揮隊・救助隊を設置、相陽分署廃止、新磯分署を開設し救急隊を設置、南消防署の仮眠室個室化
平成19年	指令システム更新（津久井消防署と指令システムの統合）、城山町及び藤野町と合併、相模原市消防局に名称変更、防災課が市民局防災安全部防災支援課へ、城山分署が津久井消防署から北消防署へ、相模原消防署本署に災害活動支援車を配置
平成20年	「相模原消防史（50周年）」発刊、相模原消防署に高度救助隊を創設、城山分署の仮眠室個室化
平成22年	相模原市が全国で19番目の政令指定都市へ移行 組織改正に伴い警防課と救急対策課を統合し、警防・救急課を設置
平成23年	相模原消防署に特別高度救助隊（愛称：スーパーレスキューはやぶさ）を創設
平成24年	相原分署に高規格救急自動車を配置し業務開始、南消防署に高度救助隊を発隊
平成25年	藤野分署移転、三井防災消防訓練場開設
平成27年	相原分署庁舎建て替え、組織改正に伴い警防課、救急課設置、デジタル消防救急無線整備完了
平成29年	青根出張所の移転に伴い青根分署に昇格、高規格救急自動車を配置し業務開始
平成30年	組織改正に伴い危険物保安課設置、津久井消防署査察指導課改廃
平成31年	相模原消防署警備課に日勤救急隊を配置し業務開始
令和2年	南消防署警備課に日勤救急隊を配置し業務開始
令和3年	消防部・警防部の設置、相模原消防署警備課に2隊目の当直救急隊を配置し業務開始、大沼分署中規模改修
令和5年	消防指令センターに火災調査室を設置



# 消防の組織

昭和23年消防組織法が施行され、市町村に消防責任が付与されました。本市の常備消防は、発足以来消防力の強化拡充に努め、現在、1局、2部、4署、15分署、1出張所、1派出所、職員定数732名となっています。

消防局 6課 120名(実員) (令和5.4.1)



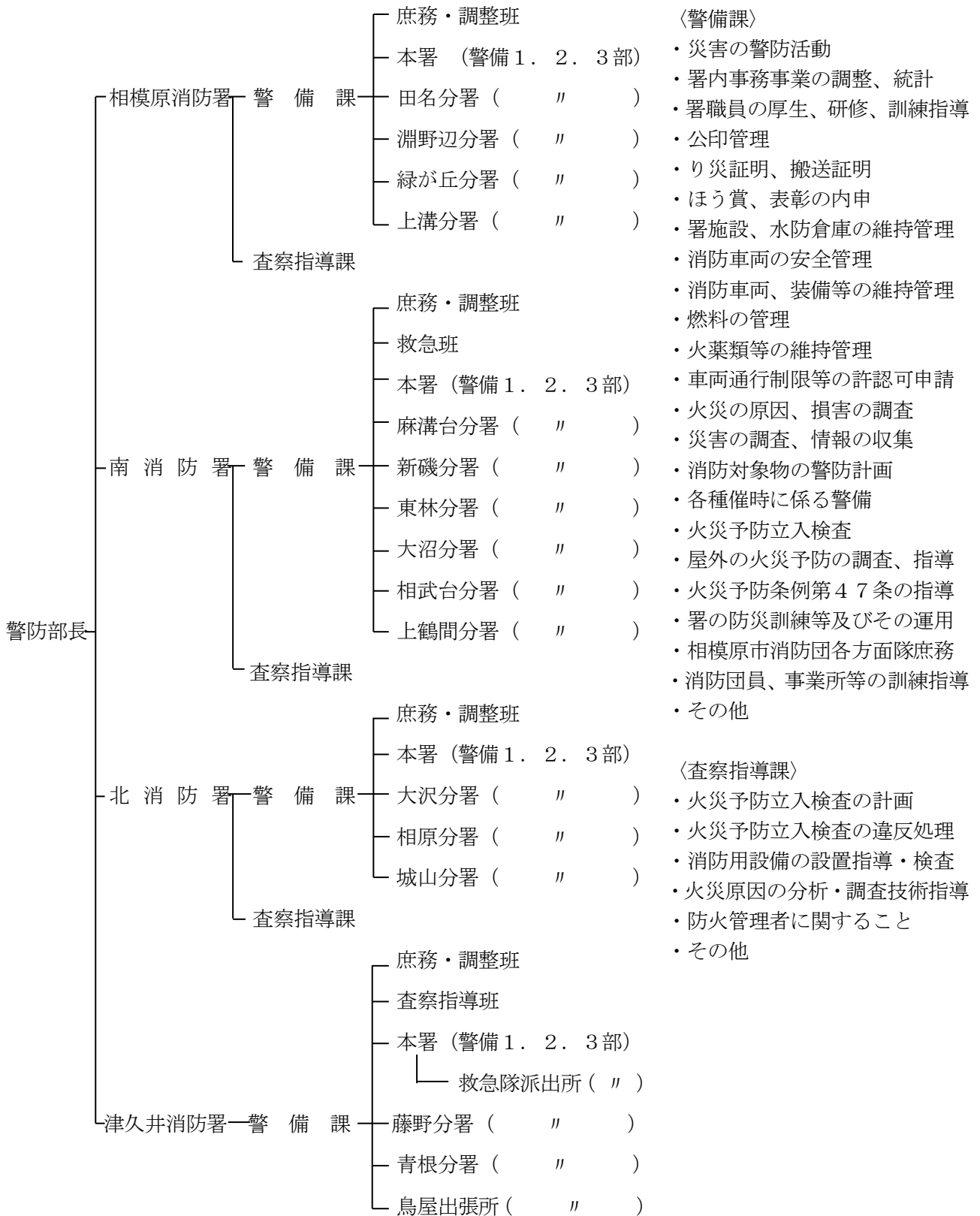
☆消防署☆

4 署（4 本署・15 分署・1 出張所・1 派出所）

7 課

6 4 7 名（実員）

（令和 5. 4. 1）



## 消防機関等一覧

名 称	所 在 地	電 話	構 造 面積 [敷地面積]	開署年月等
相模原市消防局	中央区中央 2丁目2番15号	042- 751-9111	鉄筋コンクリート3階建 2,249㎡ [3,658㎡]	昭和33年1月 昭和47年6月(移転)
消防指令センター	同 上	同 上	鉄骨鉄筋コンクリート 4階建 4,501㎡ [局と同敷地]	平成2年4月
相模原消防署	同 上	042- 751-0119	局に同じ	昭和33年4月
田名分署	中央区田名 4841番地3	042- 761-0119	鉄筋コンクリート2階建 一部3階建 1,690㎡ [1,927㎡]	昭和45年1月 平成13年10月(移転)
淵野辺分署	中央区淵野辺本町 3丁目1番8号	042- 758-0119	鉄筋コンクリート2階建 951㎡ [1,269㎡]	昭和40年12月 昭和61年3月(移転)
緑が丘分署	中央区緑が丘 1丁目32番25号	042- 759-0119	鉄筋コンクリート2階建 968㎡ [2,370㎡]	昭和57年4月
上溝分署	中央区上溝 2163番地9	042- 762-0119	鉄筋コンクリート3階建 1,186㎡ [1,811㎡]	平成3年6月
南消防署	南区相模大野 5丁目34番1号	042- 744-0119	鉄筋コンクリート3階建 2,228㎡ [2,520㎡]	昭和36年6月 昭和50年4月(昇格) 昭和62年7月(移転)
麻溝台分署	南区麻溝台 8丁目38番20号	042- 745-0119	鉄筋コンクリート2階建 332㎡ [653㎡]	昭和47年12月
新磯分署	南区磯部 1229番地1	046- 253-0119	鉄筋コンクリート2階建 1,176㎡ [2,311㎡]	昭和43年12月 平成18年10月(移転)
東林分署	南区東林間 7丁目35番25号	042- 742-0119	鉄筋コンクリート2階建 252㎡ [1,923㎡]	昭和51年4月
大沼分署	南区古淵 3丁目15番8号	042- 756-0119	鉄筋コンクリート2階建 1,188㎡ [1,524㎡]	昭和52年4月 平成8年3月(増築)
相武台分署	南区新磯野 2丁目51番1号	042- 747-0119	鉄筋コンクリート2階建 1,216㎡ [1,895㎡]	昭和60年4月
上鶴間分署	南区相模大野 7丁目40番4号	042- 743-0119	鉄筋コンクリート2階建 1,187㎡ [1,880㎡]	平成4年6月
北消防署	緑区橋本 4丁目16番6号	042- 774-0119	鉄筋コンクリート2階建 1,473㎡ [1,598㎡]	昭和37年7月 昭和49年3月(移転) 平成11年10月 (増築・昇格)
大沢分署	緑区大島 1745番地1	042- 763-0119	鉄筋コンクリート2階建 1,189㎡ [2,373㎡]	昭和50年4月 平成8年5月(移転)
相原分署	緑区相原 4丁目14番9号	042- 773-0119	鉄筋コンクリート2階建 595㎡ [1,783㎡]	昭和53年4月 平成27年3月(改築)
城山分署	緑区川尻 1699番地1	042- 782-0119	鉄筋コンクリート2階建 727㎡ [1,793㎡]	昭和49年4月 平成7年4月(移転)
津久井消防署	緑区寸沢嵐 574番地2	042- 685-0119	鉄筋コンクリート3階建 937㎡ [1,649㎡]	昭和44年9月 昭和48年3月(移転) 平成2年4月(増築) 平成18年3月(合併)
救急隊派出所	緑区太井 157番地1	042- 780-0119	軽量鉄骨造平屋建 155㎡ [541㎡]	平成10年4月
藤野分署	緑区吉野 433番地1	042- 687-3401	鉄筋コンクリート2階建 630㎡ [1,011㎡]	昭和49年4月 平成25年4月(移転)
青根分署	緑区青根 1372番地1	042- 787-2724	鉄筋コンクリート2階建 456㎡ [1,419㎡]	昭和49年4月 平成30年4月(移転)
鳥屋出張所	緑区鳥屋 789番地7	042- 785-0119	鉄筋コンクリート平屋建 165㎡ [712㎡]	昭和49年4月
下溝防災消防訓練場	南区下溝 3042番地2	042- 777-0119	[8,274㎡]	平成6年4月
三井防災消防訓練場	緑区三井 352番地4		[7,921㎡]	平成25年2月

# ▼相模原市消防局・消防署



**【令和5年4月1日現在】**

面積	328.91km <sup>2</sup>
人口	724,724人
世帯	342,866世帯
消防局	6課
消防署	4署7課
分署	15分署
出張所	1出張所
派出所	1派出所
消防団	1団6方面隊34分団106部
消防職員(定数)	732名
消防団員(定数)	1,710名

## 津久井消防署 管轄区域

津久井消防署	面積(km <sup>2</sup> )
本署 (救急隊派出所含む)	218.65km <sup>2</sup>
藤野分署	
青根分署	
鳥屋出張所	

# 及び分署等の分布図▼

凡例	
	消防局
	消防署
	分署
	出張所
	派出所
	管轄区域境

## 北消防署管轄区域

北消防署	面積(km <sup>2</sup> )
本署	35.28km <sup>2</sup>
大沢分署	
相原分署	
城山分署	

## 南消防署管轄区域

南消防署	面積(km <sup>2</sup> )
本署	38.11km <sup>2</sup>
麻溝台分署	
新磯分署	
東林分署	
大沼分署	
相武台分署	
上鶴間分署	

## 相模原消防署管轄区域

相模原消防署	面積(km <sup>2</sup> )
本署	36.87km <sup>2</sup>
田名分署	
淵野辺分署	
緑が丘分署	
上溝分署	



# 消防の予算

令和5年度市の一般会計当初予算額は、328,600,000千円で前年度と比較し、5.6%増となっています。消防費の当初予算は、10,196,526千円で前年度と比較して12.0%増であり、一般会計当初予算との構成比は3.1%となっています。

## 市の一般会計予算と消防費との比較

年度別（内訳）	一般会計（千円）	消防費（千円）	構成比（％）
令和3年度（当初予算）	298,900,000	8,855,246	3.0
令和4年度（当初予算）	311,200,000	9,104,334	2.9
令和5年度（当初予算）	328,600,000	10,196,526	3.1

## 令和5年度消防費とその内訳

内訳	金額（千円）	構成比（％）
消防費	10,196,526	100.0
常備消防費	7,551,999	74.1
非常備消防費	429,533	4.2
消防施設費	2,214,994	21.7

## 令和5年度主要業務

- 1 消防力の強化
  - (1) 消防車両の更新
    - 消防ポンプ自動車1台、救助工作車1台、高規格救急自動車2台、指令車3台、人員搬送車1台
  - (2) 消防水利の整備（消火栓14基設置）
- 2 救急業務の高度化
  - (1) 救急救命士（5名）及び指導救命士（2名）の養成
  - (2) 気管挿管資格者（6名）及びビデオ硬性挿管用喉頭鏡の使用できる救急救命士（15名）の養成
- 3 消防施設の整備
  - (1) 津久井消防署整備事業
  - (2) （仮称）下溝防災消防訓練場再整備事業
  - (3) 消防庁舎改修事業（南消防署改修工事、北消防署外壁・屋上防水等改修工事）
- 4 消防団の整備、活性化
  - (1) 消防団詰所・車庫の改修
    - ア 津久井方面隊第2分団第1部、第5分団第1部（改修）
    - イ 中央方面隊第1分団第7部、北方面隊第5分団第4部（設計）
  - (2) 消防団車両の更新
    - 消防ポンプ自動車1台、小型動力ポンプ付積載車6台
- 5 火災予防対策
  - (1) 住宅防火対策
  - (2) 防火対象物の違反是正
  - (3) 防火教育の推進
  - (4) 火災原因調査体制の充実
- 6 危険物施設等の保安対策
  - 危険物、高圧ガス、液化石油ガス及び火薬類関係施設における保安体制の充実
- 7 消防通信施設
  - (1) 消防情報管理システムの保守・管理
  - (2) 消防救急デジタル無線の維持・管理

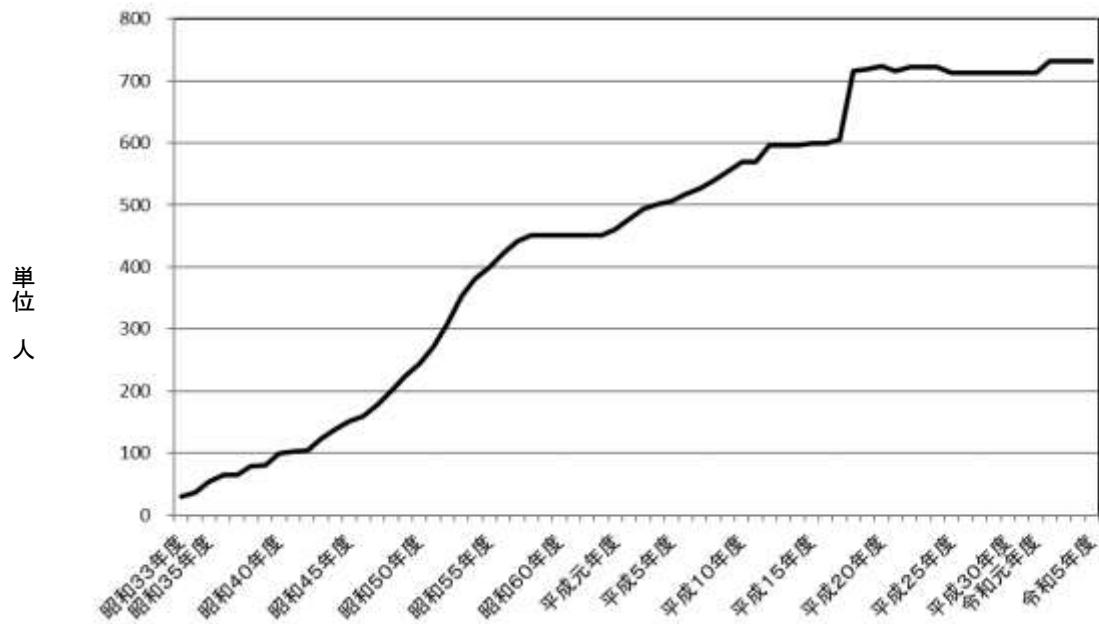
# ◇消防職員◇

## ☆職員定数の推移☆

年度別	職員定数
昭和33年度	30
昭和34年度	37
昭和35年度	53
昭和36年度	65
昭和37年度	65
昭和38年度	79
昭和39年度	80
昭和40年度	100
昭和41年度	102
昭和42年度	104
昭和43年度	123
昭和44年度	139
昭和45年度	151
昭和46年度	160
昭和47年度	179
昭和48年度	201
昭和49年度	224
昭和50年度	245
昭和51年度	271
昭和52年度	307
昭和53年度	354
昭和54年度	381

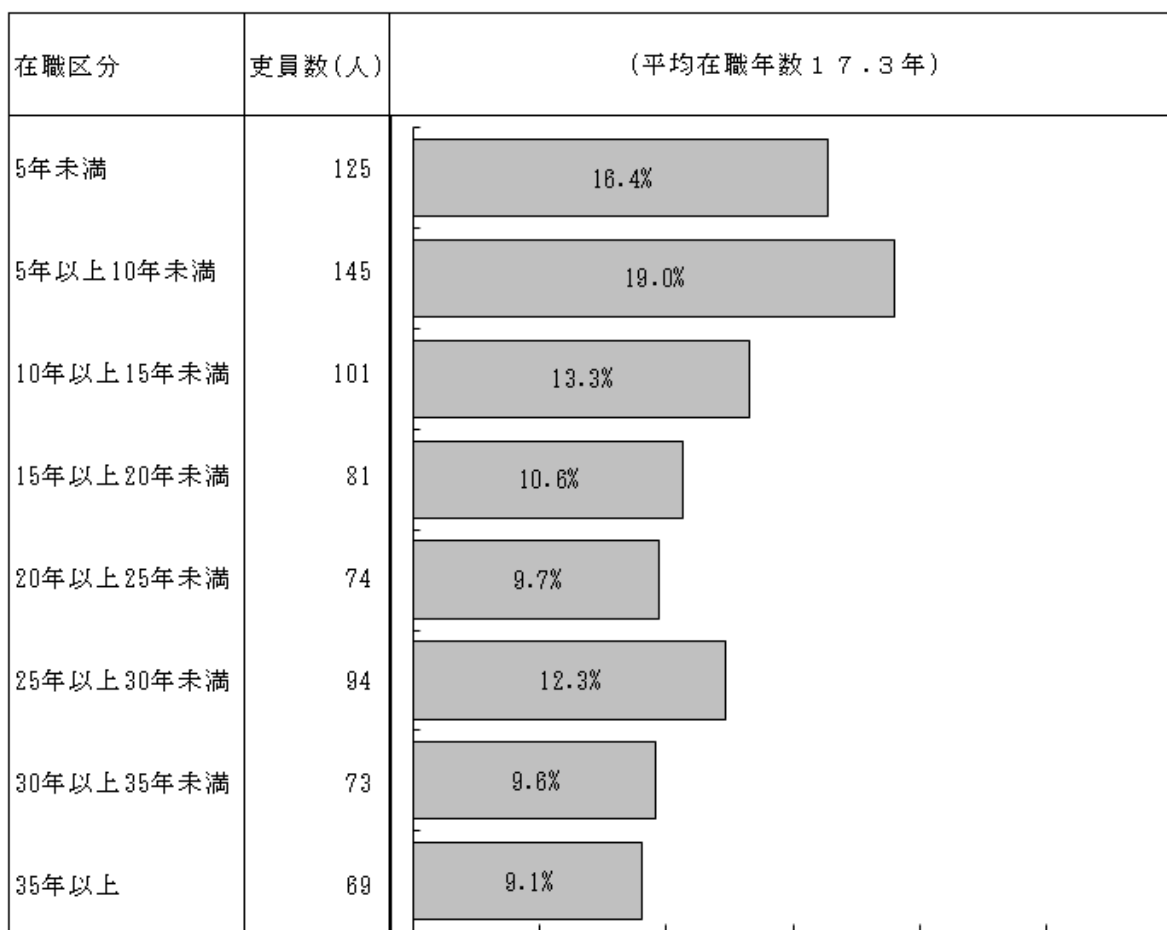
年度別	職員定数
昭和55年度	399
昭和56年度	422
昭和57年度	441
昭和58年度	451
昭和59年度	451
昭和60年度	451
昭和61年度	451
昭和62年度	451
昭和63年度	451
平成元年度	460
平成2年度	478
平成3年度	494
平成4年度	501
平成5年度	507
平成6年度	518
平成7年度	527
平成8年度	539
平成9年度	554
平成10年度	569
平成11年度	569
平成12年度	596
平成13年度	596

年度別	職員定数
平成14年度	596
平成15年度	599
平成16年度	599
平成17年度	605
平成18年度	716
平成19年度	719
平成20年度	724
平成21年度	716
平成22年度	723
平成23年度	723
平成24年度	723
平成25年度	713
平成26年度	713
平成27年度	713
平成28年度	713
平成29年度	713
平成30年度	713
令和元年度	713
令和2年度	732
令和3年度	732
令和4年度	732
令和5年度	732



☆消防職員の在職年数☆

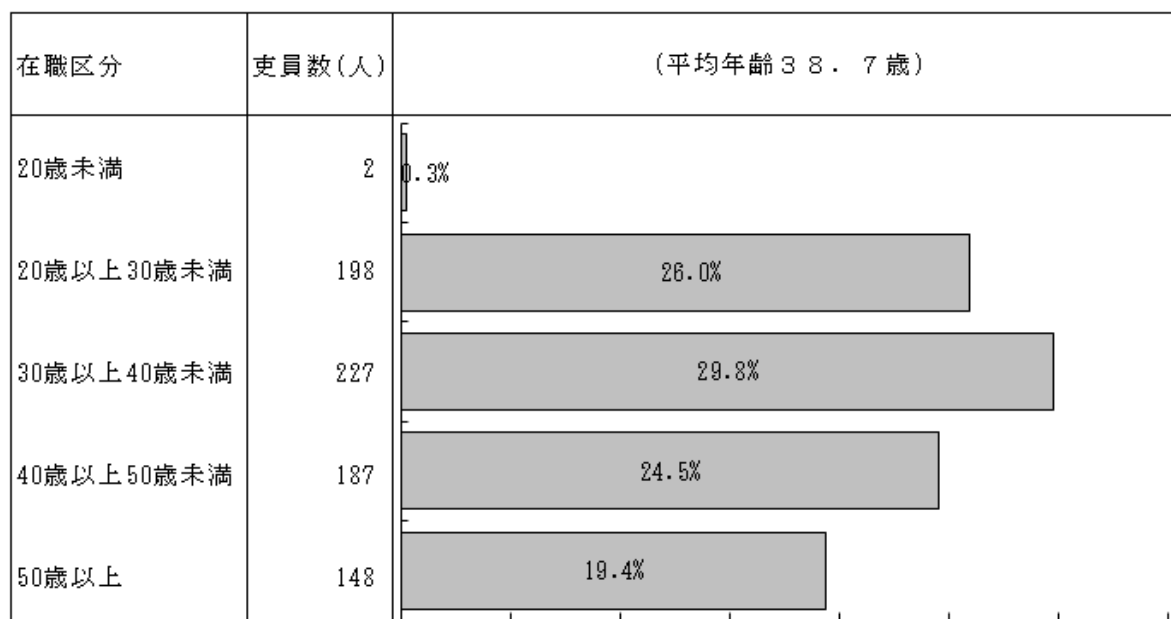
(令和5. 4. 1)



計762人

☆消防吏員の年齢☆

(令和5. 4. 1)



計762人



# 職員の配置

(令和5.4.1)

所 属 別	計	消防司監	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員
定 数	732	728									4
合 計 ( 実 数 )	766	1	2	8	64	106	179	179	147	76	4
消 防 局	3	1	2								
消 防 総 務 課	50			1	6	7	6	10		16	4
( 消 防 総 務 課 )	(18)				(3)	(4)	(2)	(5)			(4)
( 派 遣 ・ 初 任 教 育 生 )	(22)					(1)	(4)	(1)		(16)	
( 併 任 )	(9)				(3)	(2)		(4)			
予 防 課	10			1	2	2	2	3			
危 険 物 保 安 課	9			1	1		4	2	1		
警 防 課	15				2	2	3	8			
救 急 課	8				3		2	3			
指 令 課	25			1	7	4	4	5	4		
小 計	120	1	2	4	21	15	21	31	5	16	4
相 模 原 消 防 署	1			1							
相 模 原 署 警 備 課	5				2		2	1			
相 模 原 署 警 備 課 本 署	67				6	13	14	17	14	3	
田 名 分 署	40				1	6	8	8	13	4	
淵 野 辺 分 署	25				1	3	6	7	5	3	
緑 が 丘 分 署	31				1	7	8	6	6	3	
上 溝 分 署	25				1	4	4	7	6	3	
相 模 原 署 査 察 指 導 課	7				2		1	2	1	1	
小 計	201	-	-	1	14	33	43	48	45	17	-
南 消 防 署	1			1							
南 署 警 備 課	9				3		2	2	1	1	
南 署 警 備 課 本 署	51				3	9	12	9	14	4	
麻 溝 台 分 署	13				1	1	5		3	3	
新 磯 分 署	25				1	2	7	6	6	3	
東 林 分 署	13				1	2	4	2	3	1	
大 沼 分 署	25				1	3	7	5	6	3	
相 武 台 分 署	27					4	6	7	6	4	
上 鶴 間 分 署	32					4	10	8	6	4	
南 署 査 察 指 導 課	8				2			5	1		
小 計	204	-	-	1	12	25	53	44	46	23	-
北 消 防 署	1			1							
北 署 警 備 課	5				2		2	1			
北 署 警 備 課 本 署	41				3	9	10	11	5	3	
大 沢 分 署	25				1	2	8	5	6	3	
相 原 分 署	25				1	3	7	4	5	5	
城 山 分 署	25				1	4	4	6	7	3	
北 署 査 察 指 導 課	6				2		2	2			
小 計	128	-	-	1	10	18	33	29	23	14	-
津 久 井 消 防 署	1			1							
津 久 井 署 警 備 課	9				2	2		4	1		
津 久 井 署 警 備 課 本 署	53				3	8	12	11	14	5	
本 署 救 急 隊 派 出 所	9						4	2	3		
藤 野 分 署	22				1	4	6	4	6	1	
青 根 分 署	10				1	1	4	3	1		
鳥 屋 出 張 所	9						3	3	3		
小 計	113	-	-	1	7	15	29	27	28	6	-

兼務の分署長については、麻溝台分署（相武台分署との兼務）、東林分署（上鶴間分署との兼務）、青根分署（鳥屋出張所との兼務）に1名計上

## 令和4年度研修結果

### 1 学校教育

#### (1) 消防学校教育(83人)

種別	科目	期間	回数	人数
初任教育	第218期	114	1	23
専科教育	警防科	10	1	4
	特殊災害科	7	1	4
	予防査察科	10	1	7
	火災調査科	10	1	5
	救急科	42	1	13
	救助科	20	1	4
特別教育	幹部特別教育(研修教官)	7	3	3
	水難救助課程	5	1	3
	はしご車操作員課程	3	1	5
	小型ポンプ操法指導員研修	1	1	2
	ポンプ車操法指導員研修	1	1	2
	航空特別応援研修	5	1	4
	通信指令員研修	3	1	3
	火災性状特別研修	3	1	1

#### (2) 消防大学校(8人)

種別	研修名称	期間	回数	人数
学科	幹部科	47	1	1
	警防科	51	1	1
	予防科	52	1	1
実務講習	指揮隊長コース	13	1	2
	消防団活性化推進コース(行政職員)	5	1	1
	査察業務マネジメントコース	5	1	2

### 2 集合研修

#### (1) 職員研修所研修(219人)

研修名称	期間	回数	人数
新採職員研修	2	1	23
2年目研修	1	1	19
3年目研修	1	1	40
4年目研修	1	1	37
5年目研修	1	1	24
新任主任研修	1	1	30
新任主査研修	1	1	19
新任副主幹研修	1	1	10
新任管理者研修	1	1	13
新任所属長研修	2	1	4

#### (2) 職場研修(4328人)

研修名称	期間	回数	人数
消防局階層研修(昇任候補者研修)	1	3	79
消防職員惨事ストレス研修	1	1	46
ハラスメント防止研修(ワークショップ)管理職	1	2	52
ハラスメント防止研修(ワークショップ)交替制勤務	1	1	641
コンプライアンス研修	1	1	46
火災調査研修	1	3	60
令和4年度違反処理実務研修	1	1	28
高度な鑑定・鑑識資機材の取扱い説明	1	3	6
鑑識・鑑定資機材の取扱いに係る研修	1	2	6
解毒剤自動注射器の使用に関する研修	1	24	153
消防ポンプ機関技術研修(基本編)	1	5	14
消防ポンプ機関技術研修(応用編)	1	2	8
伐木等の業務に係る特別教育	4	4	28

墜落制止用器具に係る特別教育	1	5	27
小隊長研修	1	3	87
中隊長研修	1	2	30
救助隊員資格取得研修	1	25	6
市街地火災延焼シミュレーション操作研修	1	3	67
救急隊員基本研修	1	3	177
救急隊員特別研修	1	3	50
異動職員指令システム研修	1	15	3
救急業務教育研修(第1回)	1	3	21
救急業務教育研修(第2回)	1	3	21
指令台操作研修	1	3	12
交通法令研修	1	3	613
予防業務研修	1	36	975
火災調査研修	1	29	389
高圧ガス保安教育	1	15	214
潜水救助訓練	1	15	193
警防業務研修	1	3	193
昇任候補者研修(消防副士長)	1	1	37
昇任候補者研修(消防士長)	1	1	29
昇任候補者研修(消防司令補)	1	1	17

(3) 小規模職場研修(消防塾)(94人)

研修名称	期間	回数	人数
ファイヤーファイターサバイバル	1	1	94

3 派遣研修(198人)

研修名称	期間	回数	人数
急流水難救助専門研修	1	3	20
潜水技術研修(訓練)	1	3	18
第一種衛生管理者養成講習会	3	1	1
消防職員安全衛生管理研修会	2	1	5
圧縮空気保安技術講習会	1	1	4
国民保護 CR テロ初動セミナー	3	1	2
爆発物災害対策担当者養成講習	1	1	2
CBERN 災害と現場の対応担当者養成講習会	1	1	2
危険物施設の鋼製地下貯蔵タンク・配管に適用する電気防食規格及びガイドライン 2022 年度 Web 講習会	1	1	1
防爆電気機器スキルアップコース	1	1	1
爆発・火災防止講座	1	1	1
区画火災対応訓練コース	2	1	1
ファイヤーファイターサバイバル	2	1	1
都市ガス緊急保安研修会	1	1	6
予防技術講習会	1	1	2
全国山岳遭難対策協議会	1	1	1
登山リーダー夏山研修会	6	1	1
違反是正研修会	1	1	5
違反是正事例研究会	1	1	1
消防実務講習会	1	1	2
トヨタ モビリティ研修会	1	2	4
全国消防技術者会議	1	2	7
通信指令シンポジウム	1	1	3
災害時医療救護活動研修会	1	1	5
違反是正事例発表会	1	1	1
消防大学校特別講習会	1	1	6
高度な鑑定・鑑識資機材設置に伴う取扱い研修	3	1	5
令和4年度火災調査研修	1	1	14
充てん作業講習	3	1	1
保安業務員講習	2	1	1
高圧ガス保安教育基礎講習	1	1	1
LP ガスパルク供給のためのセミナー	1	1	1
行政機関向け高圧ガス保安法令等勉強会	1	1	1

高圧ガス保安法令セミナー	1	1	1
LP ガス保安情報説明会	1	1	1
高圧ガス保安法の許可、届出運用解釈説明会	1	1	1
保安検査のポイントと事例紹介セミナー	1	1	1
KHK 水素セミナー	1	1	1
令和4年度「冷凍・空調基礎講座」	1	1	1
神奈川県主催工業保安行政職員研修	1	8	1
経済産業省主催火薬類取締法研修	2	1	1
経済産業省主催高圧ガス保安法研修	4	1	1
経済産業省主催液化石油ガス法研修	2	1	2
経済産業省主催液化石油ガス法の権限移譲に係る講習会	2	1	1
無人航空機操作講習会	3	3	26
重機操縦技術研修	1	1	4
緊急時対応指揮研修	2	2	5
県医師会救命情報システム症例検討会	1	2	2
全国救急隊員シンポジウム	2	1	6
県北・県央地区MC協議会教育セミナー	1	3	4
救急救命士生涯研修（三次医療機関）	3	94	94
救急救命士再教育研修（シミュレーション研修）	1	5	9

#### 4 資格研修（123人）

研修名称	期間	回数	人数
刈払機取扱作業者	1	1	2
消防職員惨事ストレス研修	1	1	3
高圧ガス製造責任者（丙特）	1	1	2
高圧ガス製造責任者講習（丙特）	3	1	2
高圧ガス製造責任者（冷凍）	1	1	1
高圧ガス製造責任者講習（冷凍）	2	1	1
火薬類取扱保安責任者試験準備講習会	2	1	1
コンプライアンス研修	1	1	3
有機溶剤作業主任者技能講習	2	2	4
衛生管理者	1	1	1
予防技術検定	1	1	10
可搬ポンプ整備資格者特例講習	1	1	1
第1級陸上特殊無線技士	1	1	3
第2級陸上特殊無線技士	1	1	1
情報セキュリティマネジメント	1	1	3
高所作業車運転技能講習	2	1	2
玉掛け技能講習	3	1	2
酸欠・硫化水素危険作業	3	1	4
小型移動式クレーン運転	3	3	5
車両系建設機械（整地等）講習（大型特殊免許有り）	2	1	1
車両系建設機械（整地等）講習（大型特殊免許無し）	5	1	1
車両系建設機械（解体用）講習	1	2	2
特別管理産業廃棄物管理責任者	1	1	1
2級小型船舶操縦免許（更新）	1	2	6
2級小型船舶操縦免許（取得）	2	1	3
大型自動車免許	1	-	16
主任無線従事者	1	1	1
モノレール取扱主任	1	1	10
伐木等の業務に係る特別教育	2	2	5
救急救命士就業前研修	14	12	12
気管挿管病院実習	30	6	6
ビデオ喉頭鏡病院実習	2	15	15
救急救命士新規養成課程	126	2	2

5 新規採用職員研修（92人）

研修名称	期間	回数	人数
新規採用職員研修	2	1	23
新規採用職員訓練	18	1	23
消防署研修配属	-	1	23
年度末研修	2	1	23

6 講師派遣（78人）

研修機関	研修名称等	期間	回数	人数
消防大学校	救助科第84期	1	1	6
	警防科第110期	1	1	1
	予防科第112期	1	1	1
	救助科第85期	1	1	5
	警防科第111期	1	1	1
	上級幹部科第86期	1	1	1
	予防科第113期	1	1	1
	神奈川県消防学校	救助科	1	2
	警防科・救助科	1	1	5
	救急科	1	1	12
	特殊災害科	1	2	7
	火災調査科	1	3	9
	火災性状特別研修	1	1	1
	はしご車操作員課程	1	1	5
	予防査察科	1	3	3
愛知県消防学校	救急科	1	2	4
山梨県消防学校	救急隊長研修	1	1	2
	女性消防吏員研修	1	1	1
静岡県消防学校	救急科	1	1	1
常総地方広域市町村圏 事務組合消防本部	女性消防吏員活躍推進アドバイザー	1	1	1
金沢市消防局	違反是正支援アドバイザー	1	1	2
春日井市役所	違反是正支援アドバイザー	1	1	2

令和4年度消防吏員の公務災害発生状況

区分	合計	火災時	救急時	訓練時	警防調査	その他
発生数	6	1	3	1	0	1
負傷者数	6	1	3	1	0	1

# 国際協力

## 国際消防救助隊

海外で大規模災害が発生した場合、被災国からの要請に応じて緊急援助活動を行う国際消防救助隊へ6人の隊員を登録しています。

平成23年2月22日に発生したニュージーランド南島クライストチャーチ市郊外の地震災害に、2月23日から3月3日までの間、国際緊急援助隊救助チームの一員として、本市の国際消防救助隊登録隊員を2名派遣しました。

国際緊急援助隊救助チームは、多くの日本人留学生が行方不明となっていたクライストチャーチ市内のCTVビルを中心に救助活動を実施しました。

### 【派遣実績】

災害発生日	災害名	被災地	派遣期間	派遣人数
H16.12.26	インドネシア・スマトラ島沖大地震	タイ王国ブーケット周辺	H16.12.29 ~H17.1.8 (11日間)	1名
H23.2.22	ニュージーランド南島地震災害	ニュージーランド南島クライストチャーチ市	H23.2.23 ~H23.3.3 (9日間)	2名

## 車両の寄贈

耐用年数を過ぎた消防車や救急車を、リサイクル支援として、公益財団法人日本消防協会や一般社団法人日本外交協会等からの要請により、平成12年度からコロンビアやエチオピアなど31カ国に合計67台を寄贈しています。

# 消防団

## 相模原市消防団の歴史

本市の消防団は、明治27年2月に「消防組規則」が制定されたことにより、当時警察署の管轄のもとに7つの村（相原、大野、大沢、田名、上溝、麻溝、新磯）にそれぞれ組織化された消防組が誕生しました。その後、昭和14年の警防団令発令により警防団を結成、昭和22年の消防団令公布により相模原町消防団（団員数3,320名）となり、昭和29年には市制施行に伴い、現在の相模原市消防団が組織されました。

その後、相模原市消防団は、地域事情による組織の再編、あるいは消防団ラッパ隊や消防団女性部の設立により市民の方々への広報活動の充実を図るなど発展を続けました。

平成18年3月には、津久井郡津久井町及び相模湖町との合併に伴い、相模原消防団、津久井消防団及び相模湖消防団の3団体制となり、平成19年3月には、津久井郡城山町及び藤野町との合併により城山消防団、藤野消防団が加わり、相模原市消防団は5団体制となりました。

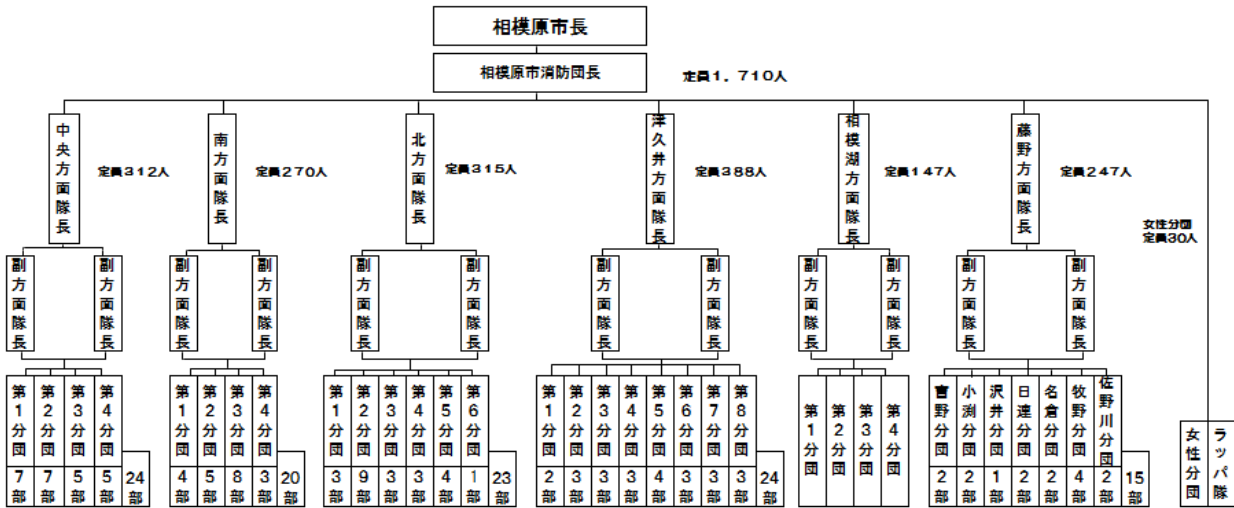
平成24年4月1日からは市内消防団の一体化を推し進めるため、5団を1団6方面隊体制に組織再編し、更なる地域の安全・安心のために活動しています。

## 沿革

昭和14年	警防団令公布：各市町村では同年3月下旬に従来の消防組と住民の自衛組織であった防護団を合体させて警防団を組織
昭和16年	相模原町警防団結成：2町6か村が合併して相模原町が誕生したことに伴い結成
昭和22年	相模原町消防団発足：全8個分団（団員数3,320人）
昭和23年	座間町分離独立のため8個分団から7個分団に再編成
昭和27年	旧大野村地域の第7分団を分割、淵野辺地域に第8分団を設置
昭和29年	市制施行に伴い相模原市消防団に改称（団員数2,872人）
昭和33年	第1分団11部を9部に再編成
昭和38年	南部地区の消防力強化のために第9分団を設置
昭和39年	第4分団12部を9部に再編成
昭和44年	消防力強化のため第2分団に第6部を新設
昭和46年	第4分団9部を8部に、第5分団6部を4部に再編成
昭和48年	第1分団9部を8部に再編成
昭和53年	第2分団6部を5部に再編成
平成3年	消防団ラッパ隊を設立
平成9年	光が丘地区の消防力を強化するため、第1分団第9部を分割し第1分団第5部を新設
平成13年	団員定数を762人に変更、女性団員30名を任用
平成17年	1団9分団56部、定員762名 実員693名（うち女性22名）
平成18年	相模原市と津久井町、相模湖町の合併により3団体制となる 各団長・副団長で構成される相模原市消防団長会が発足 3団21分団80部 定員1,314名 実員1,199名（うち女性22名）
平成19年	相模原市と城山町、藤野町の合併により、相模原市城山・藤野消防団が新たに加入 相模原市消防団長会を5団で構成 津久井消防団の定数を388人に変更 5団32分団107部 定員1,707名 実員1,613名（うち女性25名）
平成20年	相模原市相模原消防団・女性団員の階級等に関する組織を改正（部制の導入）
平成21年	相模原市における消防団協力事業所制度を導入
平成22年	東林地区自治会連合会に存する第9分団区域を第7分団区域とした。
平成23年	5団32分団108部 定員1,707名 実員1,563名（うち女性25名）
平成24年	相模原市消防団を5団体制から1団6方面隊体制に組織再編 旧相模原消防団第4分団第2部及び第3部を統合（現 中央方面隊第2分団第2部）

- 平成 2 6 年      大野台地区の消防力を強化するため、南方面隊第 3 分団第 3 部を分割し、第 3 分団第 8 部を新設  
女性部を女性分団に格上げ
- 平成 2 9 年      相模原市における学生消防団活動認証制度を導入
- 平成 3 1 年      北方面隊第 6 分団第 1 部及び第 2 部を統合し再編成
- 令和 5 年 4 月 1 日現在  
1 団 6 方面隊 3 4 分団 1 0 6 部    定員 1 , 7 1 0 名    実員 1 , 3 1 4 名 (うち女性 2 8 名)

**消防団組織図**





消防団現勢

(令和5.4.1)

			階 級 ・ 定 員 ・ 実 員							車 種				
			団長	副団長	分団長	副分団長	部長	副部長	班長	団員	指令車	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付積載車	小型動力ポンプ付積載車 (救助資機材搭載)
定員合計 (1,710人)			1	18	34	68	122	115	352	1,000	1	25	85	6
中央方面隊	団本部 (女性分団・ラッパ隊専門団員)	31	/	1		1	2	3			16		1	
	方面隊本部	3	/			3								
	第1分団	90	7部			1	2	7	7	20	17		1	6
	第2分団	90	7部			1	2	7	7	21	28		1	6
	第3分団	66	5部			1	2	5	5	15	33		1	3
	第4分団	63	5部			1	2	5	5	14	15			5
南方方面隊	方面隊本部	3	/			3								
	第1分団	54	4部			1	2	4	4	12	17		1	2
	第2分団	69	5部			1	2	5	5	14	16		2	3
	第3分団	102	8部			1	2	8	8	24	29		1	7
	第4分団	42	3部			1	2	3	3	6	8		1	2
北方方面隊	方面隊本部	3	/			3								
	第1分団	45	3部			1	2	3	3	9	24		1	1
	第2分団	115	9部			1	2	9	9	27	45		1	8
	第3分団	39	3部			1	2	3	3	9	16			3
	第4分団	40	3部			1	2	3	3	9	20			3
	第5分団	50	4部			1	2	4	4	13	22			4
	第6分団	23				1	2	2	2	3	10			2

			階 級 ・ 定 員 ・ 実 員							車 種				
			団長	副団長	分団長	副分団長	部長	副部長	班長	団員	指令車	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付積載車	小型動力ポンプ付積載車 (救助資機材搭載)
定員合計 (1,710人)			1	18	34	68	122	115	352	1,000	1	25	85	6
津久井方面隊	方面隊本部	3	3											
	第1分団	32	2部		1	2	2	2	4	11		1	1	
	第2分団	58	3部		1	2	3	4	8	30		1	2	1
	第3分団	46	3部		1	2	3	3	8	19		1	2	
	第4分団	43	3部		1	2	3	3	5	10		1	2	
	第5分団	60	4部		1	2	4	4	7	38		1	3	
	第6分団	49	3部		1	2	3	3	7	24		1	2	
	第7分団	57	3部		1	2	3	3	9	39		1	2	
	第8分団	40	3部		1	2	3	3	5	7		1	2	
相模湖方面隊	方面隊本部	3	3											
	第1分団	42			1	2	4		10	17		1		1
	第2分団	21			1	2	1		4	10		1		
	第3分団	31			1	2	2		6	16		1	1	
	第4分団	50			1	2	5		12	27		1	1	
藤野方面隊	方面隊本部	3	3											
	吉野分団	29	2部		1	2	2	3	7	4			2	
	小淵分団	35	2部		1	2	2	2	6	8		1	1	
	沢井分団	24	1部		1	2	1	3	5	3			1	
	日連分団	26	2部		1	2	2	2	6	10			1	1
	名倉分団	29	2部		1	2	2	3	7	5			2	
	牧野分団	63	4部		1	2	4	5	19	17		1	3	
	佐野川分団	38	2部		1	2	2	3	10	5		1	1	

## 消防団員の産業別構成比

(令和5. 4. 1)

	農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建設業	製造業	卸 業 小売業
団本部	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	1 人 4.3%	4 人 17.4%	1 人 4.3%
中央方面隊	7 人 3.1%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	38 人 16.8%	40 人 17.7%	16 人 7.1%
南方面隊	5 人 2.8%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	47 人 26.0%	22 人 12.2%	15 人 8.3%
北方面隊	5 人 1.8%	5 人 1.8%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	44 人 15.9%	52 人 18.8%	12 人 4.3%
津久井方面隊	1 人 0.3%	3 人 1.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	73 人 23.8%	91 人 29.6%	14 人 4.6%
相模湖方面隊	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	26 人 20.2%	24 人 18.6%	15 人 11.6%
藤野方面隊	1 人 0.6%	2 人 1.2%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	33 人 19.2%	47 人 27.3%	7 人 4.1%
合 計	19 人 1.4%	10 人 0.8%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	262 人 19.9%	280 人 21.3%	80 人 6.1%

	金 融 保険業	不動産業	運 輸 通信業	電気・ガス ・水道業	サービス業	公 務	分類不能の 産業
団本部	1 人 4.3%	0 人 0.0%	2 人 8.7%	1 人 4.3%	8 人 34.8%	1 人 4.3%	4 人 17.4%
中央方面隊	3 人 1.3%	4 人 1.8%	20 人 8.8%	6 人 2.7%	49 人 21.7%	16 人 7.1%	27 人 11.9%
南方面隊	4 人 2.2%	4 人 2.2%	12 人 6.6%	2 人 1.1%	40 人 22.1%	17 人 9.4%	13 人 7.2%
北方面隊	1 人 0.4%	3 人 1.1%	19 人 6.9%	9 人 3.3%	66 人 23.9%	22 人 8.0%	38 人 13.8%
津久井方面隊	1 人 0.3%	5 人 1.6%	33 人 10.7%	8 人 2.6%	44 人 14.3%	24 人 7.8%	10 人 3.3%
相模湖方面隊	3 人 2.3%	3 人 2.3%	6 人 4.7%	2 人 1.6%	31 人 24.0%	14 人 10.9%	5 人 3.9%
藤野方面隊	0 人 0.0%	2 人 1.2%	10 人 5.8%	9 人 5.2%	38 人 22.1%	12 人 7.0%	11 人 6.4%
合 計	13 人 1.0%	21 人 1.6%	102 人 7.8%	37 人 2.8%	276 人 21.0%	106 人 8.1%	108 人 8.2%

## ★消防団員の報酬★

消防団員の年額報酬及び出動報酬は、相模原市非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例により定められたもので、年額報酬にあつては、その階級に任命されたことにより、役務の対価として支給されるものです。出動報酬にあつては、水火災・地震等の災害への出動や、訓練・整備・警戒等への出動に対して支給される報酬です。

### 1 年額報酬

職名 (階級)	団長 (団長)	方面隊長 (副団長)	副方面隊長 (副団長)	分団長 (分団長)	副分団長 (副分団長)	部長 (部長)	副部長 (部長)	班長 (班長)	団員 (団員)
年額(円)	127,000	115,500	89,400	73,200	56,100	46,800	38,000	36,500	36,500

### 2 出動報酬

水・火災(日額)	訓練、整備、警戒等(日額)
8,000円	3,000円
※ただし、消火活動、救助活動その他これらに準ずる活動を要しなかった場合は4,000円	

## ★出動報酬支給実績★

(令和4年度)

		火災	水災	救助	各種 災害	演習 訓練	特別 警戒	点検 整備	広報 指導	その他	虚誤報	計
団本部	件数	0	0	0	0	43	3	1	0	41	0	88
	人数	0	0	0	0	159	12	3	0	145	0	319
中央	件数	43	1	4	31	3	83	625	98	23	11	922
	人数	334	54	16	191	82	370	1,374	416	126	61	3,024
南	件数	47	1	2	38	4	73	535	72	39	16	827
	人数	424	36	19	259	114	277	1,153	311	162	134	2,889
北	件数	21	0	5	17	1	93	647	114	27	12	937
	人数	239	0	63	149	32	343	1,465	414	147	78	2,930
津久井	件数	8	1	12	6	2	91	673	124	7	1	925
	人数	215	123	278	106	178	353	1,604	472	17	27	3,373
相模湖	件数	2	1	3	1	1	22	217	20	5	1	273
	人数	31	32	45	29	55	117	515	169	75	14	1,082
藤野	件数	2	1	2	0	1	63	445	96	6	2	618
	人数	27	74	21	0	22	220	1,037	302	44	33	1,780
合計	件数	123	5	28	93	55	428	3143	524	148	43	4,590
	人数	1,270	319	442	734	642	1,692	7,151	2,084	716	347	15,397
	1件 あたり	10.3	63.8	15.8	7.9	11.7	4.0	2.3	4.0	4.8	8.1	3.4

## ★令和4年度消防団員等の公務災害発生状況★

区分	火災等	風水害等	演習訓練	特別警戒	救急業務	警防調査	その他	計
団本部	死者	—	—	—	—	—	—	—
	負傷者	—	—	—	—	—	—	—
	小計	—	—	—	—	—	—	—
中央	死者	—	—	—	—	—	—	—
	負傷者	—	—	2	—	—	—	2
	小計	—	—	2	—	—	—	2
南	死者	—	—	—	—	—	—	—
	負傷者	—	—	—	—	—	—	—
	小計	—	—	—	—	—	—	—

北	死者	—	—	—	—	—	—	—	—
	負傷者	—	—	—	—	—	—	—	—
	小計	—	—	—	—	—	—	—	—
津久井	死者	—	—	—	—	—	—	—	—
	負傷者	—	—	—	—	—	—	—	—
	小計	—	—	—	—	—	—	—	—
相模湖	死者	—	—	—	—	—	—	—	—
	負傷者	—	—	—	—	—	—	—	—
	小計	—	—	—	—	—	—	—	—
藤野	死者	—	—	—	—	—	—	—	—
	負傷者	—	—	—	—	—	—	—	—
	小計	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	—	—	2	—	—	—	—	2

### ★令和4年度研修・訓練結果★

消防団員として必要な知識と技術の習得、消防団活動活性化のため以下のとおり研修・訓練を実施しました。

#### 1 市の主催（県消防協会相模原支部含む）

名称	対象	人数	実施日
新入団員研修	新入団員	48名	6月5日
幹部研修	分団長、副分団長	94名	6月12日
機関員講習	機関員及び未受講者	111名	6月19日
防災指導員講習	新入団員及び未受講者	88名	6月19日
普通救命講習	新入団員及び未受講者	90名	6月5日
消防局との合同訓練	必要に応じて実施		
分団、部単位訓練	必要に応じて実施		

#### 2 県消防協会主催

名称	対象	人数							実施日
		団本部	中央	南	北	津久井	相模湖	藤野	
消防団幹部研修	班長以上	—	—	—	1	—	—	—	6月6日
消防団副団長研修	副団長	—	1	1	—	—	—	—	7月1日
正副団長研修会	正副団長	1	—	—	—	—	—	—	10月5日
消防団員指導員研修	分団長・副分団長	—	—	—	—	1	—	—	10月7、8日
消防団幹部候補研修	班長・団員	—	—	—	—	—	1	—	12月1日
消防団員指導者講習	班長以上	—	8	8	8	7	3	6	11月20日
地震対策特別講習	中級幹部	—	—	—	3	3	—	—	12月11日
女性消防団員合同研修	女性消防団員の指導者	1	—	—	—	—	—	—	2月5日
幹部候補中央特別研修	分団長以下	—	—	—	—	—	—	—	不参加(2/15~17)
消防団分団長研修	分団長・副分団長	—	—	—	—	—	—	1	2月12日

# ☆消防団機械器具配置表☆

相模原市消防団本部

(令和5. 4. 1)

分団部別	種別	配置機械			名称	所在地
		指令車	積載車	小型動力ポンプ		
合計		1	1	1		
団本部		1	—	—	—	中央区中央2丁目2番15号
女性分団		—	1	1	—	中央区中央2丁目2番15号

## 中央方面隊

分団部別	種別	配置機械			名称	所在地
		ポンプ車	積載車	小型動力ポンプ		
合計		3	21	21		
第1分団	第1部	1	—	—	上溝	中央区上溝7丁目7番17号
	第2部	—	1	1	久保	中央区上溝4丁目8番43号
	第3部	—	1	1	四ッ谷	中央区上溝2丁目2番1号
	第4部	—	1	1	石橋	中央区上溝2463番地1
	第5部	—	1	1	田尻	中央区上溝2556番地1
	第6部	—	1	1	番田	中央区上溝778番地10
	第7部	—	1	1	丸崎・虹吹	中央区上溝1611番地5
第2分団	第1部	1	—	—	田名中央	中央区田名4838番地4
	第2部	—	1	1	水郷田名	中央区水郷田名1丁目8番26号
	第3部	—	1	1	陽原・望地	中央区田名5990番地2
	第4部	—	1	1	塩田	中央区田名塩田4丁目1番17号
	第5部	—	1	1	新宿	中央区田名7361番地14
	第6部	—	1	1	葛輪	中央区田名2787番地1
	第7部	—	1	1	清水	中央区田名2139番地3
第3分団	第1部	1	—	—	淵野辺	中央区淵野辺3丁目20番9号
	第2部	—	1※	1	嶽之内	中央区東淵野辺4丁目26番17号
	第3部	—	1	1	中淵	中央区淵野辺本町4丁目17番8号
	第4部	—	1	1	山王	中央区淵野辺本町1丁目21番1号
	第5部	—	1	1	上矢部	中央区上矢部4丁目11番1号
第4分団	第1部	—	1	1	矢部	中央区矢部3丁目14番8号
	第2部	—	1	1	宮下	中央区すすきの町41番8号
	第3部	—	1	1	清新	中央区相模原2丁目16番5号
	第4部	—	1	1	星が丘	中央区星が丘2丁目7番22号
	第5部	—	1	1	光が丘	中央区青葉2丁目5番12号

※第3分団第2部の小型動力ポンプ付積載車は救助資機材搭載

## 南方方面隊

分団部別	種別	配置機械			名称	所在地
		ポンプ車	積載車	小型動力ポンプ		
合計		5	15	15		
第1分団	第1部	—	1	1	下溝南	南区下溝1130番地
	第2部	—	1※	1	当麻	南区当麻578番地2
	第3部	1	—	—	下溝北	南区下溝2015番地2
	第4部	—	1	1	原当麻	南区当麻773番地1
第2分団	第1部	1	—	—	新戸	南区新戸2368番地2
	第2部	—	1	1	下磯部	南区磯部1269番地2
	第3部	—	1	1	上磯部	南区磯部1341番地3
	第4部	—	1	1	勝坂	南区磯部1760番地5
	第5部	1	—	—	相武台前	南区新磯野4丁目8番8号
第3分団	第1部	—	1	1	相模大野	南区相模大野6丁目10番8号
	第2部	—	1	1	東林間	南区相南2丁目2番14号
	第3部	—	1	1	大沼	南区東大沼2丁目9番11号

第3分団	第4部	—	1	1	中和田	南区上鶴間本町7丁目23番36号
	第5部	1	—	—	谷口	南区上鶴間本町4丁目25番2号
	第6部	—	1	1	鵜野森	南区鵜野森3丁目2番19号
	第7部	—	1	1	古淵	南区古淵1丁目13番26号
	第8部	—	1	1	大野台	南区大野台5丁目16番37号
第4分団	第1部	1	—	—	南台	南区南台4丁目12番57号
	第2部	—	1	1	相模台	南区相模台1丁目13番5号
	第3部	—	1	1	麻溝台	南区麻溝台6丁目23番4号

**※第1分団第2部の小型動力ポンプ付積載車は救助資機材搭載  
北方面隊**

分団部別	種別	配置機械			名称	所在地
		ポンプ車	積載車	小型動力ポンプ		
合計		2	22	22		
第1分団	第1部	—	1※	1	相原	緑区相原4丁目14番7号
	第2部	—	1	1	二本松	緑区二本松2丁目1番24号
	第3部	1	—	—	橋本	緑区橋本4丁目16番11号
第2分団	第1部	—	1	1	上大島	緑区大島721番地1
	第2部	—	1	1	中の郷	緑区大島3201番地
	第3部	—	1	1	常盤	緑区大島2231番地1
	第4部	—	1	1	古清水	緑区大島2355番地
	第5部	—	1	1	上九沢	緑区上九沢268番地2
	第6部	—	1	1	下九沢	緑区下九沢2440番地
	第7部	1	—	—	塚場	緑区下九沢1417番地1
	第8部	—	1	1	宮下	緑区下九沢591番地
第3分団	第1部	—	1	1	作の口	中央区上溝1丁目1番18号
	第2部	—	1	1	町屋	緑区町屋4丁目27番14号
	第3部	—	1	1	小松	緑区広田2番35号
第4分団	第1部	—	1	1	城北	緑区広田15番10号
	第2部	—	1	1	久保沢	緑区久保沢2丁目7番6号
	第3部	—	1	1	向原	緑区向原3丁目1番11号
第5分団	第1部	—	1	1	原宿	緑区原宿2丁目6番1号
	第2部	—	1	1	都畑	緑区城山3丁目6番11号
	第3部	—	1	1	谷ヶ原	緑区谷ヶ原1丁目9番14号
	第4部	—	1	1	中沢	緑区中沢576番地1
第6分団	第1部	—	1	1	若葉台	緑区若葉台4丁目1番5号
	第2部	—	1	1	小倉	緑区小倉525番地1
		—	1	1	葉山島	緑区葉山島397番地6

**※第1分団第1部の小型動力ポンプ付積載車は救助資機材搭載  
津久井方面隊**

分団部別	種別	配置機械			名称	所在地
		ポンプ車	積載車	小型動力ポンプ		
合計		8	17	17		
第1分団	第1部	—	1	1	三井	緑区三井572番地1
	第2部	1	—	—	太井	緑区太井290番地
第2分団	第1部	1	1※	1	中野	緑区中野1013番地2
	第2部	—	1	1	又野	緑区又野689番地1
	第3部	—	1	1	名手	緑区三井951番地4
第3分団	第1部	1	—	—	三ヶ木	緑区三ヶ木671番地5
	第2部	—	1	1	青山	緑区青山3128番地1
	第3部	—	1	1	鮑子	緑区青山3730番地6
第4分団	第1部	1	—	—	根小屋	緑区根小屋1461番地1
第4分団	第2部	—	1	1	根小屋中野	緑区根小屋1027番地4

	第3部	—	1	1	稲生	緑区长竹158番地5
第5分団	第1部	—	1	1	葦尾根	緑区长竹2894番地1
	第2部	—	1	1	石ヶ沢	緑区长竹1649番地1
	第3部	—	1	1	長竹	緑区长竹1425番地9
	第4部	1	—	—	関	緑区青山1008番地10
第6分団	第1部	—	1	1	道場	緑区鳥屋1489番地イ-1
	第2部	1	—	—	宮ノ前	緑区鳥屋1045番地1
	第3部	—	1	1	渡戸	緑区鳥屋335番地1
第7分団	第1部	—	1	1	梶野	緑区青野原732番地1
	第2部	1	—	—	東野	緑区青野原1240番地2
	第3部	—	1	1	西野々	緑区青野原3346番地2
第8分団	第1部	—	1	1	荒丸	緑区青根206番地1
	第2部	1	—	—	上青根	緑区青根1944番地6
	第3部	—	1	1	音久和	緑区青根2932番地7

**※第2分団第1部の小型動力ポンプ付積載車は救助資機材搭載  
相模湖方面隊**

分団部別	種別	配置機械			名称	所在地
		ポンプ車	積載車	小型動力ポンプ		
合計		4	3	4		
第1分団		1	1※	1	与瀬	緑区与瀬893番地1
第2分団		1	—	1	小原	緑区小原421番地8
第3分団		1	1	1	千木良	緑区千木良983番地3
第4分団		1	1	1	内郷	緑区若柳985番地5

**※第1分団の小型動力ポンプ付積載車は救助資機材搭載  
藤野方面隊**

分団部別	種別	配置機械			名称	所在地
		ポンプ車	積載車	小型動力ポンプ		
合計		3	12	12		
吉野分団	第1部	—	1	1	上宿	緑区吉野391番地1
	第2部	—	1	1	奈良本	緑区吉野1520番地1、2
小淵分団	第1部	1	—	—	藤野	緑区小淵1986番地
	第2部	—	1	1	下小淵	緑区小淵728番地1
沢井分団		—	1	1	落合	緑区澤井992番地2
日連分団	第1部	—	1	1	杉	緑区日連622番地3
	第2部	—	1※	1	日連	緑区日連1495番地1
名倉分団	第1部	—	1	1	葛原	緑区名倉3754番地1
	第2部	—	1	1	名倉	緑区名倉2622番地3
牧野分団	第1部	1	—	—	中尾	緑区牧野4236番地9
	第2部	—	1	1	菅井	緑区牧野11916番地3
	第3部	—	1	1	篠原	緑区牧野2875番地3
	第4部	—	1	1	大鐘	緑区牧野6928番地1
佐野川分団	第1部	—	1	1	和田	緑区佐野川651番地6
	第2部	1	—	—	上岩	緑区佐野川3287番地2

**※日連分団第2部の小型動力ポンプ付積載車は救助資機材搭載  
相模原市消防団車両総数**

消防団車両合計	指令車	ポンプ車	積載車
117台	1台	25台	91台

**消防団詰所・車庫総数**

総数	中央方面隊	南方面隊	北方面隊	津久井方面隊	相模湖方面隊	藤野方面隊
111棟	24棟	20棟	24棟	24棟	4棟	15棟



# 災害の警備



## ◇災害出場体制◇

本市では、建築物の高層化、深層化等都市構造の変化に伴い、複雑多様化する災害に迅速かつ確実に対応するため、消防車両の適正配置及び充実を図り、現在では消防車26台、はしご車、高所救助車等の特殊車48台及びその他の車両74台の合計148台を擁しております。

また、火災、救急、救助等の様々な災害に対応した消防車両等を迅速に出場させるため、消防情報管理システムの車両動態管理機能により、災害現場から近い順に消防隊、救助隊、救急隊等を選定し、人員、装備機材等を最大限に活用した災害対応を図っています。

### ★火災出場体制★

火災に出場する車両は、火災の種別ごとに次表のとおり計画されています。

種別	説明	第1出場	第2出場
一般火災	地階を除く階数が3以下の建物火災又は種別が判明しない火災	指揮車 1台 消防車 5台又は6台 救助工作車 1台 救急車 1台 高所救助車 1台*	消防車 3台
林野火災	森林、原野又は牧野の火災	指揮車 1台 消防車 4又は5台 救助工作車 1台* 資器材搬送車 1台* 救急車 1台*	消防車 3台
車両火災	自動車車両、被けん引車、鉄道車両又はこれらの積載物の火災	指揮車 1台 消防車 2又は5台 救助工作車 1台 救急車 1台	
中高層火災	地階を除く階数が4以上の建物火災	指揮車 1台 消防車 5台又は6台 救助工作車 1台又は2台 救急車 1台 高所救助車 1台* はしご車 1台*	消防車 3台 救助工作車 1台* はしご車 1台*
工場・倉庫火災	工場又は倉庫の火災	指揮車 1台 消防車 5又は6台 救助工作車 1又は2台 救急車 1台 高所救助車 1台* 化学車 1台	消防車 3台 救助工作車 1台* 化学車 1台*
その他火災	空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、屋外物品集積場、軌道敷、電柱類等上記に掲げる火災以外の火災	指揮車 1台 消防車 2又は5台	

危険物火災	危険物若しくは危険物施設の火災又は航空機火災	指揮車 1台 消防車 5又は6台 救助工作車 1又は2台 救急車 1台 高所救助車 1台* 化学車 1又は2台	消防車 3台 救助工作車 1台* 化学車 1台*
事後聞知火災	火災鎮火後に消防機関として出場を要する火災	指揮車 1台 消防車 1台	

※ 表中の\*印は、地域の特性に応じて出場する車両です。

※ 上記の計画出場のほか、警防本部長の命令や現場最高指揮者からの要請などにより、必要な車両を「特命出場」させることができます。

### ☆火災以外の出場☆

消防部隊は、火災以外にも次のような災害等に出場します。

種別	内容	説明
救助出場	救助	火災、交通事故などの災害により生命又は身体に危険が及んでいる場合に、その危険を排除し、又は安全な状態に救出する活動
	水難救助	救助活動のうち、河川、湖沼等における救出活動
	山岳救助	救助活動のうち、山岳における救出活動
	NBC災害	放射性物質、生物剤及び化学剤又は原因が特定できない物質に起因した災害における救出活動
	特殊災害	異臭、屋外におけるガス漏れ事故、酸欠、硫化水素等による自損行為等
救急出場	救急	一般の救急事故
	集団救急	災害等による傷病者がおおむね10人以上発生すると予想される場合の救急活動
	支援救急(CPA)	心肺停止又はその疑いのある傷病者による救急事故
	支援救急(国道等)	国道16号線、国道129号線、国道20号線、国道413号線の青山交差点(緑区青山3122番地先)から両国橋(緑区青根2863番地2先)までの区間、県道相武台相模原線の星が丘交差点(中央区星が丘3丁目15番先)から相模原公園入口交差点(南区麻溝台1丁目1番先)までの区間及び県道長竹川尻線のうち向原東交差点(緑区向原4丁目1番26号先)から東金原交差点(緑区根小屋1542番地1先)までの区間で発生した救急事故
	支援救急(救急隊支援)	救急小隊のみでは応急処置や搬出が困難と想定される事故等、指令課又は救急小隊が消防小隊等の出場を必要と認める救急事故
各種災害出場	ガス漏れ(建物)	屋内におけるガス漏れ事故
	警戒	火災と紛らわしい事象、火災発生の恐れのある事象(危険物の流出、火気の不始末、自火報等のベルの吹鳴(中高層建物を除く)等)
	へり警戒	航空機の離発着による警戒等における活動
	中高層警戒	中高層建物(地階を除く階数が4以上)における作動原因が不明な自火報等ベルの吹鳴及び即時通報による活動
	緊急通報警戒	緊急通報サービス受信による活動

各種災害出場	水防警戒	神奈川県水防計画に基づく水防警報（出動）の通知があったとき及び城山ダムから毎秒500立方メートル以上の放流があったときの警戒活動
	風水害	暴風、突風による事故、河川の洪水、低地の浸水等による活動
	危険排除	看板、枝等、落下危険の排除等による活動
	調査	災害による行方不明者の捜索等、消防機関として調査を要する活動
	その他	飼育動物の救出等、消防局長が特に必要と認める活動

### ☆消防相互応援協定☆

消防相互応援協定は、消防組織法第39条の規定に基づき、協定市町村間の消防力を活用して災害による被害を最小限度に防止することを目的として締結されています。

なお、本市は、神奈川県下22消防本部のほか東京消防庁等と相互応援協定を締結しています。

### ☆消防広域応援体制☆

市域を越える大規模又は広域的な災害が発生した場合に、消防機関の相互応援が迅速かつ円滑に行えるよう、「相模原市消防広域応援実施計画」、「相模原市緊急消防援助隊受援計画」及び「相模原市緊急消防援助隊応援等実施計画」を策定し、広域的な消防応援（受援）体制の充実を図っています。また、平成7年1月の「阪神・淡路大震災」の教訓を踏まえ、国内で発生した地震等の大規模災害時における人命救助活動等をより効果的かつ充実したものとするとともに、全国の消防機関相互による迅速な援助体制を確保するため、平成7年6月に自治省消防庁において緊急消防援助隊制度が発足したことを受け、本市では、現在、救助隊、救急隊、消防隊など29隊を総務省消防庁に登録しています。

平成16年10月 新潟県中越地震に救助隊及び後方支援隊を派遣

平成23年3月 東日本大震災に消防隊、救助隊、救急隊及び後方支援隊を派遣

令和 3年7月 静岡県熱海市土石流災害に指揮隊、救助隊、救急隊、特殊装備隊及び後方支援隊を派遣

### ☆国際消防救助隊☆

海外で大規模な災害が発生し、その被災国からの要請があった場合、国際緊急援助隊が派遣されます。その中で、救助チームとして人命の救助等を行う消防隊が国際消防救助隊です。本市では、この国際消防救助隊に6名の救助隊員登録をしています。

### ☆救助体制☆

新潟県中越地震や東日本大震災をはじめとする自然災害や尼崎市列車事故に見る安全と信じられていたインフラ施設での事故、海外では米国同時多発テロ事件以降、世界的にテロの脅威が高まっており、有毒化学物質や細菌等の生物剤、放射線の存在する環境下にも救助活動の範囲が及んでおり、このような状況の中、管轄区域内で発生する事故等に対し、より一層、的確に対応するとともに、他都市で発生した大規模・特殊災害に対しても、救助隊を積極的に応援派遣するため、平成23年3月25日、相模原消防署本署に「特別高度救助隊」（愛称「スーパーレスキューはやぶさ」）を配置しました。

この特別高度救助隊を始めとし、南消防署本署に高度救助隊、相模原消防署田名分署及び津久井消防署本署に特別救助隊をそれぞれ配置し、市内で発生する災害に備えています。

救助隊は、消防大学校、消防学校における専科教育を受けた者又は消防局で行う救助隊員資格取得研修の修了者等のうちから救助隊員としての専門的な知識、技術及び体力を兼ね備えたと認められる専任隊員で構成され、救助工作車、特殊災害対応自動車、救助資機材車、はしご車、高所救助車等の特殊車両、救助資機材等を活用した人命救助活動を任務としています。

## ☆救助活動の内容☆

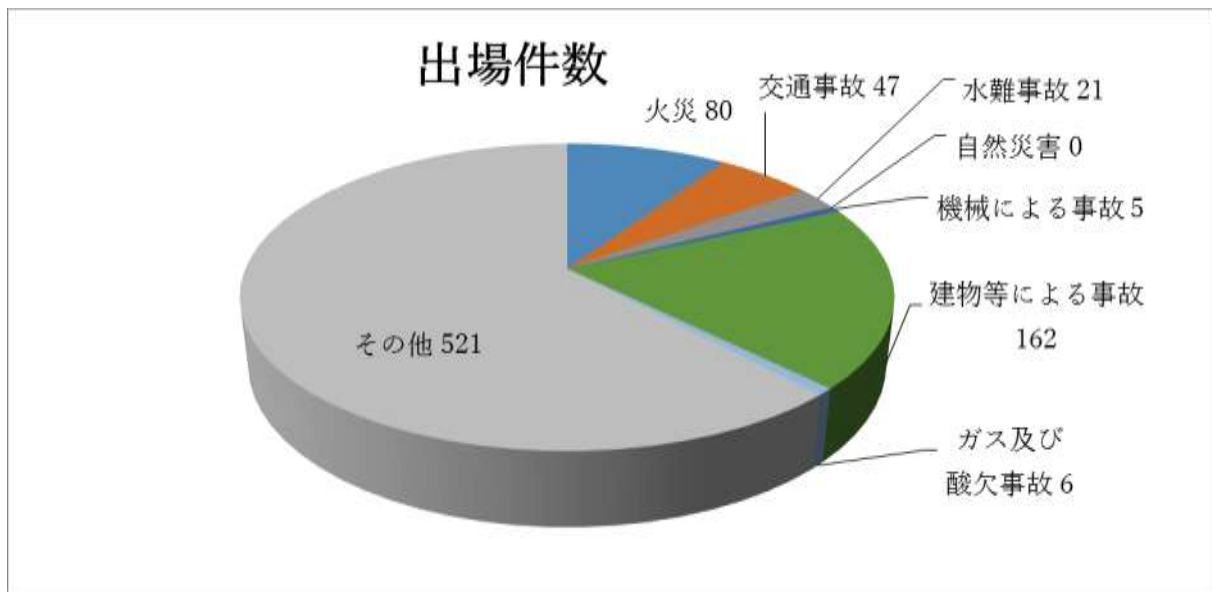
事故の区分について

- 火災：火災現場において直接火災に起因して生じた事故
- 交通事故：すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故
- 水難事故：水泳中の溺者又は水中転落等による事故
- 自然災害：暴風、豪雨、豪雪、洪水、地滑り等の異常な自然現象に起因する災害による事故
- 機械による事故：エレベーター、プレス機械等の建設機械、工作機械等による事故
- 建物等による事故：建物、塀等の建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故
- ガス及び酸欠事故：一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故
- 破裂事故：火災事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故
- その他：前述に掲げる以外の事故で、消防機関による救助を必要とした事故

(令和4年中)

事故種別	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他	合計
出場件数	80	47	21	0	5	162	6	0	521	842
構成比(%)	9.5%	5.6%	2.5%	0.0%	0.6%	19.2%	0.7%	0.0%	61.9%	100%

※小数点第二位を四捨五入のため、合計等が一致しない場合がある。



## ☆水の事故と山の事故☆

本市は、相模川などの一級河川をはじめ複数の河川、湖沼や山岳地域を市域に抱えていることから、毎年、水や山に関わる事故が多く発生しています。

令和4年中には、水の事故が21件※1、山の事故が20件※2発生しました。

その中でも水遊びや山登りなどのレジャーに関する事故を未然に防ぐため、毎年、夏の行楽シーズンや秋の登山シーズンにあわせ、事故防止のポイントなどを記載したリーフレットの配布やSNSを活用し注意喚起を呼び掛けるなど、水と山それぞれの事故ゼロキャンペーンを実施しています。

※1 水の事故の件数については、救助出場件数（水難事故）に、救急隊のみが出場した水難事故出場件数を加えて計上。

（令和4年中に救急隊のみが出場した水難事故出場件数：0件）

※2 山の事故の件数については、救助出場件数（その他の事故）のうち、救助発生場所が山岳となる事案を抽出した件数。

## 職員の訓練

警防活動を遂行する上で必要な知識と技術を修得するとともに、職員の体力向上を図るため、年間訓練計画を定めて実施しています。

### 特別訓練（消防局長が指定する訓練）

（令和4年中）

訓練種別	回数	参加人員	時間	1回当たりの訓練人員	1回当たりの訓練時間
救助技術強化訓練	910	2,791	3357.0	3.1	221分

### 一般訓練（消防署長が指定する訓練）

（令和4年中）

訓練種別	回数	参加人員	時間	1回当たりの訓練人員	1回当たりの訓練時間
相模原消防署	930	3,583	1644.0	3.9	106分
南消防署	1,643	7,099	2385.0	4.3	87分
北消防署	1,052	4,118	1434.0	3.9	82分
津久井消防署	928	2,958	1204.0	3.2	78分
小計	4,553	17,758	6667.0	3.9	88分

機器取扱訓練・礼式訓練・救急訓練・水防訓練・救助訓練・体力練成訓練他

### 救助隊員訓練（消防署長が指定する訓練）

（令和4年中）

訓練種別	回数	参加人員	時間	1回当たりの訓練人員	1回当たりの訓練時間
相模原消防署	569	2,665	1213.0	4.7	128分
南消防署	319	1,554	774.5	4.9	146分
津久井消防署	335	1,543	710.0	4.6	127分
小計	1,223	5,762	2697.5	4.7	132分

各種救助器具取扱訓練・ロ・プ基本応用訓練・検索救助訓練・各種救助事象想定訓練・体力練成訓練他

### 救急隊員訓練（消防署長が指定する訓練）

（令和4年中）

訓練種別	回数	参加人員	時間	1回当たりの訓練人員	1回当たりの訓練時間
相模原消防署	210	762	235.0	3.6	67分
南消防署	174	676	216.5	3.9	75分
北消防署	114	438	150.5	3.8	79分
津久井消防署	418	1,346	531.0	3.2	76分
小計	916	3,222	1133.0	3.5	74分

基礎医学研修・臨床救急医学研修・資器材取扱訓練・救急事象想定訓練・普及活動技能訓練他

上記訓練の合計	回数	参加人員	時間	1回当たりの訓練人員	1回当たりの訓練時間
合計	7,602	29,533	13854.5	3.9	109分

# 消防車両

本市では令和4年度に、消防ポンプ自動車4台、高規格救急自動車5台、緊急人員搬送車1台を製作しました。

## 製作車両

車種別	所管	主要諸元等				装備等
		全長 全幅	全高 総重量	排気量 駆動方式	定員 AT/MT	
消防ポンプ自動車 (4台)	淵野辺分署 麻溝台分署 相原分署	587cm	285cm	4.0L	5人	有圧水利対応ポンプ プロポーションナー 600ℓ水槽(淵野辺)
		191cm	6,075kg	2WD	AT	
	津久井本署	575cm	279cm	4.0L	5人	有圧水利対応ポンプ プロポーションナー 600ℓ水槽
		194cm	6745kg	4WD	MT	
高規格救急自動車 (5台)	緑が丘分署 大沢分署 城山分署 救急隊派出所 藤野分署	533cm	249cm	2.48L	7人	高度救命処置用資機材
		188cm	3,285kg	4WD	AT	
緊急人員搬送車 (1台)	南本署	702cm	281cm	2.99L	21人	後部荷物収納庫
		201cm	5,275kg	4WD	AT	



## 《令和4年度に製作した車両》



消防ポンプ自動車

(淵野辺分署・麻溝台分署・  
相原分署・津久井本署)



緊急人員搬送車

(南本署)



日産 高規格救急自動車

(緑が丘分署・大沢分署・城山分署)



トヨタ 高規格救急自動車

(救急隊派出所・藤野分署)

# 消防水利

消防水利には、消火栓、防火水槽、プール等の人工水利の他に河川などの自然水利があり、管轄区域における消防水利の総数は10,611施設で、消防署員が定期的にこれらすべての水利を巡回点検するなど、その適正配置及び維持管理に努めています。

## 消火栓

消火栓は、7,818基（公設7,766基、私設52基）が設置されています。公設消火栓は、水道管が新たに布設されるときに合わせての新設や、既に水道管が設置されている場所で消火栓が必要とされる箇所に増設するなど、地域的な分布を考慮し、計画的に設置しています。

## 防火水槽

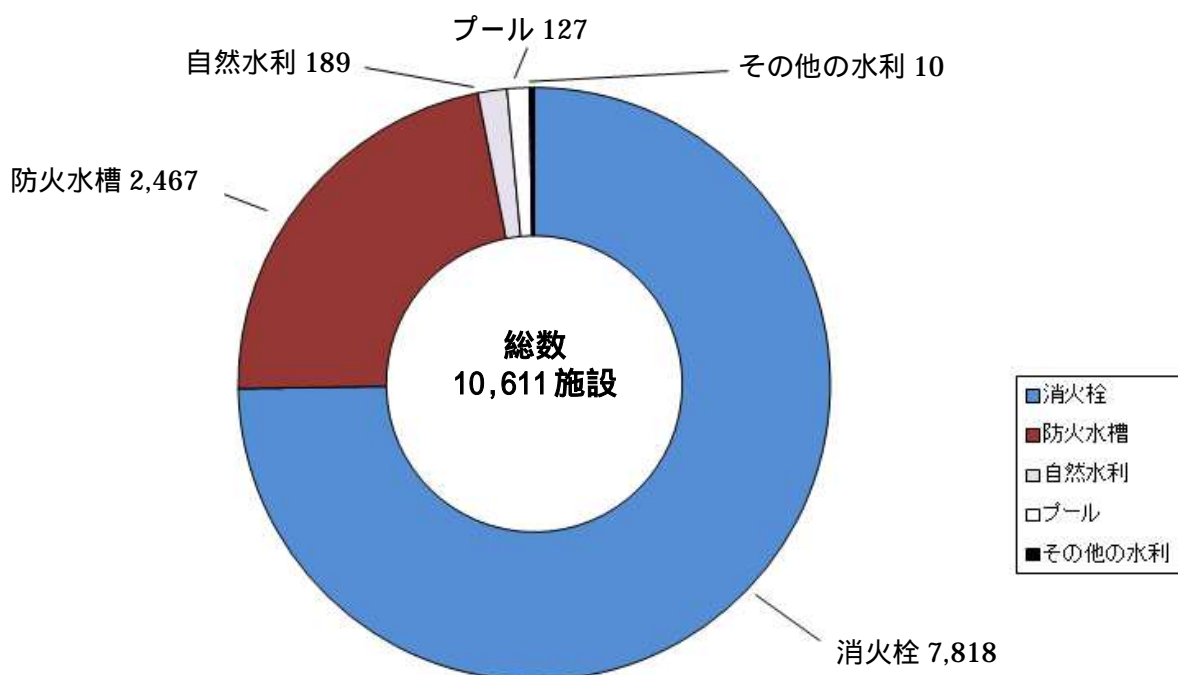
防火水槽は、2,467基（公設1,509基、私設958基）が設置されています。

大規模の地震等が発生した場合、停電による送水ポンプの不作動、地中埋設配管の亀裂による漏水等により消火栓が広範囲にわたって使用できなくなることが予想されます。このような場合でも消防水利の確保ができ、同時に多発した火災等に対して有効性が見込めるため、「消防水利の基準」により計画的に設置しています。また、老朽化した防火水槽を修繕するなど、災害時における市民の安全を確保するため整備を進めています。

## プール

プールは、127箇所の学校等に設置されており、平均の有効貯水量は約360立方メートルで防火水槽の約9基分の水を貯水しています。火災時に消防水利として活用されるばかりでなく、地震等の大規模災害時における非常用の生活用水等としても、重要な役割をもっています。

消防水利状況表



救 急



# ◇救 急◇

## ☆救急救命活動☆

### 1 救急事故の概要

昭和38年の救急業務開始時には、313件であった救急出場件数は人口増加に伴い増加傾向にあります。令和4年中の救急出場件数は42,060件で、前年に比べ6,213件増加し、搬送人員についても34,826人で、3,797人増加しました。このことは、市内で1日に約115件、約13分に1回の割合で救急隊が出場したことになり、市民の約17人に1人が救急車を要請したことになります。

(令和4年中)

区 分	出場件数 (件)	構成比 (%)	搬送人員 (人)	構成比 (%)	
合 計	42,060	100.0	34,826	100.0	
火 災	132	0.3	33	0.1	
自 然 災 害	0	0.0	0	0.0	
水 難	11	0.0	4	0.0	
交 通 事 故	2,343	5.6	2,151	6.2	
労 働 災 害	285	0.7	278	0.8	
運 動 競 技	215	0.5	203	0.6	
一 般 負 傷	5,661	13.5	4,955	14.2	
加 害	150	0.4	107	0.3	
自 損 行 為	457	1.1	326	0.9	
急 病	28,869	68.6	24,065	69.1	
そ の 他	転 院 搬 送	2,716	6.5	2,701	7.8
	医 師 搬 送	23	2.9	0	0.0
	資 材 搬 送	1		0	
	そ の 他	1,197		3	

※構成比の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、合計が100%にならない場合がある。

## 2 過去10年間の人口と救急件数の推移



## 3 救急隊の活動

令和5年4月1日現在、市内では20台の救急車と175名の救急隊員が活動しています。出場要請があると、その発生場所に一番近い救急隊が、消防緊急情報システムで選定されて現場に向かいます。

現場到着後、傷病者の観察と応急処置を実施し、救急告示医療機関の中から、その傷病者の症状に適した最寄りの医療機関を選定します。

## 4 救急救命士の活動状況

平成5年4月、相模原消防署本署に高規格救急車を配備し、救急救命士を配置しました。

平成12年4月には、配備されている救急車11台(当時)がすべて高規格救急車となりました。

令和5年4月1日現在、20台の高規格救急車と128名の救急救命士が、救急隊員として活動しています。

## 5 救命率の向上

一人でも多くの大切な命を救うため、市民への応急手当の普及啓発、消防署所の整備や救急隊の増隊、救急の高度化への対応、医療機関との連携強化などの取組を行い、「救命率」(心臓を起因として心肺機能が停止した時点が一般市民に目撃された傷病者の生存者数の割合)の向上を図っています。

救命率	令和2年	令和3年	令和4年
心臓を起因として心肺機能が停止した時点が一般市民に目撃された傷病者の生存者数の割合(%)	16.6	11.2	10.2

## ☆救急隊員の研修☆

市民の救急に対するニーズの高まりや複雑多様化する救急業務に対応するため、救急隊員はより高度な応急処置技術、知識を身に付ける必要があることから、積極的かつ効果的な研修を実施しています。研修は、大別すると養成研修と教育研修に分かれます。

### 1 養成研修

#### (1) 救急隊員

救急隊員を養成するため、消防学校において専門的知識、技能を習得させる。(250時間以上)

#### (2) 救急救命士

救急救命士の受験資格を取得するため、救急救命士養成所において必要な知識、技能を習得させる。(1,015時間以上)

#### (3) 就業前研修

救急救命士資格取得後の救急救命士を対象に北里大学病院(救命救急・災害医療センター)で救急救命処置等に関する知識、技術を習得させる。(160時間以上)

### 2 教育研修

#### (1) 生涯研修

##### ア 救急救命士生涯研修

進歩する救急医療に的確に対応するため、北里大学病院(救命救急・災害医療センター)等で特定行為などに関する知識・技術を習得させる。

##### イ 救急隊員基本研修・新任救急隊員研修

救急業務遂行に必要な基礎的知識及び技能を習得させる。

##### ウ 派遣研修

全国救急隊員シンポジウム、事例発表等の研修に派遣し、救急業務に必要な最新の情報や専門的知識を習得させる。

#### (2) 資格取得研修(救急救命士の処置範囲拡大に対応) ※1時限は50分

##### ア 気管挿管研修

消防学校等で気管挿管に関する講習(62時限)を修了している者に対して、病院での実習(30症例)を行い、知識・技術を習得させる。

##### イ ビデオ硬性挿管用喉頭鏡研修

気管挿管資格者に対し、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡に関する講習(7時限)及び病院実習(2症例)を行い、知識・技術を習得させる。

##### ウ 拡大2行為研修

薬剤投与資格者に対し、拡大2行為に関する講習(24時限)を行い、知識・技術を習得させる。

##### エ 指導救命士養成研修

研修機関	研修内容
救急救命九州研修所	指導的立場の救急救命士の養成に必要な講義(119時限)及び実習(113時限)
横浜市救急救命士養成所	指導技法・教育技法に重点をおいた内容(100時間程度)

## ☆医療機関との連携☆

### 1 救急医療体制の状況

相模原市における救急医療体制は、救急隊によって搬送される傷病者に対する医療を24時間体制で行う救急告示医療機関を基本とし、休日・夜間の比較的軽症な傷病者を受け持つメディカルセンターなどの初期救急医療機関、入院治療を要する傷病者を受け持つ病院等の二次救急医療機関、さらに重篤な傷病者に対して、高度診療機能により24時間体制で傷病者を受入れる三次救急医療機関の三層からなっています。

### 2 体制（令和5年度）

この体制は、省令で定められた救急告示制度を補完するとともに、初期救急医療、二次救急医療及び三次救急医療と機能分担を図ることにより、救急医療提供体制の円滑化を目的とするものです。

#### (1) 救急医療情報システム

市民から救急搬送の要請を受ける消防指令センター（☎119）と、休日・夜間等の受診可能な医療機関を案内する救急医療情報センター（☎042-756-9000）があります。救急医療情報センターでは市民への案内のほか、救急医療情報の収集、関係機関（救急医療機関、消防指令センター、救急隊）への情報提供などが行われています。

#### (2) 救急告示医療体制（市内14病院、1診療所）

救急告示医療機関の制度は、交通事故等による傷病者を対象とするものとして昭和39年に発足しましたが、昭和61年の制度改正によって急病の傷病者にまでその対象が拡大されています。

#### (3) 初期救急医療体制（メディカルセンター急病診療所等）

##### ア 内科・小児科・外科

相模原市内で休日・夜間に発生した内科、小児科、外科等対応傷病者の初期診療を行います。

##### イ 産婦人科

相模原市内で休日（昼間）に発生した産婦人科対応傷病者の初期診療を行います。

##### ウ 眼科

相模原・県央ブロックで休日（昼間）に発生した眼科対応傷病者の初期診療を行います。

##### エ 耳鼻科

相模・県央ブロックで休日（昼間）に発生した耳鼻咽喉科対応傷病者の初期診療を行います。

#### (4) 二次救急医療体制（病院等入院治療が可能な医療機関）

##### ア 内科・小児科・循環器科・消化器科

相模原市内（相模原医療圏）で休日・夜間に発生した入院等を必要とする内科・小児科・循環器科・消化器科等対応傷病者の診療を行う医療機関を確保します。

##### イ 外科系

相模原市内（相模原医療圏）で休日・夜間に発生した入院等を必要とする外科系対応傷病者の診療ができる医療機関を確保します。

##### ウ 産婦人科

相模原市内（相模原医療圏）で休日に発生した産婦人科系対応の専門治療が必要な傷病者の診療を行う医療機関を確保します。

##### エ コール体制

内科、小児科等輪番体制が組まれているもの以外の専門医療を必要とする傷病者の診療を行います。

##### オ 脳神経系救急医療体制

超急性期虚血性脳梗塞におけるt-P A治療が必要な傷病者に対応できる病院の受入体制を



整え、救急隊が、迅速・的確な判断をすることが出来る基準を使用して(相模原脳卒中スケール)、カレンダー方式により診療可能情報を確認し、適切な医療機関で治療を行います。

※二次救急医療機関とは、内科等の病院群輪番制事業参加医療機関を指し、現在、市内救急告示医療機関の12病院が兼ねています。

(5) 三次救急医療体制

三次救急医療機関は、初期、二次救急医療機関、救急告示医療機関や救急隊等との連携のもとに、脳卒中、心筋梗塞、頭部外傷等重篤な傷病者を高度の診療機能により受入れることを目的とするもので、北里大学病院(救命救急・災害医療センター)が相模原市をはじめとする近隣市町村の広域圏域における役割を担っています。

3 体制時間帯(令和5年度)

《救急医療機関の案内》

体制区分	診療科目	実施場所	診療(実施)時間帯
相模原救急医療情報センター	—	ウェルネスさがみはら (相模原市総合保健医療センター内)	平日 17:00~翌9:00 土曜日 13:00~翌9:00 休日 9:00~翌9:00

《休日(昼間)》

体制区分	診療科目	実施場所	診療(実施)時間帯
初期救急医療体制	内科系	相模原中央メディカルセンター	休日 9:00~17:00
	小児科		
	外科系		
	内科系	相模原南メディカルセンター	休日 9:00~17:00
	小児科		
	外科系		
	産婦人科		
	眼科		
	耳鼻科	相模原北メディカルセンター ※R3.4.1~休止中	休日 9:00~17:00
	内科系		
内小系	相模原西メディカルセンター	休日 8:45~12:00 12:45~16:00	
二次救急医療体制 (※輪番体制以外の専門科等はコール体制)	内科系	市内の医療機関	土曜日 13:00~17:00 休日 9:00~17:00
	循環器系		
	消化器系		
	小児科		
	外科系		
	産婦人科		休日 9:00~17:00

《夜 間》

体制区分	診療科目	実施場所	診療（実施）時間帯
初期救急医療体制	内科系	相模原中央メディカルセンター	平日・土曜日 20:00～23:00 休 日 17:00～23:00
	小児科		平 日 20:00～23:00 土曜日・休日 17:00～23:00
	外科系	相模原南メディカルセンター	※どちらか1ヶ所で実施 20:00～23:00 年末年始 17:00～23:00
	内科系		平日・土曜日 20:00～23:00 休 日 17:00～23:00
	内科系	相模原北メディカルセンター ※R3.4.1～休止中	土曜日 20:00～23:00 休 日 17:00～23:00
	内小系	相模原西メディカルセンター	休 日 19:00～22:00
	内科系	津久井地域夜間在宅当番制度	平日・土曜日 19:00～22:00
初期救急医療（終夜）体制	小児科	相模原中央メディカルセンター	23:00～翌6:00
二次救急医療体制 （※輪番体制以外の専門 科等はコール体制）	内科系	市内の医療機関 （内科二次救急医療機関が兼 ねる）	平 日 19:00～翌9:00 土曜日・休日 17:00～翌9:00
	内科系		
	循環器系	市内の医療機関	
	消化器系		
小児科	市内の医療機関（外科二次救急 医療機関が外科の初期救急医 療（終夜）も兼ねる）	17:00～翌9:00	

《指定日》

体制区分	診療科目	実施場所	診療（実施）時間帯
脳神経系救急医療体制	脳神経系	カレンダー方式による 市内協力医療機関	昼 間 9:00～17:00 夜 間 17:00～翌9:00

4 県北・県央地区メディカルコントロール体制・協議会

平成15年4月15日に北里大学病院救命救急センター（当時）、相模原市・大和市・座間市・綾瀬市・津久井郡（当時）の5都市の医師会、病院協会、保健所、衛生部局、消防本部で構成する県北・県央地区メディカルコントロール協議会を設置し、現在は、常時指示体制の整備、事後検証体制の整備、生涯教育体制の整備及び救急救命士の処置範囲拡大への対応などを行っています。

(1) 常時指示体制の整備

救急隊が現場から24時間迅速に救急専門部の医師に指示・指導・助言を要請できる体制で、北里大学病院救命救急・災害医療センターの指示医師（22名）から指示を受けています。

・ 指示実績

県北・県央地区全体1,575件（うち相模原市946件）※令和4年中

(2) 事後検証体制の整備

救急活動における処置の適正性や医学的判断について、検証医師（北里大学病院救命救急・災害医療センター医師及び二次医療機関医師 計15名）による事後検証を行い、その結果を生涯研修

や今後の救急活動に活用しています。

- ・ 検証実績

県北・県央地区全体1,613件（うち相模原市1,001件）※令和4年度

### (3) 生涯教育体制の整備

救急救命士の資格取得後の生涯教育として定期的に病院実習を行うもので、2年間で128時間以上の研修が必要とされ、北里大学病院救命救急・災害医療センター等で研修を行っています。

- ・ 生涯研修実績

(北里大学病院救命救急・災害医療センター)

県北・県央地区全体145名（うち相模原市94名）※令和4年度

(二次医療機関)

県北・県央地区全体52名（うち相模原市0名）※令和4年度

### (4) 救急救命士の処置範囲拡大への対応

平成3年に救急救命士法が施行されてから、さまざまな検討や研究が行われ、救急救命士が実施することのできる「救急救命処置」の範囲が拡大しています。当地区でも処置範囲拡大に対応できる救急救命士を養成しています。（1時限は50分）

#### ア 気管挿管

平成16年7月からは、消防学校で62時限の座学講習及び病院で生体による30症例の実習を行い、神奈川県MC協議会で認定された救急救命士は「気管内チューブ」を使用して気管まで直接チューブを挿入して気道を確保する気管挿管ができるようになりました。

- ・ 気管挿管資格者

県北・県央地区全体176名（うち相模原市93名）※令和5年4月1日現在

#### イ ビデオ硬性挿管用喉頭鏡による気管挿管

平成23年8月からは、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を使用した気管挿管が認められ、当地区でも平成26年度から講習7時限及び病院で生体による2症例の実習を行い、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を使用できるようになりました。

- ・ ビデオ硬性挿管用喉頭鏡による気管挿管資格者

県北・県央地区全体152名（うち相模原市74名）※令和5年4月1日現在

#### ウ 薬剤投与

平成18年4月からは、教育機関での170時限の座学講習と病院実習（50時限）を行い、神奈川県MC協議会で認定された救急救命士は、「アドレナリン」を静脈路から投与することができるようになりました。

- ・ 薬剤投与資格者

県北・県央地区全体265名（うち相模原市152名）※令和5年4月1日現在

さらに平成21年3月からは、アナフィラキシーショックにより生命が危険な状態にある傷病者が、あらかじめ自己注射が可能なアドレナリン製剤を処方されている場合には、アドレナリン製剤を投与することができるようになりました。

#### エ 拡大2行為

平成26年4月からは、24時限の講習を行い、神奈川県MC協議会で認定された救急救命士は、拡大2行為（「心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液」及び「血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与」）が実施できるようになりました。

- ・ 拡大2行為登録救急救命士

県北・県央地区全体262名（うち相模原市150名）※令和5年4月1日現在

#### オ 指導救命士

平成28年11月に神奈川県MC協議会において指導救命士の運用が定められ、神奈川県MC協議会で認定された指導救命士は、県北・県央地区及び相模原市において救急救命士資格取得後

の救急救命士や救急隊員等の生涯教育をリードしていく重要な役割を果たしています。

- ・ 指導救命士

県北・県央地区全体 25名（うち相模原市 13名）※令和5年4月1日現在

## ☆市民と救急隊の連携☆

### 1 応急手当普及啓発活動

「救える命を救うために」救急車が到着するまでの間、傷病者の身近に居合わせた市民が速やかに応急手当（人工呼吸・胸骨圧迫、止血等）を行うことが必要となります。

このようなことから、市民、事業所等に対して、心肺蘇生法などの応急手当を積極的に普及、啓発しています。

#### (1) 応急手当指導員の養成（令和4年度）

基礎的な知識・技能だけでなく、指導要領も習得する講習を実施しました。応急手当指導員の養成講習4回と再講習1回を実施し、消防職員のうちから19名の指導員を養成しました。再講習は、6名が受講しました。

#### (2) 応急手当普及員の養成（令和4年度）

普通救命講習の普及指導に従事することができるよう、指導要領を学ぶ講習を実施しました。応急手当普及員の養成講習1回と再講習2回を実施し、市内の事業所等を中心に、25名の普及員を養成しました。再講習は、22名が受講しました。

#### (3) 上級救命講習の実施（令和4年度）

救命に必要な応急手当のほか、ケガや病気の時に役立つ応急手当を学ぶ上級救命講習を実施しました。

- ・ 講習実施回数 8回（市主催5回、団体等3回）
- ・ 講習受講者数 179名

#### (4) 普通救命講習（Ⅰ・Ⅲ）の実施（令和4年度）

応急手当の基本を学ぶ講習を実施しました。

- ・ 講習実施回数 97回（市主催20回、団体等65回、普及員12回）
- ・ 講習受講者数 1,796名

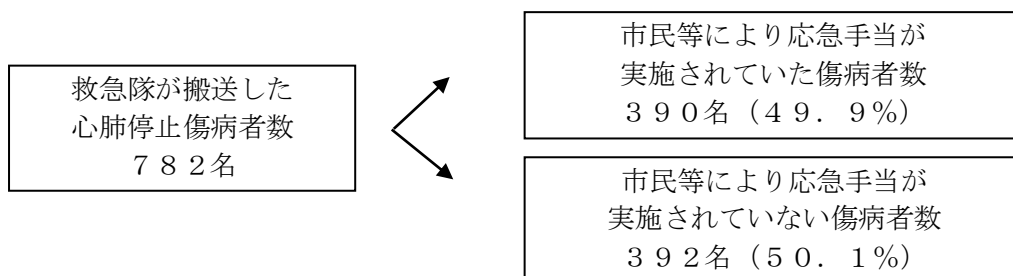
#### (5) 救命入門コースの実施（令和4年度）

応急手当の導入講習を実施しました。

- ・ 講習実施回数 22回（市主催3回、団体等19回）
- ・ 講習受講者数 296名

### 2 市民等による応急手当

令和4年中に救急隊が搬送した心肺停止傷病者のうち、市民等により応急手当が実施されていた傷病者と実施されていない傷病者の内訳は、次のとおりです。



### 3 きゅうきゅう安心カードの普及

高齢になるに従い思わぬケガをしたり、循環器系疾患や高血圧症、糖尿病等の疾患にかかる方が多くなります。きゅうきゅう安心カードは、このような高齢の方への救急対策の取組として開始（平成元年）し、現在は所持を希望する市民の皆様へ配布しています。

高齢の方や障害を持つ方に、持病やかかりつけ病院名等を記載したきゅうきゅう安心カードを常時携帯していただき、急病等の発生時に救急隊がカードに記載された情報に基づき、迅速で適切な救急業務を行うことを目的としています。

過去5年のきゅうきゅう安心カード配布枚数

年度別	配布枚数
平成30	595
令和元	447
令和2	49
令和3	31
令和4	654
合計	1,776



### 4 きゅうきゅうあんしんHELPカードの普及

日本語に不慣れな外国人の方が、持病やかかりつけ病院名等を記載したきゅうきゅうあんしんHELPカードを常時携帯していただき、急病等の発生時に救急隊がカードに記載された情報に基づき、迅速で適切な救急業務を行うことを目的としています。（令和3年から配布）

市内各区の住民異動担当窓口で、転入される外国人の方に配布しているほか、消防署や救急車で、希望される外国人の方に配布しています。また、相模原市ホームページから印刷が可能です。

年度別きゅうきゅうあんしんHELPカード配布枚数

年度別	任意希望者	まちづくりセンター等へ配布	合計
令和3	11	2,300	2,311
令和4	336	2,650	2,986
合計	347	4,950	5,297



## 5 AEDの設置促進

平成16年7月から一般市民によるAEDの使用が可能になったことから、不特定多数の市民が集まる市の関連施設へ、AEDの設置を促進しています。

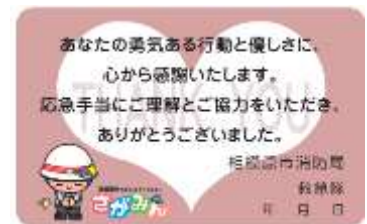
また、平成22年8月1日から「自動体外式除細動器（AED）使用可能施設登録制度」を開始し、市内でAEDを設置している民間施設等に登録を呼びかけ、近隣で事故等が発生したときに、登録されているAEDを利用し、早期除細動ができる環境を整えています。



区名 \ 施設別	民間施設等の AED使用可能施設 (うち24時間使用可能) (令和5年4月1日現在)		市の関連施設の AED使用可能施設数 (うち24時間使用可能) (令和4年10月1日現在)	
	施設数	台数	施設数	台数
緑区	134 (36)	152 (42)	142 (49)	153 (59)
中央区	174 (30)	196 (32)	110 (37)	122 (42)
南区	127 (34)	174 (72)	118 (45)	129 (52)
合計	435 (100)	522 (146)	370 (131)	404 (153)

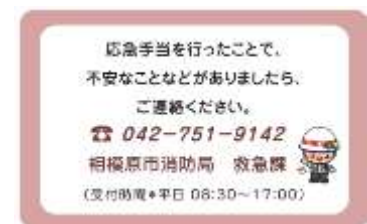
## 6 バイスタンダーサンキューカードの配付

平成28年3月9日から、誰もが安心して応急手当を実施してもらうために、バイスタンダーが不安なことなどがある場合に、問い合わせできる窓口を記載した「バイスタンダーサンキューカード」を感謝の気持ちとともにお渡しし、バイスタンダー（その場に居合わせ応急手当を実施していただいた人）の心的ストレスなどのサポートに努めています。



過去5年のバイスタンダーサンキューカード配布枚数及び相談件数

年度別	配付枚数	相談件数
30	208	1
令和元	132	0
令和2	94	0
令和3	70	0
令和4	35	0
合計	539	1



## 7 患者等搬送事業の登録推進

平成19年4月1日から、寝たきりの人、体が不自由な人及び傷病者等(以下「患者等」という。)を、ベッド等を備えた専用車を用い、医療機関及び社会福祉施設に搬送する事業(以下「患者等搬送事業」という。)に係る一定の基準を定めて、これに適合している患者等搬送事業を認定しています。

令和5年4月1日現在で、17事業所を認定しています。

また、平成30年度から、市で認定している患者等搬送事業者の乗務員に対して、患者等搬送事業者乗務員再講習を実施しています。



## 8 高齢者福祉施設等救急講習会の実施

高齢化の進行等により、救急出場件数は増加傾向にあります。

本市の高齢者福祉施設等からの救急要請についても、増加しているため、平成27年9月11日から、高齢者福祉施設等に対する予防救急の推進と、円滑な救急活動を行うための相互の理解を深めることを目的に、高齢者福祉施設等の職員を対象とした講習会を開催しています。

令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催を中止しました。



年度別	参加施設数	受講者数
27	163	246
28	103	140
29	135	185
30	87	114
令和元	48	65
令和2	0	0
令和3	0	0
令和4	49	51
合計	585	801





# 火災の予防



# 火災の状況

令和4年中の火災は166件で、前年(131件)に比べ35件(26.7%)増加しました。

これは、おおむね1日に0.45件の割合で火災が発生したことになります。

火災の種別による発生件数は、建物火災が92件で最も多く、全体の55.4%を占め、次いで、その他の火災50件(30.1%)、車両火災20件(12.0%)の順となっています。

人口1万人あたりの出火率は2.3%で、前年と比べ、0.5%増加しています。

火災による死者は3人で、前年(4人)に比べ1人(25%)減少しました。

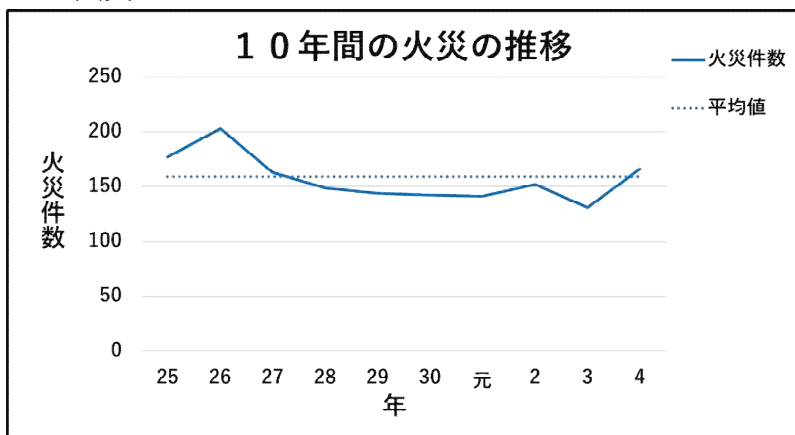
## 令和4年中の火災

(1日平均)

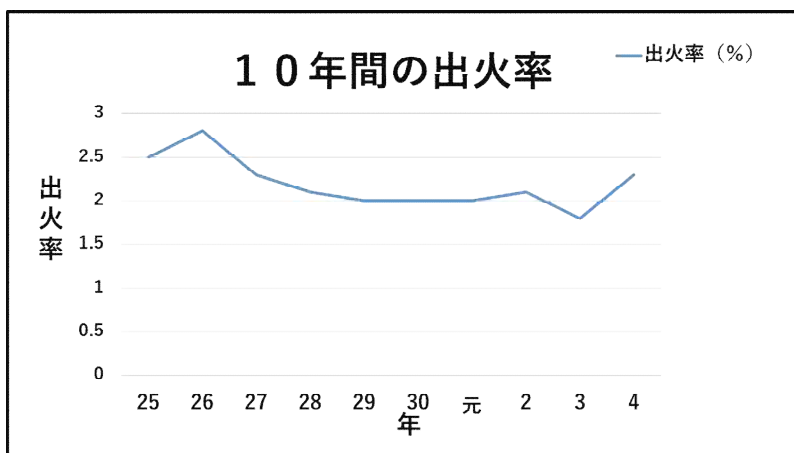
火災件数	166件	火災件数	0.45件
建物火災件数	92件	建物火災件数	0.25件
建物火災以外の件数	<ul style="list-style-type: none"> <li>林野 4件</li> <li>車両 20件</li> <li>その他 50件</li> </ul>	建物焼損面積	7.08㎡
		損害額	39万0千円
		罹災世帯数	0.29世帯
建物焼損棟数と焼損面積	<ul style="list-style-type: none"> <li>合計 121棟 2,586㎡</li> <li>全焼 22棟 1,832㎡</li> <li>半焼 5棟 169㎡</li> <li>部分焼 22棟 584㎡</li> <li>ぼや 72棟 1㎡</li> </ul>	罹災者数	0.59人
		死傷者数	0.10人
林野	焼損面積	17.4(a)	(建物火災1件あたり)
損害額	<ul style="list-style-type: none"> <li>全火災 1億4,222万1千円</li> <li>建物 1億3,750万9千円</li> <li>建物以外 471万2千円</li> </ul>	建物焼損面積	28.11㎡
		損害額	149万5千円
		罹災世帯数	1.16世帯
罹災世帯数	107世帯	罹災者数	2.35人
罹災者数	216人		
死者	3人	(人口1万人あたり)	
負傷者	35人	出火率	2.3%

損害額を市民1人あたりに換算すると約198円になり、1日に換算すると約39万円が灰になったこととなります。

過去からの火災

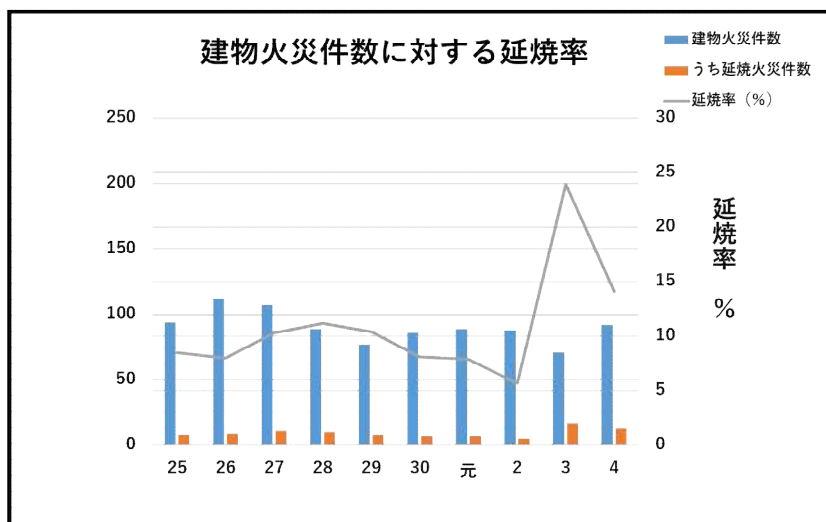


和 暦	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
火災件数	177	203	163	149	144	142	141	152	131	166



和 暦	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
出火率 (%)	2.5	2.8	2.3	2.1	2.0	2.0	2.0	2.1	1.8	2.3

出火率とは、人口1万人当たりの出火件数



和 暦	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
建物火災件数	94	112	107	89	77	86	89	88	71	92
うち延焼火災件数	8	9	11	10	8	7	7	5	17	13
延焼率 (%)	8.5	8.0	10.3	11.2	10.4	8.1	7.9	5.7	23.9	14.1

延焼率とは、建物火災において火元を含んで2棟以上が焼損した火災の割合

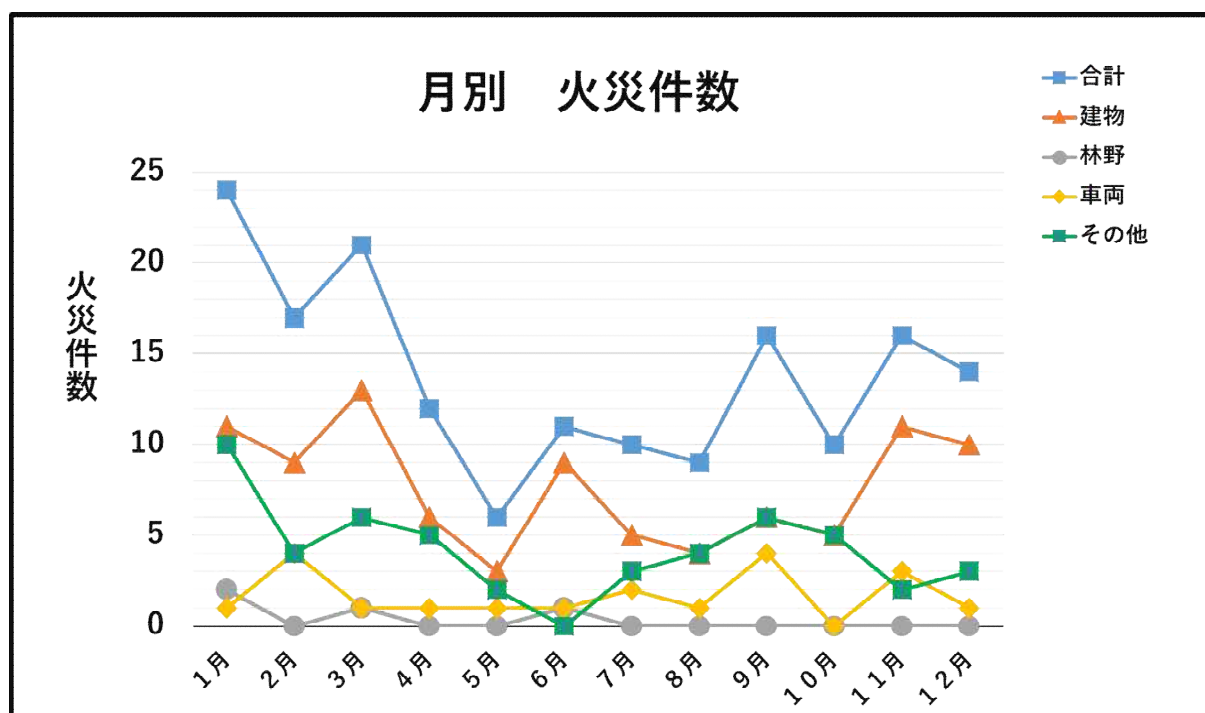
## 月別・地区別火災状況

月別の火災件数は、1月が24件（14.6%）と最も多く、次いで3月が21件（12.7%）、2月が17件（10.2%）の順となっています。

（令和4年中）

月別	火災件数				
	合計	建物	林野	車両	その他
計	166	92	4	20	50
1月	24	11	2	1	10
2月	17	9	-	4	4
3月	21	13	1	1	6
4月	12	6	-	1	5
5月	6	3	-	1	2
6月	11	9	1	1	-
7月	10	5	-	2	3
8月	9	4	-	1	4
9月	16	6	-	4	6
10月	10	5	-	-	5
11月	16	11	-	3	2
12月	14	10	-	1	3

（令和4年中）



行政区域別の火災件数は、田名地区が最も多く発生しています。(令和4年中)

地区別		火災件数				
		合計	建物	林野	車両	その他
計		166	92	4	20	50
緑区	橋本	7	6	-	-	1
	大沢	9	5	1	1	2
	城山	7	2	1	4	-
	津久井	5	3	-	1	1
	相模湖	3	1	-	1	1
	藤野	6	3	-	-	3
中央区	小山	5	3	-	1	1
	清新	7	6	-	-	1
	横山	4	2	-	2	-
	中央	9	6	-	-	3
	星が丘	2	2	-	-	-
	光が丘	1	1	-	-	-
	大野北	12	10	-	-	2
	田名	17	11	-	3	3
	上溝	7	2	-	1	4
南区	大野中	6	4	-	1	1
	大野南	14	6	-	2	6
	麻溝	10	4	1	-	5
	新磯	15	2	1	2	10
	相模台	13	8	-	-	5
	相武台	2	2	-	-	-
	東林	5	3	-	1	1
	その他	-	-	-	-	-

1,000世帯あたりの火災件数は、新磯地区、藤野地区の順で多く発生しています。

地区別	火災件数	建物焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)	地区別世帯数	
緑区	橋本	0.19	110	39,054	36,539
	大沢	0.67	77	824	13,524
	城山	0.71	48	1,447	9,869
	津久井	0.50	11	536	10,084
	相模湖	0.90	-	3,660	3,349
	藤野	1.88	796	16,524	3,217
中央区	小山	0.49	13	585	10,338
	清新	0.44	49	4,905	16,075
	横山	0.66	-	712	6,093
	中央	0.47	72	2,708	19,178
	星が丘	0.25	50	1,861	8,168
	光が丘	0.09	23	611	11,192
	大野北	0.39	210	17,412	31,053
	田名	1.38	555	15,527	12,395
	上溝	0.50	254	17,730	14,048
南区	大野中	0.21	-	442	28,231
	大野南	0.34	45	2,736	40,713
	麻溝	1.30	52	571	7,702
	新磯	2.78	56	5,330	5,442
	相模台	0.57	116	7,055	22,963
	相武台	0.20	37	814	10,067
	東林	0.23	12	1,177	21,782
その他	-	-	-	-	

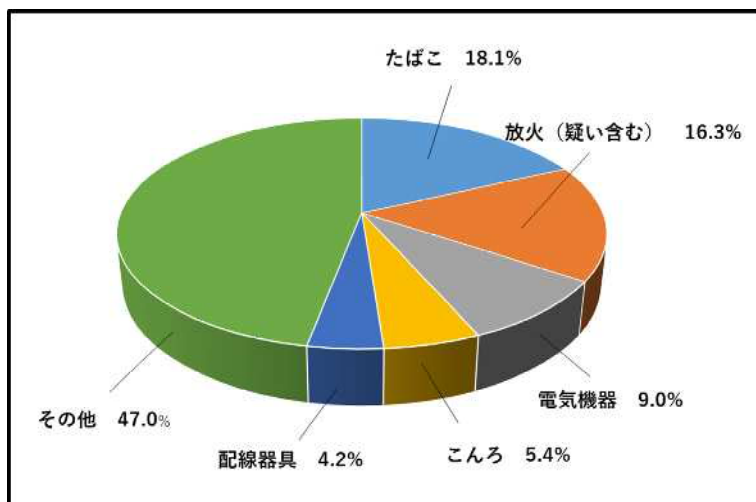
地域別世帯数は、令和5年1月1日現在の世帯数です。

### 原因別火災件数と内訳

令和4年中の火災原因を分類すると、 たばこ30件、 放火（疑い含む）27件、 電気機器15件、 こんろ9件、 配線器具7件の順で、合計88件（53.0%）に上ります。

令和元年から令和3年まで放火（疑いを含む）が火災原因の第1位となっていました。令和4年はたばこが第1位でした。

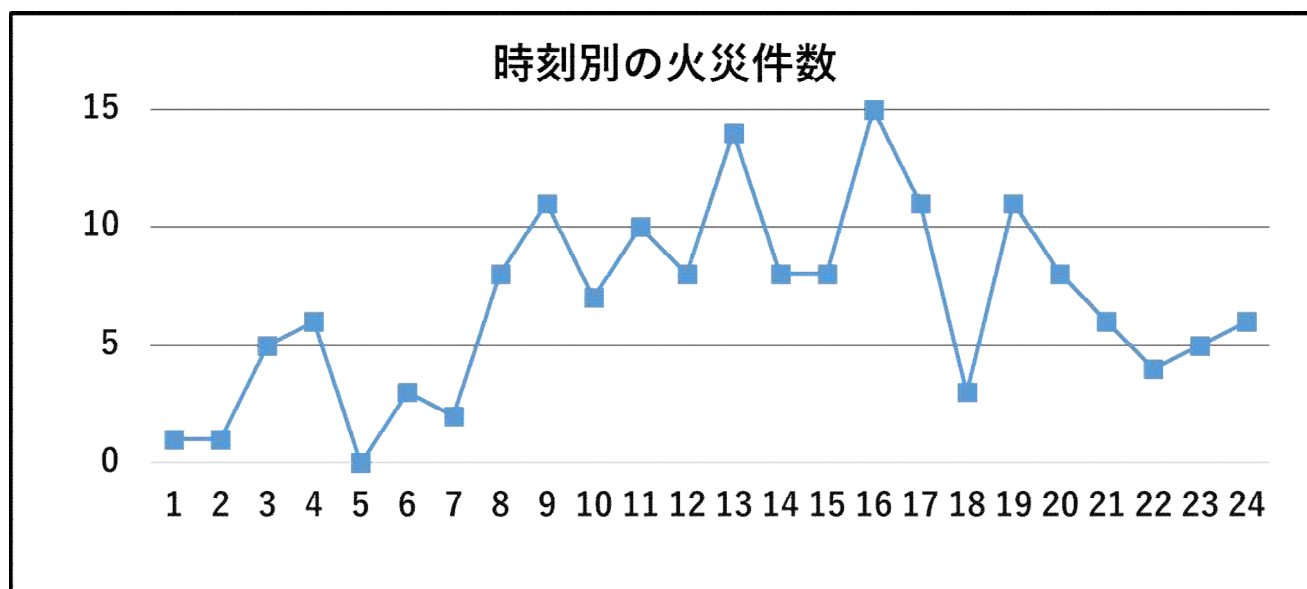
順位	原因	件数	比率%
1	たばこ	30	18.1
2	放火（疑い含む）	27	16.3
3	電気機器	15	9.0
4	こんろ	9	5.4
5	配線器具	7	4.2
	その他	78	47.0



### 時刻別の火災件数

火災件数を時刻別にみると、16時台が15件で最も多く発生しています。

昼間（6時から18時まで）に105件、夜間（18時から翌朝6時まで）に56件発生しています。（出火時刻が不明の火災が5件あります。）



時刻	1時	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
件数	1	1	5	6	0	3	2	8	11	7	10	8
時刻	13時	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
件数	4	8	8	5	11	3	11	8	6	4	5	6

## 火災の覚知別

消防機関が様々な方法で通報を受け付け、火災の事実を知ることが「覚知」といい、覚知別の状況は下の表のとおりです。

最も多いのは、携帯電話の53.0%で、次に事後聞知の28.9%、固定電話の11.4%と続いています。

「事後聞知」とは、火災が鎮火した後に、消防機関が火災の事実を知ることです。

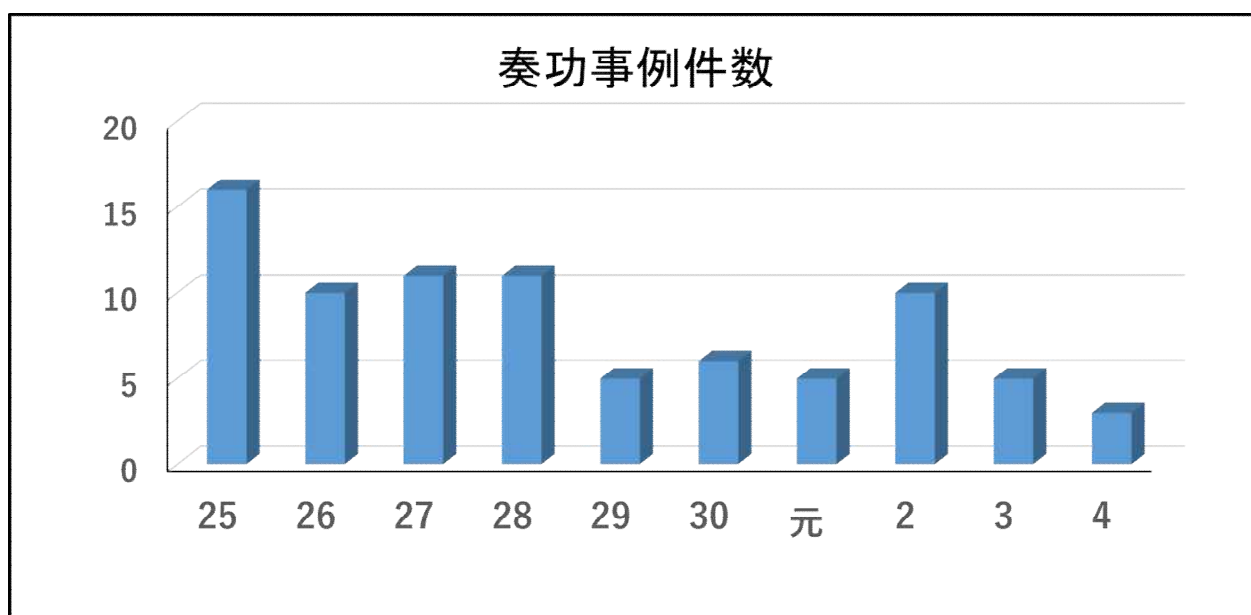
(令和4年中)

覚知別	119番 (携帯電話)	事後聞知	119番 (固定電話)	加入電話	駆け付け 通報	警察電話	その他
件数	88	48	19	8	0	0	3
比率(%)	53.0	28.9	11.4	4.8	0	0	1.8

## 住宅用火災警報器

「住宅用火災警報器」の作動による早期の対応により、「火災に至らなかった」、「ぼや」で済んだりする効果のあった事例が毎年報告されています。

市内では、94.0%の住宅で設置されています(令和4年6月時点の標本調査値)。



和暦	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
件数	16	10	11	11	5	6	5	10	5	3



# 火災の予防

## 火災予防の年間行事

全国一斉に行われる秋、春の火災予防運動をはじめ、年間計画に基づく防火対象物の査察、また歳末火災特別警戒及び消防訓練指導等を行い、市民・事業所に対し、火災予防と人命の安全確保を呼びかけ、防火体制の確立に努めています。なお、令和4年度中に実施した主な事業は次のとおりです。

- 1 火災予防運動 防火標語（令和4年度全国統一）  
『お出かけは マスク戸締り 火の用心』
  - (1) 秋季火災予防運動 11月9日～11月15日
    - ア 重点目標
      - (ア) 住宅防火対策の推進
      - (イ) 乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
      - (ウ) 放火火災防止対策の推進
      - (エ) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
      - (オ) 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
      - (カ) 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底
    - イ 主な実施事項
      - (ア) 住宅用火災警報器の設置推進及び適切な維持管理に係る広報活動
      - (イ) 特定防火対象物、事業所等の消防訓練及び訓練指導
      - (ウ) 特定防火対象物の予防査察及び違反のある防火対象物の是正指導
      - (エ) 祭事等の関係者に対する火災予防指導
  - (2) 春季火災予防運動 3月1日～3月7日
    - ア 重点目標
      - (ア) 住宅防火対策の推進
      - (イ) 乾燥時及び強風時火災発生防止対策の推進
      - (ウ) 放火火災防止対策の推進
      - (エ) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
      - (オ) 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
      - (カ) 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底
      - (キ) 林野火災予防対策の推進
    - イ 主な実施事項
      - (ア) 住宅用火災警報器の設置推進及び適切な維持管理に係る広報活動
      - (イ) 事業用バス、自家用バスの予防査察又は自主点検指導
      - (ウ) 駅舎、車両整備工場及び旅館・ホテルの予防査察
      - (エ) 小規模社会福祉施設、有床診療所等に対する予防査察又は火災予防指導
      - (オ) 特定防火対象物、事業所、自主防災組織等の消防訓練及び訓練指導
- 2 歳末火災特別警戒 12月26日～12月31日
  - (1) 広報
  - (2) 社寺等の巡回警戒
- 3 訓練指導等  
不特定多数の者が出入りする施設の検証訓練指導及び一般事業所の消防訓練指導

## 火災予防の広報

火災の発生防止と火災発生時の早期通報、初期消火、安全避難など一連の初期活動が行われるためには、市民一人一人の火災予防に対する理解と協力が必要です。

そこで、秋・春の火災予防運動時に市ホームページや Twitter などの SNS、広報紙等へ火災予防記事の掲載、自主防災組織の防災訓練や事業所等の消防訓練時に、(公社)相模原市防災協会所有の防火映画等を貸出しするなど、市民に対して幅広い火災予防広報を展開しています。

### 自主防災組織の防災訓練指導状況

(令和4年度)

区 分	合 計
訓 練 回 数	194回
参 加 人 員	14,082人
消 防 職 員 数	408人
消 防 団 員 数	515人

### 事業所等の消防訓練指導状況

(令和4年度)

区 分	合 計
訓 練 回 数	235回
参 加 人 員	17,091人
消 防 職 員 数	1002人
消 防 団 員 数	0人

## 初期消火協力の推進

火災の被害を最小限にとどめるためには、市民の適切な初期消火活動がなければなりません。

令和4年中に発生した166件の火災のうち、消火器による初期消火活動がなされた火災は35件で、そのうち8件について、市民が使用した消火器11本の薬剤を無償で詰め替え、初期消火協力の推進を図っています。

(令和4年中)

火災件数	消火器による初期消火活動がなされた火災	消火器の薬剤を無償で詰め替えた火災	火 災 種 別				
			計	建 物	林 野	車 両	その他
166件	35件	8件	11本	5本	0本	4本	2本

## 市民への防火指導

- 1 自治会等に対して防火講話、防災訓練等を実施し、地域住民に対する防火指導を行っています。また、一人暮らし高齢者家庭等の防火診断を実施し、火災発生防止に努めています。

### 一人暮らし高齢者家庭等の防火診断（令和4年度）

区別	防火診断数
合計	106人
中央区	48人
南区	17人
緑区	41人

[注]・防火診断数は、対象者宅にて住宅防火診断を実施したものを示します。

- 2 小学3、4年生を対象に火災の知識や火災から身を守る能力等を習得させるため、体験学習型の防火教育（ファイヤースクール）を市内の小学校（全74校）に呼びかけ実施しています。

### ファイヤースクール実施状況

年度	実施校数	受講児童数
令和2年度	38校	3,399人
令和3年度	65校	5,634人
令和4年度	67校	5,315人

## 枯草・空家火災防止対策

空地等の火災予防上危険な枯草地を調査し、処理の推進を図っています。また、火災予防上必要な措置を講じなければならない空家の調査及び指導を実施しています。

### 枯草火災防止対策指導状況（令和4年度）

	筆数	面積（㎡）	所有者（人）
合計	6	3,707	7
相模原署	1	300	1
南署	2	2,735	2
北署	2	347	3
津久井署	1	325	1

### 空家火災防止対策指導状況（令和4年度）

	空家数	指導件数	所有者（人）
合計	0	0	0
相模原署	0	0	0
南署	0	0	0
北署	0	0	0
津久井署	0	0	0

## 防火協力団体等の育成指導

1 防火管理上必要な知識と技術の向上や、事業所間の連絡調整を図ることを目的に組織された団体の育成指導を行っています。なお、主な事業内容は、次のとおりです。

(1) サービス事業等防火管理研究会(47事業所)

防火管理実務研修の実施

(2) 工場防火管理研究会(93事業所)

防火管理実務研修の実施

火災予防普及啓発用物品の配付



消防用設備等取扱い研修

2 市民と行政が一体となった防火防災活動の充実を図るため、昭和46年に相模原市防災協議会として発足し、平成9年4月に新たに法人として社団法人相模原市防災協会を設立し、平成24年4月1日からは公益社団法人に移行した公益社団法人相模原市防災協会を通じ、育成指導を図っています。(令和5年4月1日現在 正会員19団体 831事業所・賛助会員76事業所)



自衛消防隊消火競技会

# 防火対象物

## 防火対象物と防火管理者の選任状況

火災の発生を防止し、火災による被害の軽減を図るための消防法の規定によって学校、病院、工場、事業場、百貨店、飲食店、旅館その他の防火対象物の所有者、管理者等で管理について権原を有する関係者は、一定の基準に従って消火器や屋内消火栓設備などの消火設備、自動火災報知設備や非常警報設備などの警報設備、誘導灯や避難器具などの避難設備、消防用水や消火活動上必要な施設などを設置し、維持管理することが義務づけられています。また、これらの消防用設備等のほか、多数の者が出入りし、勤務し、居住する防火対象物については一定の資格を有する防火管理者を選任し、消防計画を作成して、これに基づく訓練を実施し、消防用設備等の点検整備を行わなければならないこととされています。

### 防火対象物と防火管理者の選任状況

(令和5.4.1)

消防用設備等の設置対象物(法17条)	種 別						
	定期点検	1種A	1種B	2種A	2種B	3種A	3種B
21,670	722	1,992	427	3,644	396	3,369	11,120

防火管理者選任対象物(法8条)	防火管理者選任実数	防火管理者選任割合(%)
4,437	3,877	87.4

## 中高層建築物

消防法施行令別表第一に掲げる対象物の3階以上の中高層建築物は、市内で8,580棟あり、今後も増加の傾向にあります。

これらの建築物から出火した場合、消火、避難、人命救助等の活動が困難となることが予想されるので、消防用設備等の設置・維持・管理及び防火管理体制の充実強化について関係者に指導を行うとともに、防ぎよ・避難計画の樹立とこれに基づく教育、訓練の励行に努めています。

### 中高層建築物の建築状況

(令和5.4.1)

合 計	3 階	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10階	11階以上
8,580 棟	4,503	1,688	1,080	399	318	162	92	99	239

中高層建築物を用途別にみると共同住宅4,829棟、複合用途2,172棟、事務所等398棟、工場等336棟の順になっています

また、地区別では大野南1,217棟、橋本1,057棟、大野北868棟、中央824棟の順に、署所別では相模原本署1,659棟、南本署917棟、淵野辺分署839棟、北本署668棟の順になっています。

## 30階以上の高層建築物

(令和5.4.1)

名 称	所 在 地	地上階数	地下階数
ザ・ハシモトタワー	緑区橋本6丁目1番14号	33	1
リビオ橋本タワーブロードビーンズ	緑区橋本6丁目20番1号	33	1
オラリオンサイト2番館	緑区西橋本5丁目2番12号	32	1
オラリオンサイト3番館	緑区西橋本5丁目2番13号	32	1
ミッドオアシスタワーズ	緑区大山町1番31号	32	1
パークスクエア相模大野タワー & レジデンス(センタータワー)	南区相模大野7丁目35番1号	32	1

# 火災予防の査察

産業経済の発展に伴い特殊建築物が逐年増加の傾向にあり、これらの防火対象物の位置、構造、設備及び管理等の状況を検査することにより、火災予防上の不備欠陥を発見し、関係者に対して必要な指示、指導を積極的に行っています。

## 査察対象物の区分

防火対象物の出火、延焼拡大及び人命危険は、その防火対象物の用途、構造及び規模によって大きく左右されるため、査察対象物を次のように区分しています。

査察対象物区分表

区 分		用途・規模
定期点検報告 査察対象物		消防法施行令(以下「政令」という。)第4条の2の2に規定する 防火対象物
1種査察対象物	A	特定防火対象物(法第17条の2の5第2項第4号に規定する特定防火対象物をいう。以下同じ。)で、法第8条の規定により防火管理者選任義務を有し、かつ、自動火災報知設備の設置義務を有するもの
	B	特定防火対象物で、法第8条の規定により防火管理者選任義務を有し、かつ、消防用設備等(自動火災報知設備を除く。)の設置義務を有するもの
2種査察対象物	A	非特定防火対象物(特定防火対象物以外の政令対象物(政令別表第1に規定する防火対象物をいう。以下同じ。)をいう。以下同じ。)で、法第8条の規定により防火管理者選任義務を有し、かつ、自動火災報知設備の設置義務を有するもの
	B	非特定防火対象物で、法第8条の規定により防火管理者選任義務を有し、かつ、消防用設備等(自動火災報知設備を除く。)の設置義務を有するもの
3種査察対象物	A	1種及び2種査察対象物以外の政令対象物で、政令により自動火災報知設備の設置義務を有するもの
	B	1種及び2種査察対象物以外の政令対象物で、政令により消火器具の設置義務を有するもの
4種査察対象物	A	著しく消火困難な危険物施設(危険物の規制に関する規則(昭和34年総理府令第55号)第33条に規定する著しく消火困難な製造所等をいう。)
	B	危険物製造所等(Aの項に掲げるものを除く。)
5種査察対象物		1種査察対象物から4種査察対象物までの査察対象物以外の政令対象物、住宅及びその他の消防対象物

## 査察の種類と実施状況

### [ 一般立入検査 ]

消防長の示す基本方針に基づき、消防署長が実施するものをいいます。

(令和4年度)

査察内訳 区分	対象物の数	査察計画数 (a)	査察実施数 (b)	実施率 (%) (b/a)
合計	21,648	3,259	2,941	90.24
定期点検	722	186	339	182.26
1種査察対象物A	1,991	477	382	80.08
1種査察対象物B	427	49	94	191.84
2種査察対象物A	3,642	445	611	137.30
2種査察対象物B	394	58	69	118.97
3種査察対象物A	3,368	524	352	67.18
3種査察対象物B	11,104	1,520	1,094	71.97

対象物の数は、令和4年度の査察計画策定時の数値になります。

### [ 特別立入検査 ]

消防長又は消防署長が必要と認めたとき、消防対象物又は地域を定めて実施するものをいいます。  
令和4年度は、特別立入検査の実施はありませんでした。



防火対象物定期点検報告状況（敷地数）

（令和5.4.1）

用途	対象物数			点検報告済		特例認定済		実施率（%）		
	合計	1号 該当	2号 該当	1号 該当	2号 該当	1号 該当	2号 該当	1号 該当	2号 該当	合計
1 項イ	4	4	-	2	-	2	-	100.0	-	100.0
1 項ロ	39	38	1	12	-	17	1	76.3	100.0	76.9
2 項イ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 項ロ	25	25	-	16	-	3	-	76.0	-	76.0
2 項ハ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 項ニ	1	1	-	1	-	-	-	100.0	-	100.0
3 項イ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3 項ロ	9	-	9	-	5	-	2	-	77.8	77.8
4 項	70	59	11	47	10	10	1	96.6	100.0	97.1
5 項イ	20	4	16	1	9	3	4	100.0	81.3	85.0
6 項イ	30	20	10	7	2	8	7	75.0	90.0	80.0
6 項ロ	9	-	9	-	5	-	-	-	55.6	55.6
6 項ハ	13	3	10	1	5	1	4	66.7	90.0	84.6
6 項ニ	15	10	5	1	-	6	4	70.0	80.0	73.33
9 項イ	2	2	-	2	-	-	-	100.0	-	100.0
1 6 項イ	203	120	83	70	46	45	6	95.8	62.7	82.3
1 6 項の2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	440	286	154	160	82	95	29	89.1	72.0	83.2

対象物内容

（1）1号該当（消防法施行令第4条の2の2第1号）

特定防火対象物で収容人員が300人以上のもの

（2）2号該当（同第2号）

1号に掲げるもののほか、特定防火対象物の用途に供される部分が避難階以外の階（1、2階を除く。）に存し、当該階から地上に直通する階段が2以上設けられていないもの

1号及び2号に該当する対象物は、1号該当対象物に含む。

防災管理対象物状況（敷地数）

（令和5.4.1）

用途	対象物数
4 項	4
6 項イ	3
7 項	6
1 2 項イ	13
1 5 項	3
1 6 項イ	9
合計	38

対象物内容

防災管理対象物（消防法施行令第4条の2の4）

自衛消防組織の設置を要する防火対象物

- （1）地階を除く階数が11以上の防火対象物で、延べ面積が1万平方メートル以上のもの
- （2）地階を除く階数が5以上10以下の防火対象物で、延べ面積が2万平方メートル以上のもの
- （3）地階を除く階数が4以下の防火対象物で、延べ面積が5万平方メートル以上のもの

共同住宅や倉庫は除きます。

# 建築関係

## 消防同意事務

消防同意事務は建築基準法第93条第1項及び消防法第7条第1項に基づく、火災予防行政の基幹となる事務であり、防火の専門機関としての立場から実態に即した指導を行いつつ、建築関係行政庁等と緊密な連絡協調を図り、建築物の防災に万全を期しています。

### 業態別消防同意件数

(令和4年度)

業 態 別	件 数	割合%
計	2,339	100
専 用 住 宅	1,915	81.87
併 用 住 宅	-	-
劇 場 等	1	0.04
遊 技 場	1	0.04
飲 食 店	6	0.25
百 貨 店 等	15	0.64
旅 館 等	-	-
共 同 住 宅	166	7.10
病 院 等	8	0.34
老人短期入所施設等	22	0.94
老人デイサービスセンター等	13	0.56
幼 稚 園 等	-	-
学 校 等	6	0.26
図 書 館 等	-	-
浴 場 等	-	-
停 車 場	2	0.09
社 寺 等	1	0.04
工 場 ・ 作 業 場	12	0.51
車 庫 等	4	0.17
倉 庫	30	1.28
事 務 所 等	100	4.28
複 合 建 物	37	1.58
重 要 文 化 財	-	-
ア ー ケード	-	-
そ の 他	-	-

### 年度別消防同意件数

(過去10年)

年度別	件 数
25年度	3,191 (1,323)
26年度	2,627 (922)
27年度	2,497 (733)
28年度	2,502 (992)
29年度	2,582 (1,007)
30年度	2,287 (1,021)
令和元年度	2,410 (1,009)
2年度	1,996 (818)
3年度	2,423 (894)
4年度	2,339 (1,011)

( )内は建築基準法第93条第4項に基づく通知

## 開発事業協議

小数点第三位を四捨五入のため、合計等が一致しない場合があります。

近年の都市化の進展や高度化に伴い、災害の対応もますます複雑、多様化しています。

このため、一度災害が発生した場合、従来にない困難な消防活動となる可能性があります。

そこで、建築物における迅速かつ確実な消防活動等を確保するために、建築計画以前の段階から「開発事業基準条例」に基づき、消防水利、消防用活動空地、ヘリコプターによる消防活動等に必要な施設等の設置について協議をしています。

令和4年度中の開発事業基準条例に係る協議件数は、消防水利については5件、消防用活動空地について24件、ヘリコプターによる消防活動等に必要な施設については0件でした。

なお、完了件数は、消防水利については2件、消防用活動空地については11件、ヘリコプターによる消防活動等に必要な施設については0件でした。

# 危険物の保安



# 危険物の施設

危険物は、ガソリン・灯油などの燃料のほか、プラスチックや化学繊維などの化学工業製品の原料などに幅広く使用されており、私たちの生活に無くてはならないものとなっています。

しかし、危険物は取扱いを誤ると、容易に火がついたり爆発を起こしたりするリスクを持っています。

危険物災害を未然に防止するため、危険物施設の許認可事務の適正な執行や、査察等で施設の位置、構造及び設備の適切な管理並びに取扱いの指導を行うとともに、家庭における危険物の貯蔵及び取扱いについても、自主防災訓練等を通じて指導を行っています。

## 消防署所別・倍数別施設数

(令和5年4月1日現在)

署別 倍数別 区分	施設 区分	合計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所						
				小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給油 取扱所		第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
													自 家 用	営 業 用				
合 計		846	9	512	185	20	12	188	4	87	16	325	58	78	5	3	181	
署 別	相 模 原 署	本 署	154	2	90	37	3	4	30	-	12	4	62	6	11	3	2	40
		田名分署	104	1	62	28	5	-	20	-	6	3	41	7	4	1	-	29
		淵野辺分署	44	2	30	13	1	-	16	-	-	-	12	3	2	-	-	7
		緑が丘分署	32	-	18	3	1	-	6	-	8	-	14	3	7	1	-	3
		上溝分署	60	1	41	6	1	-	3	-	27	4	18	7	7	-	-	4
	南 署	本 署	11	-	3	-	-	1	2	-	-	-	8	1	4	-	-	3
		麻溝台分署	64	-	33	12	-	1	19	-	1	-	31	2	4	-	-	25
		新磯分署	31	-	18	3	-	-	13	1	1	-	13	4	2	-	-	7
		東林分署	9	-	6	4	-	-	1	-	-	1	3	-	3	-	-	-
		大沼分署	44	1	28	14	-	1	8	-	4	1	15	3	4	-	-	8
	北 署	相武台分署	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	1
		上鶴間分署	11	-	7	2	-	-	4	-	1	-	4	-	3	-	-	1
		本 署	34	2	23	9	6	1	4	-	3	-	9	-	2	-	-	7
	津 久 井 署	大沢分署	27	-	17	2	-	1	9	-	4	1	10	5	1	-	-	4
		相原分署	61	-	37	23	2	-	11	-	1	-	24	7	4	-	1	12
		城山分署	39	-	24	8	-	1	9	1	4	1	15	1	5	-	-	9
		本 署	60	-	40	9	-	1	19	1	9	1	20	3	6	-	-	11
	倍 数 別	藤野分署	24	-	14	1	-	1	11	-	1	-	10	3	3	-	-	4
青根分署		2	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	
鳥屋出張所		33	-	20	11	1	-	2	1	5	-	13	2	5	-	-	6	
合 計		846	9	512	185	20	12	188	4	87	16	325	58	78	5	3	181	
倍 数 別	5倍以下	367	2	281	96	6	10	88	4	72	5	84	4	-	3	-	77	
	5倍超10倍以下	166	2	97	43	3	1	38	-	3	9	67	11	-	1	-	55	
	10倍超50倍以下	171	2	90	35	3	1	38	-	11	2	79	37	-	1	3	38	
	50倍超100倍以下	50	3	26	4	3	-	18	-	1	-	21	5	9	-	-	7	
	100倍超150倍以下	20	-	10	5	2	-	3	-	-	-	10	1	9	-	-	-	
	150倍超200倍以下	19	-	4	-	2	-	2	-	-	-	15	-	12	-	-	3	
	200倍超1,000倍以下	51	-	3	1	1	-	1	-	-	-	48	-	47	-	-	1	
1,000倍超	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-		

### 類別構成・事務処理状況

危険物は、第1類から第6類まで、性質により分類されています。そのうち、第4類の危険物（ガソリン、軽油、灯油などの引火性液体）を貯蔵、取り扱う施設が全体の約94%を占めています。

新たに危険物施設を設置する場合や既存の施設を変更する場合には、事前に許可を受け、完成検査を受ける必要があります。また、その他にも各種手続きが必要な場合があります。

（令和5年4月1日現在）

類別 事務別 区分	施設 区分	合計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所						
				小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給油 取扱所		第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
													自 家 用	営 業 用				
類 別	合計	846	9	512	185	20	12	188	4	87	16	325	58	78	5	3	181	
	第1類	6	-	5	5	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	
	第2類	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	第3類	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	
	第4類	797	5	491	164	20	12	188	4	87	16	301	58	78	4	2	159	
	第5類	2	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	第6類	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	
混在	40	4	13	13	-	-	-	-	-	-	23	-	-	1	1	21		
事 務 別	許可	設置	13	-	11	2	1	1	3	-	2	2	2	1	-	-	-	1
		変更	154	2	16	6	-	-	5	-	5	-	136	1	25	-	-	110
	完成	設置	12	-	8	2	1	1	1	-	2	1	4	-	1	-	-	3
		変更	123	3	13	3	-	-	5	-	5	-	107	1	23	-	-	83
	タンク 検査	水張	270	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		水圧	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	設置取止	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	
	変更取止	1	-	0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	
	仮使用	135	2	3	3	-	-	-	-	-	-	130	1	21	-	-	108	
	仮貯蔵	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	仮取扱	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	他市への転出	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	転入	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
廃止	21	-	13	5	1	-	4	-	3	-	5	-	1	-	-	4		

### 年度別危険物許可・承認件数

件名区分	年度	平成	平成	平成	平成	平成	平成	令和	令和	令和	令和
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
許 可	設置	22	14	9	15	11	14	18	15	9	13
	変更	137	155	144	132	143	183	168	125	169	154
完 成	設置	19	16	10	13	13	12	14	17	11	12
	変更	133	137	126	122	122	160	162	118	156	123
仮使用		112	142	130	114	120	157	136	114	156	135
タンク検査		604	581	409	439	471	410	437	415	375	272

## 認可・届出の取扱

年間の認可、届出の事務取扱件数は、474件でした。

軽微な変更、設置者の住所氏名等が変更した場合は、書類の提出が必要になります。

危険物施設は、その構造や設備を変更する場合には、許可を受ける必要があります。

届出区分	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
危険物製造所等譲渡引渡届		1	17	9	1	7
危険物製造所等種類数量倍数変更届		9	20	25	28	22
危険物製造所等廃止届		25	26	24	21	18
危険物保安監督者選任（解任）届		82	93	97	100	70
予防規程制定・変更認可申請		4	6	23	15	11
危険物製造所等資料提出（軽微な変更）		101	111	104	154	193
"    （住所、氏名等の変更）		66	95	71	87	91
"    （管理運営委託）		24	25	28	23	22
"    （休止、再開）		6	10	2	4	4
危険物取扱者資料提出		30	63	58	43	36

## 年度別危険物施設査察実施状況

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
対 象 数	884	872	864	854	844
査察計画数	308	358	369	408	376
査 察 件 数	381	399	244	389	387
実 施 率	123.7%	111.5%	66.1%	95.3%	102.9%

計画数に計上していない新規施設の査察等により実施率が100%を超えることがあります。

## 年度別移動タンク貯蔵所・運搬車両街頭査察実施状況

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
査察件数	4	5	5	3	4

## 年度別事故発生状況

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事故件数	0	1	2	8	5

# 火薬類の施設

火薬類は、採石場やトンネルの掘削、更には我が国の伝統文化である花火など、これまで長年使用されてきた分野に加え、航空機や宇宙開発といった先端産業まで、幅広い分野で使用され、産業経済を支える重要なものとなっていますが、その取扱いを誤ると、重大な災害（事故）につながるリスクを併せ持っています。

火薬類による災害（事故）を防止し、公共の安全を確保するため、関係事業所等に対して許認可事務の適切な執行や、査察等により火薬類の製造、貯蔵、販売、消費及び取扱いについての規制や指導を行っています。

平成29年4月1日に火薬類取締法に係る事務権限が指定都市の長(相模原市長)に移譲されました。

## 区分別施設数

(各年4月1日現在)

区 分	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
火薬類製造事業所（煙火製造所）	4	3	3	3	3	3
打ち揚げ煙火・仕掛け煙火	2	1	1	1	1	1
がん具煙火	0	0	0	0	0	0
兼業	2	2	2	2	2	2
火薬庫	17	17	16	16	16	16
1級火薬庫	4	4	4	4	4	4
2級火薬庫	0	0	0	0	0	0
3級火薬庫	2	2	2	2	2	2
実包火薬庫	0	0	0	0	0	0
煙火火薬庫	9	9	8	8	8	8
がん具煙火貯蔵庫	2	2	2	2	2	2
導火線庫	0	0	0	0	0	0
水蓄火薬庫	0	0	0	0	0	0
火薬類販売所	16	15	15	14	14	14
競技用紙雷管	8	7	7	6	6	6
競技用紙雷管を除く	8	8	8	8	8	8
火薬庫外火薬類貯蔵場所	18	16	19	19	21	18
販売業者	14	12	12	11	11	11
委託貯蔵	1	1	1	1	2	2
土木関係	0	0	0	0	0	0
その他	3	3	6	7	8	5
合 計	55	51	53	52	54	51

## 査察実施状況

火薬類及び高圧ガス査察規程第10条の規定に基づく立入検査の執行基準により、5年に1回以上実施しています。

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
対 象 数	55	53	52	54	51
査 察 計 画 数	33	29	25	25	27
査 察 実 施 件 数	35	32	29	28	26
実 施 率	106.1%	110.3%	116.0%	112%	96.3%

計画数に計上していない事業所の査察等により実施率が100%を超えることがあります。



## 事務処理状況

令和4年度中の許認可申請の件数は29件、検査申請の件数は9件、届出・報告等の件数は98件でした。

許可申請の内容としては、煙火の消費や、火薬類の譲渡しや譲受けの許可などです。

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	内 容
許可申請	26	30	25	22	26	煙火の消費、火薬類の譲渡し、譲受け、廃棄の許可など
保安検査申請	10	10	10	9	9	製造所又は火薬庫の保安検査
完成検査申請	0	0	1	0	0	製造所又は火薬庫の完成検査
認可申請	0	0	2	2	3	危害予防規程又は保安教育計画の認可
指示申請	0	2	3	0	0	火薬庫外の火薬類貯蔵場所の指示
届出・報告	82	60	63	58	98	施設の変更や保安体制に係る届出、定期自主検査の報告など
合 計	118	102	104	91	136	

## 年度別事故発生状況

令和4年度中に火薬類に係る事故が1件発生し、負傷者が1名発生しました。

対象年度	発生件数	死者	負傷者
平成30年度	3	0	0
令和元年度	1	0	1（軽傷）
令和2年度	0	0	0
令和3年度	0	0	0
令和4年度	1	0	1（重傷）

# 高圧ガスの施設

高圧ガスは、私たちの生活や産業社会など多くの分野で使用されていますが、誤った取扱いが原因で漏えいや爆発、火災などに直結します。また、ひとたび災害（事故）が発生すると、人的、物的に多大な被害をもたらすことがあります。

高圧ガスによる災害（事故）を防止し、公共の安全を確保するため、関係事業所等に対して許認可事務の適正な執行や、査察等により高圧ガスの製造、貯蔵、販売、移動、輸入、消費及び廃棄並びに容器の製造及び取扱いについての規制や指導を行っているほか、民間事業者及び高圧ガス保安協会による自主的な保安活動の促進に努めています。

平成30年4月1日に高圧ガス保安法に係る事務権限が指定都市の長（相模原市長）に移譲されました。

## 区分別施設数等

（各年4月1日現在）

区 分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	具体例
第1種製造事業所	43	45	45	42	46	・プロパンガス充填所 ・空気分離装置による酸素・窒素製造所 ・高圧ガス運送車両（タンクローリー） ・大規模な空調設備・冷凍設備
第2種製造事業所	353	349	318	305	255	・消防署の空気ボンベ充填所 ・小規模な空調設備・冷凍設備
第1種貯蔵所	8	9	9	10	12	・プロパンガス充填所のボンベ置場
第2種貯蔵所	47	52	53	54	65	・ガス販売店のボンベ置場 ・大規模なガス消火設備用ボンベ室
販売所	367	290	250	251	274	・産業ガス（酸素、窒素等）の販売店 ・空調設備用冷媒ガス（フロン等）の販売店 ・炭酸水製造装置の販売店
容器検査所	16	16	16	16	14	・自動車整備工場（天然ガス・水素等）
特定高圧ガス消費事業所	18	19	19	19	18	・病院施設（医療用酸素） ・研究施設（モノシランガス等） ・工場（液化石油ガス）
合 計	852	780	710	697	684	

## 査察実施状況

火薬類及び高圧ガス査察規程第10条の規定に基づく立入検査の執行基準により、5年に1回以上実施しています。

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
対 象 数	824	747	673	661	665
査 察 計 画 数	130	151	138	161	144
査 察 実 施 件 数	181	193	119	97	109
実 施 率	139.2%	127.8%	86.2%	60.2%	75.7%

計画数に計上していない事業所の査察等により実施率が100%を超えることがあります。

## 事務処理状況

令和4年度中の許可申請等の件数は18件、検査申請の件数は12件、届出・報告の件数は245件でした。

許可申請等の内容としては、製造施設の変更許可や、容器検査所の登録又は更新申請などです。検査申請の内容としては、製造施設の完成検査や保安検査の申請となっています。

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	内 容
許可申請等	18	11	13	17	18	製造施設等の設置又は変更許可、容器検査所の登録又は更新など
保安検査申請	9	4	7	5	4	特定施設の保安検査
完成検査申請	6	9	8	7	8	製造施設及び貯蔵所の完成検査
届出・報告	241	250	276	232	245	製造施設等の設置又は変更の届出、保安検査や完成検査の報告など
合 計	274	274	304	261	275	

## 年度別事故発生状況

令和4年度中に高圧ガスに係る事故が3件発生しましたが、負傷者等は発生していません。

対象年度	発生件数	死者	負傷者
30年度	3	0	1（軽傷）
令和元年度	6	0	2（軽傷）
令和2年度	4	0	1（重傷）
令和3年度	7	0	2（軽傷）
令和4年度	3	0	0

# 液化石油ガスの施設

液化石油ガスは、燃料として私たちの生活に広く普及していますが、誤った取扱いが原因で漏えいや爆発、火災などに直結します。また、ひとたび災害（事故）が発生すると、人的、物的に多大な被害をもたらすことがあります。

液化石油ガスによる災害（事故）を防止し、取引を適正にし、公共の福祉を増進するため、関係事業所等に対して許認可事務の適正な執行や、査察等により液化石油ガスの販売についての規制や指導を行っているほか、民間事業者及びLPガス協会による自主的な保安活動の促進に努めています。

令和5年4月1日に液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に係る事務権限が指定都市の長（相模原市長）に移譲されました。

## 区別施設数等

（令和5年4月1日現在）

区 分	事業者数等	具体例
販売事業者	76	・液化石油ガスを冷暖房、飲食物の調理、ふろの湯沸し等に使用する一般消費者等（以下「一般消費者等」という。）に販売する事業者
保安機関	86	・一般消費者等に液化石油ガスを供給するための設備の点検、調査を行う者
貯蔵施設	0	・販売事業者が所有している充填容器等（3000kg以上）を置くための容器置場
特定供給設備	10	・一般消費者等に液化石油ガスを供給するための貯槽（貯蔵能力1000kg以上）又は容器（貯蔵能力3000kg以上）
充てん設備	9	・一般消費者等に液化石油ガスを供給するための貯槽又は容器に充填するタンクローリー
設備工事業者	175	・一般消費者等に液化石油ガスを供給するための設備について設置又は変更の工事を行う者
合 計	356	

# 消防通信



# ◇消防通信◇

消防通信とは、火災、救急などの災害の受付、消防署所への指令、医療機関、防災関係機関等との連絡調整、気象観測、各種情報収集等の業務です。この消防通信で、最も重要な中枢的役割を果たしているのが通信指令室です。

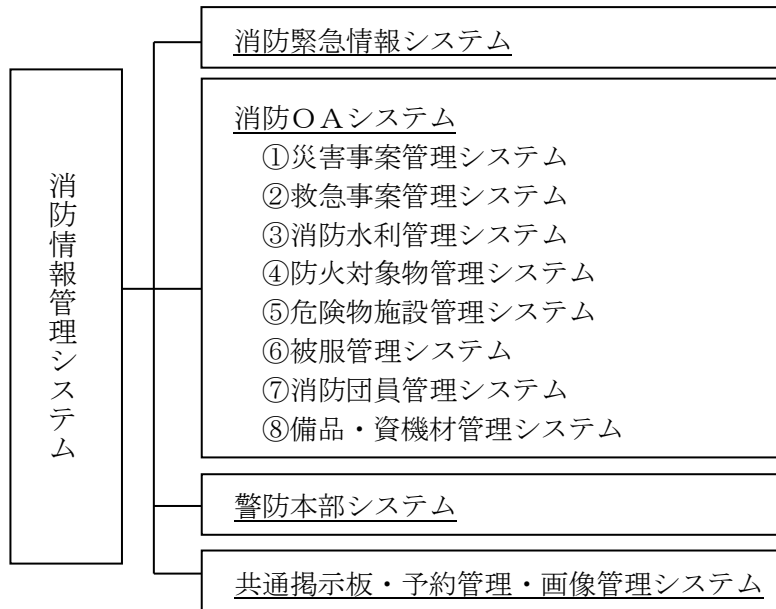
通信指令室では、これらの業務を効率的に行うため、各種の機能を持ったコンピュータ及び通信施設を集中管理しています。

## ☆消防情報管理システム☆

### 《消防情報管理システムの概要》

災害時の消防体制の強化、事務効率の向上等を図るため、平成19年に稼働開始しました。その後、計画的に部分更新を行い、令和3年3月1日、4画面構成の指令台を含む最新の技術を駆使したシステムに更新しました。

消防情報管理システムは、4つのシステムから構成されており、システムごとにサーバを設け、全庁WANを効率的に活用したWEBサーバシステムとなっています。



### 《消防緊急情報システム》

#### 1 災害通報受付

119番通報受付時に通報者から聴取した住所を入力することで、周辺地図が表示され、災害点を迅速に把握することができます。また、固定電話（IP電話を含む）やGPS機能のついた携帯電話からの通報は、119番通報と同時に発信地情報照会センターに照会をかけることにより、瞬時に通報があった場所を特定することができます。

#### 2 出場指令・部隊選別

119番通報を受信する指令台は、通報者と会話途中でも、災害点と災害種別が判明した時点で、合成された音声により出場指令を行うことができます。また、車両動態位置管理システムにより、各車両の現在位置をGPSで把握し、携帯電話回線や無線を介して、各車両の位置情報を通信指令室が常に把握しています。このため、出場車両選別時には車両動態及び位置情報をもとに、災害点に近い部隊を災害の種別及び規模により自動選別して、出場指令を行います。

#### 3 順次連絡、Eメール配信

出場指令を行うと同時に、消防団への順次連絡（携帯電話等へ合成された音声にて指令情報を送るシステム）やEメール配信（携帯電話等のEメールに文字で指令情報を送信するシステム）を行います。

#### 4 現場支援情報

出場各部隊の車両運用端末装置に災害点情報等を送信することにより、迅速な災害点把握と効率的な部隊活動が可能となります。また、車両運用端末装置のカーナビゲーション機能により、災害現場への迅速な到達ができます。火災等が発生した場合、支援情報として対象物情報などを文字情報により災害出場車両に送信し、消防活動を支援します。さらに、令和2年度に行われたシステム更新により、受付補助ディスプレイに入力した手書きメモを他の指令台や出動車両と共有することができるようになりました。



#### 5 映像伝送システム

スマートフォン等で撮影した災害現場の映像を携帯電話回線を介すことにより、通信指令室の大型ディスプレイに表示することができます。

#### 6 大規模災害モード

通常7席で運用する通信指令室の指令台のうち、5席の指令台は大規模災害時に2倍の10席で運用することができます。通報が集中する状況下においても、最大12席での確かつ迅速に災害事案を処理できる受付体制を確立しています。



【通常災害時】  
1人で4画面を使用



【大規模災害時】  
2人で2画面ずつ使用

#### 7 様々な通報システム

音声による119番通報が困難な方が、携帯電話やパソコンのEメールを利用して119番通報をする『メール119』や、スマートフォン等の携帯端末を利用し、画面をタップしていく簡単な操作で「火事」や「救急」といった情報や通報場所を伝えることができる『NET119』があります。また、FAXを利用する『FAX119』にも対応しています。指令台で一般の通報と同様に、迅速に出場指令を行うことができます。

#### 8 気象情報収集

消防指令センター及び津久井消防署で観測している気温・風向・風速などの気象情報や市内19箇所計測している雨量情報を自動集計処理し、災害活動の支援情報として活用しています。



## 《消防OAシステム》

### 1 災害事案管理システム

報告書の基礎情報を消防緊急情報システムの指令情報と共有化することにより、端末への入力作業の迅速化・効率化を図っています。また、火災、救助統計等に係る各種統計事務の効率化を図っています。

### 2 救急事案管理システム

災害事案管理システムと同様に救急事案を管理します。

### 3 消防水利管理システム

水利情報を署所から入力、修正することができます。これにより、署所で全ての水利情報が閲覧可能となるなど、水利情報を一元管理しています。

### 4 防火対象物管理システム

建築同意、査察、台帳管理、統計処理等全ての防火対象物情報を一元管理しています。また、署所において入力された水道断減水、道路工事等の各種届出情報を署所で閲覧することができます。さらに、消防緊急情報システムと連携しているため、災害時には支援情報として指令台から該当情報を活動隊に迅速に送ることができます。

### 5 危険物施設管理システム

防火対象物管理システムと同様、危険物施設に係るすべての情報を一元管理しています。また、防火対象物管理システムと情報を共有しているため、効果的な管理が行えます。

### 6 被服管理システム

消防職員への貸与被服に関する履歴等の情報を管理します。

### 7 消防団員管理システム

消防団員情報、出場状況等の情報を管理します。

### 8 備品・資機材管理システム

署所の備品資機材の保有状況のほか、走行距離、給油状況等の車両運用に関する情報を管理します。

## 《警防本部システム》

1 1 9番通報の災害情報を一元管理し、警防本部体制を確立することで、風水害等の災害時の対応を円滑化するとともに、初動体制の強化を図ります。

### 1 災害通報受付

1 1 9番通報による災害情報は、警防本部システムに自動取り込みされます。また、署所に一般加入電話で通報された災害情報は、署所に配置された端末から入力し、1 1 9番通報による情報とともに一元管理しています。

### 2 指令指示

警防本部システムに取り込まれた災害点等の情報は自動で地図上に表示されます。さらに、対応状況に応じて表示の色が変化するため、部隊の選定や編成等も迅速に行うことができます。また、指令書が印刷できる機能も備えているため、災害内容の的確な把握に繋がります。

### 3 被害報告

署所に配置された端末により、対応した内容や被害状況の入力を行い、市内全域の被害状況や災害件数、部隊活動数をリアルタイムに把握することができます。

## 《共通掲示板・予約管理・画像管理システム》

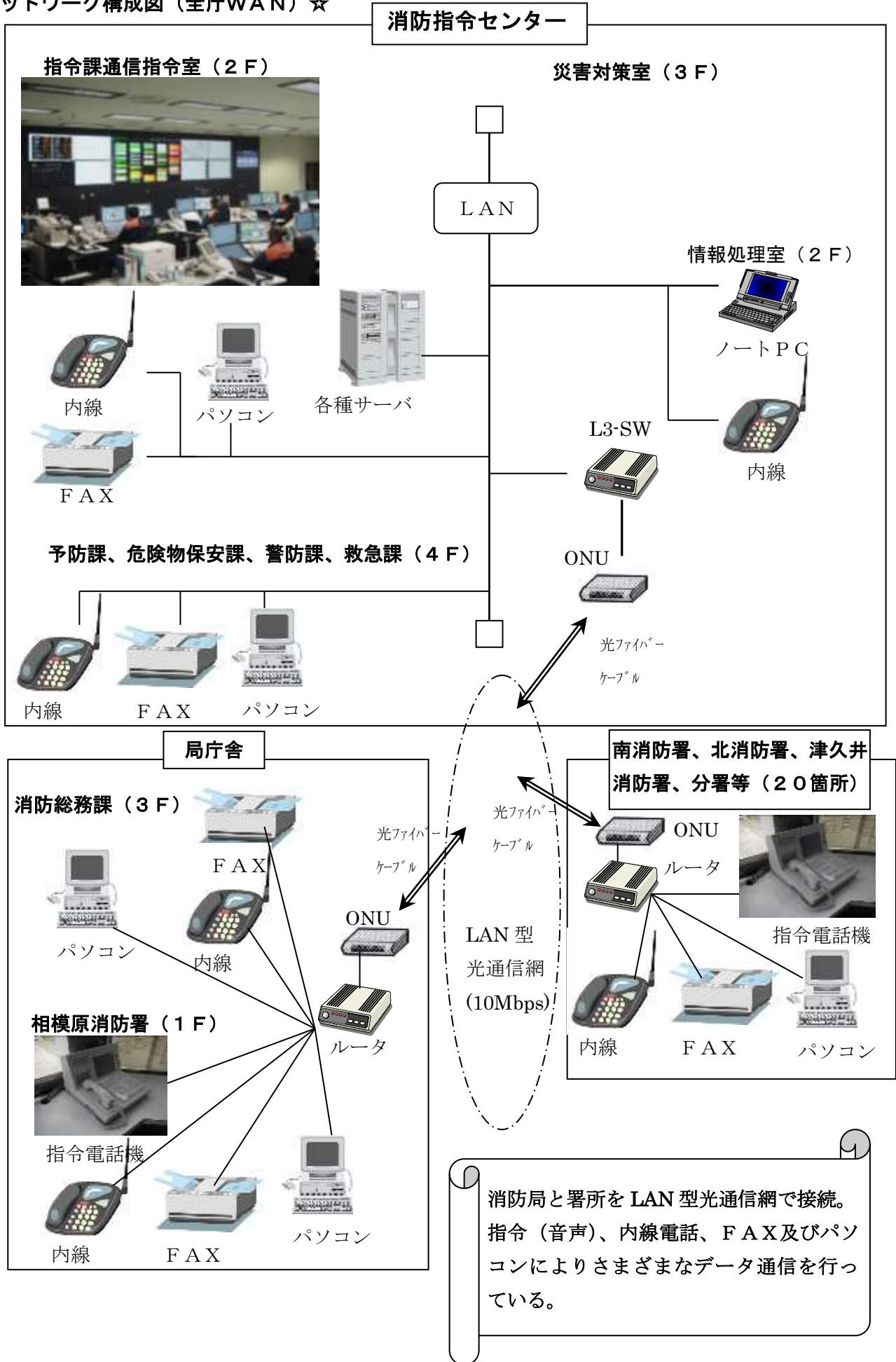
各種業務情報をネットワークを利用してファイルサーバで管理し、事務の効率化を図っています。

- 1 共通掲示板システム 研修資料、各種行事の結果等を掲示
- 2 予約管理システム 会議室、共有車両、資機材等の予約
- 3 画像管理システム 災害活動等の映像を管理

# ☆消防緊急情報システムの構成☆

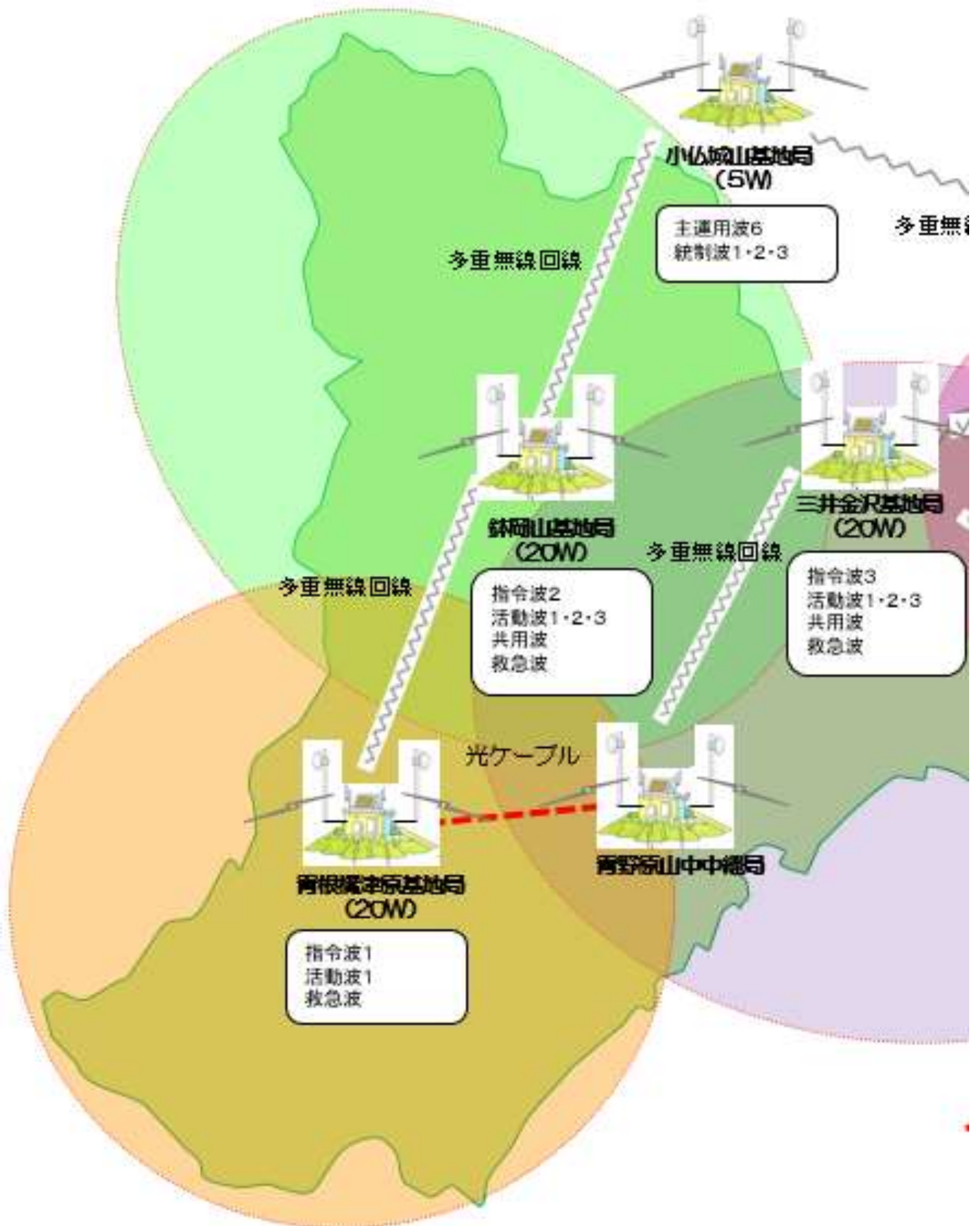


ネットワーク構成図（全庁WAN）☆



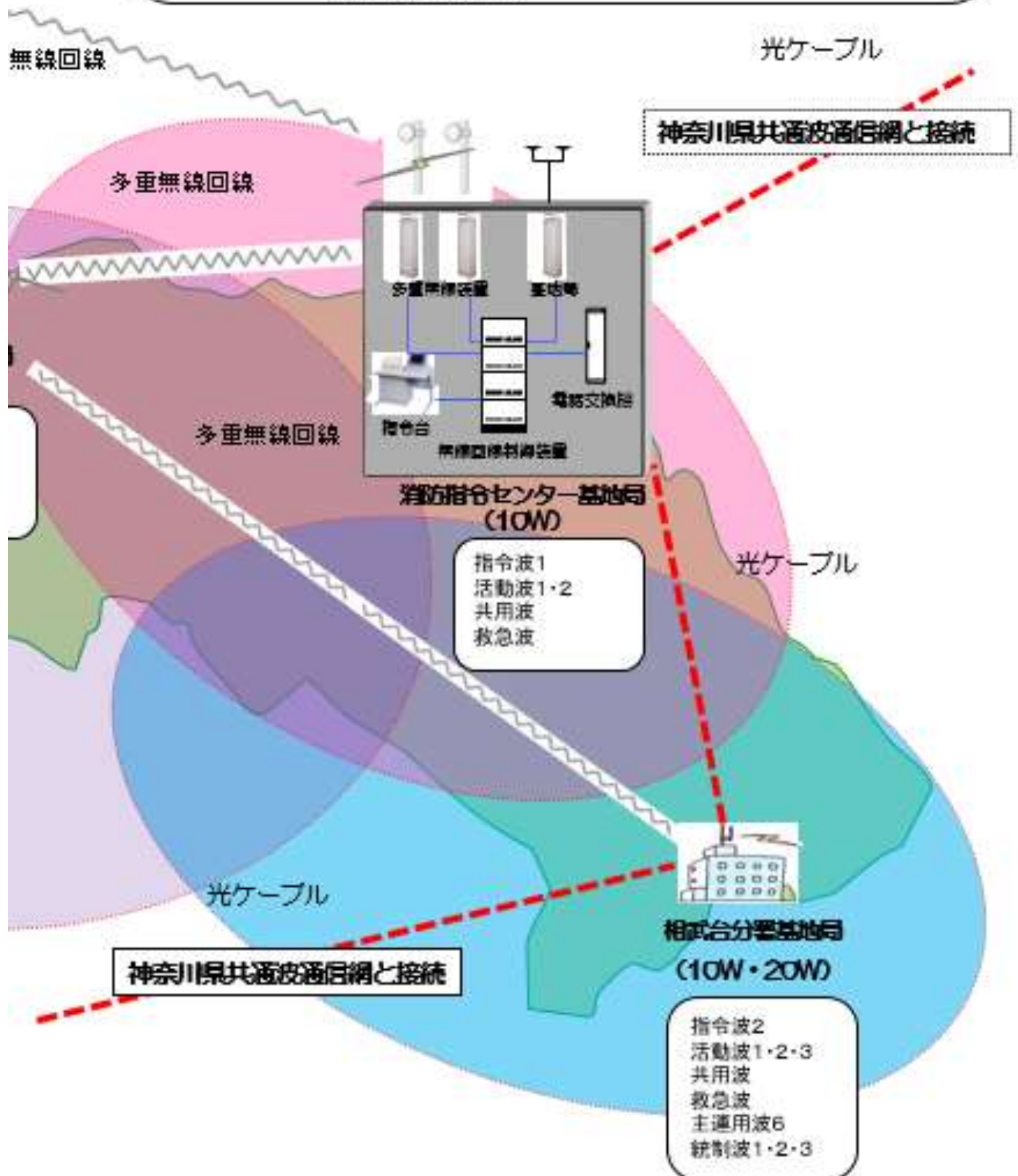
消防局と署所を LAN 型光通信網で接続。  
 指令（音声）、内線電話、FAX及びパソコンによりさまざまなデータ通信を行っている。

☆消防無線通信系統図説



## ○消防救急デジタル無線周波数について

- 指令波1・2・3 指令専用を使用する周波数名
- 活動波1・2・3 災害活動用を使用する周波数名
- 共用波 消防車と救急車の連携活動時に使用する周波数名
- 救急波 救急専用を使用する周波数名
- 主運用波6 消防機関相互の応援活動を行う際に使用する周波数名
- 統制波1・2・3 都道府県の区域を越えて消防機関相互の応援活動を行う際に使用する周波数名



## ☆通報状況☆

市民等からの火災・救急事故等の災害にかかる緊急通報の多くは119番通報ですが、その他に消防局の代表電話への通報、消防署所への駆け付け通報、関係機関からの専用電話による通報等があります。

なお、主な通報の内訳は、携帯電話からが32,569件（全体の約57%）、IP電話・ケーブル電話からが15,539件（全体の約27%）、NTT（固定）からが7,217件（全体の約13%）です。

### 通報内訳

（令和4年中）

区分	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
NTT（固定）	7,217	758	607	613	518	526	563	651	626	498	631	621	605
携帯電話	32,569	2,512	2,179	2,462	2,323	2,626	2,701	3,544	3,324	2,625	2,539	2,647	3,087
IP・ケーブル電話	15,539	1,349	1,225	1,215	1,131	1,186	1,215	1,486	1,368	1,241	1,265	1,302	1,556
代表・駆付・専用線等	1,560	143	116	138	103	111	142	151	120	127	143	123	143
合計	56,885	4,762	4,127	4,428	4,075	4,449	4,621	5,832	5,438	4,491	4,578	4,693	5,391

### 119番の通報状況

（令和4年中）

区分	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火災	379	66	23	56	25	19	23	25	19	23	18	33	49
救急	39,477	3,245	2,925	2,993	2,908	3,032	3,187	3,979	3,802	3,124	3,207	3,256	3,819
救助	482	41	30	49	34	31	45	38	50	28	46	37	53
その他の災害	854	73	59	73	62	73	84	77	72	73	80	60	68
試験	852	151	69	51	72	58	30	100	97	56	45	56	67
訓練	1,130	51	78	108	52	85	139	67	44	103	136	175	92
間違い	4,724	399	297	392	334	410	369	509	429	389	375	394	427
いたずら	224	6	22	27	7	45	28	21	15	29	6	13	5
問合せ	3,750	289	274	275	228	308	292	450	426	258	280	304	366
他市へ転送	1,779	160	132	126	133	138	141	215	200	139	114	116	165
他市から転送	1,674	138	102	140	117	139	141	200	164	142	128	126	137
合計	55,325	4,619	4,011	4,290	3,972	4,338	4,479	5,681	5,318	4,364	4,435	4,570	5,248
1日当たりの平均受信回数	152	149	143	138	132	140	149	183	172	145	143	152	169

### 119番以外の通報状況

（令和4年中）

区分	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火災	90	14	9	11	7	4	7	6	3	3	9	7	10
救急	747	65	49	70	51	56	80	79	64	54	60	53	66
救助	106	11	11	9	7	5	9	10	12	6	8	9	9
その他の災害	213	19	20	17	14	15	23	18	13	22	25	9	18
その他	404	34	27	31	24	31	23	38	28	42	41	45	40
合計	1,560	143	116	138	103	111	142	151	120	127	143	123	143

## ☆テレホンサービスの利用状況☆

市内で火災等の災害が発生した時、市民へ情報を提供するため、30回線のテレホンサービス（うち10回線は消防団専用）を実施しています。電話番号は042-757-0119です。

### テレホンサービス利用状況

（令和4年中）

区分	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
利用回数	126,475	12,399	7,976	12,031	10,685	11,724	11,563	9,495	8,940	9,665	10,984	9,742	11,271
1日当たりの平均利用回数	347	400	285	388	356	378	385	306	288	322	354	325	364

## ☆多言語通訳利用状況☆

（令和4年中）

合計	英語	中国語	韓国語	ポルトガル語	スペイン語	ベンガル語
26	22	2	1	0	0	1

# 資料・統計編





## 歴代消防長

初代	根岸家光	(就任 昭和33年 1月 1日・退任 昭和39年 3月 31日)
第2代	田所増治	(就任 昭和39年 4月 1日・退任 昭和46年 6月 30日)
第3代	青木富美夫	(就任 昭和46年 7月 1日・退任 昭和52年 7月 31日)
第4代	川崎喜代治	(就任 昭和52年 8月 1日・退任 昭和55年 6月 30日)
第5代	門倉重春	(就任 昭和55年 7月 1日・退任 昭和61年 3月 31日)
第6代	上杉靖雄	(就任 昭和61年 4月 1日・退任 平成元年 3月 31日)
第7代	齋藤弘	(就任 平成元年 4月 1日・退任 平成3年 9月 30日)
第8代	小星雅明	(就任 平成3年 10月 1日・退任 平成6年 7月 31日)
第9代	植村祥	(就任 平成6年 8月 1日・退任 平成11年 3月 31日)
第10代	井上正明	(就任 平成11年 4月 1日・退任 平成14年 3月 31日)
第11代	加山俊夫	(就任 平成14年 4月 1日・退任 平成14年 6月 30日)
第12代	倉田光政	(就任 平成14年 7月 1日・退任 平成15年 3月 31日)
第13代	金子勝	(就任 平成15年 4月 1日・退任 平成16年 3月 31日)
第14代	矢島博	(就任 平成16年 4月 1日・退任 平成18年 3月 31日)
第15代	青山孝	(就任 平成18年 4月 1日・退任 平成20年 3月 31日)
第16代	川島恒夫	(就任 平成20年 4月 1日・退任 平成22年 3月 31日)
第17代	大谷喜郎	(就任 平成22年 4月 1日・退任 平成25年 3月 31日)
第18代	岩田進一	(就任 平成25年 4月 1日・退任 平成27年 3月 31日)
第19代	兒玉員幸	(就任 平成27年 4月 1日・退任 平成29年 3月 31日)
第20代	佐藤政美	(就任 平成29年 4月 1日・退任 平成30年 3月 31日)
第21代	青木浩	(就任 平成30年 4月 1日・退任 令和3年 3月 31日)
第22代	小松幸平	(就任 令和3年 4月 1日)

## 歴代消防団長

### 相模原市（町）消防団

初代	江 成 昌 治	(就任 昭和23年 3月 7日・退任 昭和30年 3月 31日)
第2代	岡 本 定 一	(就任 昭和30年 4月 1日・退任 昭和38年 3月 31日)
第3代	細 谷 正 利	(就任 昭和38年 4月 1日・退任 昭和50年 3月 31日)
第4代	中 里 正 人	(就任 昭和50年 4月 1日・退任 昭和52年 3月 31日)
第5代	小 方 十 郎	(就任 昭和52年 4月 1日・退任 昭和60年 3月 31日)
第6代	井 上 正 之	(就任 昭和60年 4月 1日・退任 平成元年 3月 31日)
第7代	小 山 光	(就任 平成元年 4月 1日・退任 平成5年 5月 25日)
第8代	小 林 謙 治	(就任 平成5年 6月 14日・退任 平成14年 3月 31日)
第9代	田 中 勝	(就任 平成14年 4月 1日・退任 平成18年 3月 19日)

### 相模原市消防団（複数団体制）

相模原消防団長	田 中 勝	(就任 平成18年 3月 20日・退任 平成18年 3月 31日)
	関 根 成 興	(就任 平成18年 4月 1日・退任 平成24年 3月 31日)
城山消防団長	北 島 彰	(就任 平成19年 3月 11日・退任 平成24年 3月 31日)
津久井消防団長	久 米 建 一	(就任 平成18年 3月 20日・退任 平成18年 3月 31日)
	伊 藤 礼 治	(就任 平成18年 4月 1日・退任 平成20年 3月 31日)
	菱 山 喜 章	(就任 平成20年 4月 1日・退任 平成22年 3月 31日)
	下 島 元 信	(就任 平成22年 4月 1日・退任 平成24年 3月 31日)
相模湖消防団長	小 川 喜 平	(就任 平成18年 3月 20日・退任 平成20年 3月 31日)
	佐 々 木 祐 司	(就任 平成20年 4月 1日・退任 平成22年 3月 31日)
	小 俣 哲 夫	(就任 平成22年 4月 1日・退任 平成24年 3月 31日)
藤野消防団長	高 崎 久 幸	(就任 平成19年 3月 11日・退任 平成20年 3月 31日)
	清 水 映 彦	(就任 平成20年 4月 1日・退任 平成24年 3月 31日)

## 相模原市消防団（6方面隊体制）

初代	関根成興	(就任 平成24年 4月 1日・退任 平成26年 3月31日)
第2代	清水映彦	(就任 平成26年 4月 1日・退任 令和 2年 3月31日)
第3代	原和彦	(就任 令和 2年 4月 1日)

## 年度別一般会計と消防費の比較

年度別	当初予算 (千円)			決算額 (千円)		
	一般会計	消防費	構成比 (%)	一般会計	消防費	構成比 (%)
昭和 48 年度	15,851,000	508,111	3.2	20,783,111	593,654	2.9
昭和 49 年度	22,336,000	690,871	3.1	29,277,976	925,545	3.2
昭和 50 年度	26,100,000	881,001	3.4	32,359,351	932,267	2.9
昭和 51 年度	29,300,000	1,013,140	3.5	35,847,259	1,276,887	3.6
昭和 52 年度	34,165,000	1,215,891	3.6	42,845,813	1,312,510	3.1
昭和 53 年度	40,060,000	1,493,088	3.7	48,522,246	1,591,655	3.3
昭和 54 年度	47,650,000	1,780,424	3.7	56,757,793	1,887,559	3.3
昭和 55 年度	55,120,000	2,134,607	3.9	60,407,500	2,335,469	3.4
昭和 56 年度	63,300,000	2,616,293	4.1	69,756,932	2,667,168	3.8
昭和 57 年度	69,190,000	2,999,940	4.3	72,388,545	2,860,325	4.0
昭和 58 年度	73,150,000	2,573,898	3.5	74,773,062	2,795,837	3.7
昭和 59 年度	76,840,000	3,061,120	4.0	83,395,485	3,147,074	3.8
昭和 60 年度	79,310,000	3,705,366	4.7	87,963,409	3,814,102	4.3
昭和 61 年度	85,480,000	3,507,565	4.1	89,608,939	3,414,237	3.8
昭和 62 年度	88,250,000	3,725,019	4.2	96,727,282	3,740,008	3.9
昭和 63 年度	93,890,000	3,904,815	4.8	104,464,182	4,033,040	3.9
平成 元年度	111,650,000	5,755,304	5.2	120,741,944	5,882,567	4.9
平成 2 年度	120,350,000	5,385,086	4.5	126,386,286	5,439,021	4.3
平成 3 年度	125,700,000	6,697,900	5.3	139,287,630	6,803,996	4.9
平成 4 年度	137,700,000	5,113,170	3.7	143,930,702	5,174,590	3.6
平成 5 年度	142,550,000	6,750,716	4.7	150,071,231	6,749,315	4.5
平成 6 年度	149,670,000	6,476,593	4.3	156,198,116	6,428,459	4.1
平成 7 年度	153,900,000	6,580,081	4.3	159,457,448	6,504,076	4.1
平成 8 年度	158,800,000	6,882,670	4.3	161,032,738	6,797,080	4.2
平成 9 年度	160,300,000	6,408,898	4.0	161,392,445	6,464,021	4.0
平成 10 年度	162,300,000	7,067,474	4.3	162,882,765	6,967,294	4.3
平成 11 年度	160,100,000	6,909,117	4.3	167,977,120	6,901,338	4.1
平成 12 年度	158,400,000	7,032,107	4.4	163,811,406	6,837,891	4.2
平成 13 年度	166,100,000	7,836,369	4.7	171,922,149	7,923,602	4.6
平成 14 年度	164,200,000	6,882,467	4.2	170,106,550	6,534,967	3.8
平成 15 年度	162,000,000	6,627,085	4.1	162,415,255	6,316,076	3.9
平成 16 年度	178,000,000	6,557,104	3.7	177,114,420	6,315,473	3.9
平成 17 年度	164,700,000	6,716,292	4.1	164,051,067	6,959,205	4.2
平成 18 年度	180,600,000	7,923,702	4.4	182,136,898	7,798,805	4.3
平成 19 年度	197,000,000	7,787,797	3.9	197,320,349	7,673,054	3.9
平成 20 年度	203,200,000	7,978,023	3.9	199,075,974	7,768,611	3.9

平成 21 年度	207,400,000	7,771,389	3.7	220,526,260	7,411,876	3.4
平成 22 年度	234,000,000	7,641,103	3.3	226,531,272	7,294,417	3.2
平成 23 年度	233,800,000	7,839,830	3.3	247,335,272	7,508,165	3.0
平成 24 年度	248,300,000	7,899,645	3.2	249,377,182	7,472,421	3.0
平成 25 年度	244,500,000	7,880,390	3.2	245,557,181	7,219,332	2.9
平成 26 年度	257,600,000	8,244,161	3.2	251,350,384	8,511,930	3.4
平成 27 年度	255,500,000	7,418,792	2.9	250,571,816	7,188,463	2.9
平成 28 年度	257,700,000	7,623,665	3.0	249,012,953	7,459,770	3.0
平成 29 年度	289,300,000	7,656,528	2.7	281,325,045	7,688,644	2.7
平成 30 年度	293,500,000	7,613,200	2.6	286,243,286	7,528,754	2.6
令和元年度	302,400,000	7,906,867	2.6	295,636,583	7,891,111	2.7
令和 2 年度	307,200,000	8,267,794	2.7	379,586,252	7,943,126	2.1
令和 3 年度	298,900,000	8,855,246	3.0	317,047,617	8,376,933	2.6
令和 4 年度	311,200,000	9,104,334	2.9			
令和 5 年度	328,600,000	10,196,526	3.1			

## 消防情勢の推移

年度別	消防職員数	市勢			消防費決算 (千円)	一般会計 に対する 比率(%)	車両数		
		人口	世帯数	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )			消防車	救急車	その他の 車両
昭和33年度	25	88,874	18,763	979	28,524	5.7	1	-	1
昭和49年度	215	355,198	101,661	3,913	925,545	3.2	15	5	13
昭和50年度	239	369,036	105,730	4,066	932,267	2.9	18	5	13
昭和51年度	267	381,616	113,858	4,204	1,276,887	3.6	21	5	18
昭和52年度	300	395,444	118,399	4,357	1,312,510	3.1	21	5	26
昭和53年度	346	408,423	122,639	4,500	1,591,655	3.3	20	5	34
昭和54年度	381	419,902	126,707	4,626	1,887,559	3.3	20	6	40
昭和55年度	399	432,668	130,966	4,767	2,335,469	3.4	26	7	32
昭和56年度	421	442,969	140,383	4,880	2,667,168	3.8	22	8	53
昭和57年度	435	452,495	144,320	4,985	2,860,325	4.0	26	8	48
昭和58年度	449	461,799	148,236	5,088	2,795,837	3.7	27	8	48
昭和59年度	446	469,523	151,669	5,173	3,147,074	3.8	30	8	47
昭和60年度	451	476,147	154,985	5,246	3,814,102	4.3	30	8	47
昭和61年度	451	485,410	157,618	5,348	3,414,237	3.8	30	8	47
昭和62年度	451	493,613	162,322	5,438	3,740,008	3.9	30	8	48
昭和63年度	460	503,540	167,784	5,547	4,033,040	3.9	31	8	48
平成元年度	472	513,139	174,094	5,653	5,882,567	4.9	31	9	48
平成2年度	478	522,797	180,273	5,760	5,439,021	4.3	32	9	53
平成3年度	489	533,641	188,930	5,879	6,803,996	4.9	34	9	55
平成4年度	498	544,660	196,036	6,000	5,174,590	3.6	34	9	55
平成5年度	503	553,870	202,172	6,102	6,749,315	4.5	34	9	55
平成6年度	515	561,114	206,831	6,182	6,428,459	4.1	32	10	55
平成7年度	523	569,047	211,247	6,269	6,504,076	4.1	30	10	54
平成8年度	535	573,133	213,596	6,314	6,797,080	4.2	30	12	55
平成9年度	549	581,159	218,809	6,403	6,464,021	4.0	30	14	55
平成10年度	566	587,821	223,386	6,476	6,967,294	4.3	30	14	55
平成11年度	566	593,285	228,216	6,536	6,901,338	4.1	30	14	55
平成12年度	582	597,399	232,296	6,608	6,837,891	4.2	30	14	59
平成13年度	589	606,891	239,257	6,713	7,923,602	4.6	31	14	60
平成14年度	589	611,318	243,682	6,762	6,534,967	4.0	32	14	60
平成15年度	601	616,355	248,383	6,817	6,316,076	3.9	32	14	60
平成16年度	594	620,599	252,039	6,864	6,315,473	3.6	32	14	60
平成17年度	597	623,642	255,476	6,898	6,959,205	4.2	32	14	60
平成18年度 (城山・藤野含)	714	667,193 (701,055)	272,680 (284,340)	2,734 (2,132)	7,798,805	4.1	41	20	78
平成19年度	716	703,178	288,256	2,138	7,673,054	3.9	41	20	74
平成20年度	726	706,295	292,551	2,148	7,768,611	3.9	41	20	77
平成21年度	709	710,336	296,789	2,160	7,411,876	3.4	42	20	76
平成22年度	717	712,604	299,634	2,167	7,294,417	3.2	41	20	77
平成23年度	721	717,701	304,014	2,183	7,508,165	3.0	41	20	78
平成24年度	725	718,695	307,300	2,186	7,472,420	3.0	41	21	77
平成25年度	733	718,602	309,946	2,185	7,219,332	2.9	41	21	81
平成26年度	747	721,178	314,209	2,193	8,511,930	3.4	40	21	81
平成27年度	746	722,534	317,785	2,197	7,188,463	2.9	40	21	82
平成28年度	759	721,212	313,365	2,193	7,459,771	3.0	39	21	83
平成29年度	758	720,986	316,648	2,192	7,688,644	2.7	38	22	84
平成30年度	763	722,334	321,067	2,196	7,528,754	2.6	38	23	87
令和元年度	778	721,910	325,018	2,195	7,891,111	2.7	37	24	88
令和2年度	788	722,252	329,168	2,196	7,943,126	2.1	38	25	88
令和3年度	780	724,941	334,505	2,204	8,376,933	2.6	38	25	96
令和4年度	780	725,369	339,028	2,205			38	25	85
令和5年度	766	724,724	342,866	2,203			38	25	85

\* 消防職団員数、市勢、車両数は、当該年度の4月1日現在。火災、救急は年中。

件数	出火率 (人口1 万人当り の出火件 数)	火 災						救 急		消 防 団 員 数
		損害額 (千円)	建物焼損 面積(m <sup>2</sup> )	り災人員	り災世帯	死者	負傷者	出場件数	搬送人員	
77	8.8	41,608	2,694	-	65	3	21	-	-	-
170	4.8	229,427	3,787	479	147	9	11	6,039	6,293	720
165	4.5	282,144	3,403	403	129	1	18	6,270	6,268	720
181	4.7	325,855	9,507	479	144	3	33	6,456	6,302	720
177	4.5	748,759	7,972	390	132	3	31	6,919	6,641	708
177	4.3	192,925	2,029	390	114	5	24	6,738	6,467	708
218	5.2	461,469	4,492	532	179	5	40	7,165	6,850	714
181	4.2	488,390	12,001	567	194	6	39	7,816	7,496	720
208	4.7	279,734	5,603	456	137	9	46	7,828	7,541	720
184	4.1	490,659	5,674	320	105	5	29	7,985	7,679	720
161	3.5	430,385	3,538	353	108	4	25	8,688	8,226	720
205	4.4	411,657	3,952	481	151	8	23	8,750	8,573	720
204	4.3	326,055	3,003	496	156	7	34	9,341	9,146	720
222	4.6	313,410	3,093	359	105	9	21	9,528	9,296	720
230	4.7	531,822	4,873	501	154	6	40	10,094	9,834	720
268	5.3	523,562	4,373	533	177	16	45	10,784	10,564	719
255	5.0	379,126	3,045	503	155	13	43	11,516	11,366	720
233	4.5	455,483	2,660	379	116	5	31	12,247	12,009	719
240	4.5	723,548	4,848	433	157	5	36	12,648	12,461	717
244	4.5	545,781	4,135	364	140	7	22	12,844	12,763	718
290	5.2	1,220,700	4,374	448	169	6	45	13,276	13,108	717
252	4.5	268,582	2,814	338	129	8	29	13,948	13,751	718
233	4.1	356,310	2,552	308	104	5	23	14,802	14,623	716
256	4.5	675,958	4,431	335	121	9	45	15,535	15,364	710
297	5.1	591,334	3,876	243	88	2	41	16,940	16,617	710
224	3.8	492,973	3,230	337	118	8	38	17,820	17,424	721
245	4.1	1,747,496	7,869	374	130	5	51	19,477	19,048	722
262	4.4	307,485	2,861	390	143	7	51	20,620	20,049	723
288	4.7	345,609	2,838	344	145	9	59	21,967	21,259	719
272	4.4	239,897	2,823	320	126	7	38	22,627	21,894	738
253	4.1	300,463	2,982	357	145	5	57	24,294	23,313	708
234	3.8	144,875	2,156	214	90	6	30	24,820	23,524	692
211	3.4	119,041	1,491	297	119	6	43	26,454	24,631	693
241	3.4	167,492	3,456	303	113	9	56	29,461	27,591	1,199
274	3.9	641,667	4,174	402	161	8	37	29,922	27,841	1,613
199	2.8	166,061	2,818	251	107	4	34	28,486	26,222	1,586
250	3.5	580,364	4,770	263	112	14	43	28,755	26,364	1,575
249	3.5	242,159	2,450	292	115	6	42	30,630	28,180	1,558
231	3.2	223,897	2,540	250	110	14	42	32,245	29,517	1,563
187	2.6	191,347	3,413	208	95	8	39	32,218	29,390	1,535
177	2.5	126,010	1,104	184	90	6	32	33,688	30,393	1,525
203	2.8	134,952	2,175	254	111	3	37	34,169	30,785	1,541
163	2.3	294,288	2,552	243	107	6	24	33,688	30,108	1,557
149	2.1	369,888	3,672	146	69	6	23	35,057	31,594	1,526
144	2.0	400,673	2,274	170	77	10	24	35,873	32,004	1,516
142	2.0	262,991	2,661	204	99	9	37	37,498	33,157	1,505
141	2.0	255,125	2,160	296	80	5	27	37,509	33,170	1,489
152	2.1	88,228	1,115	133	62	2	35	33,261	29,068	1,383
131	1.8	228,366	1,791	191	94	4	19	35,847	31,029	1,379
166	2.3	142,221	2,586	216	107	3	35	42,060.0	34,826.0	1,348
										1,314

# ☆消防吏員の年齢☆

(令和5.4.1)

年齢別	計	消防司監	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合計	762	1	2	8	64	106	179	179	147	76
18歳	-									
19歳	2									2
20歳	5									5
21歳	6									6
22歳	12									12
23歳	19									19
24歳	20									20
25歳	34								28	6
26歳	29								26	3
27歳	17								16	1
28歳	24								24	
29歳	32								32	
30歳	30							16	14	
31歳	33							29	4	
32歳	23							20	3	
33歳	22							22		
34歳	22							22		
35歳	27						6	21		
36歳	15						5	10		
37歳	14						11	3		
38歳	22						19	3		
39歳	19						19			
40歳	17						16	1		
41歳	12						12			
42歳	17					2	14	1		
43歳	14					4	10			
44歳	14					7	7			
45歳	21					8	13			
46歳	15					12	3			
47歳	26				3	14	9			
48歳	20				4	6	10			
49歳	31				6	16	9			
50歳	18				6	7	5			
51歳	16				8	6	2			
52歳	13				6	6	1			
53歳	15			1	8	4	2			
54歳	6					5	1			
55歳	16		1	2	8	5				
56歳	6			2	2	2				
57歳	4				3		1			
58歳	6		1	2	2		1			
59歳	12	1		1	5	2	3			
60歳以上	36				3			31		2



## ☆消防吏員の在職年数☆

(令和5.4.1)

在職年数	計	消防司監	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合計	762	1	2	8	64	106	179	179	147	76
1年未満	16									16
1年以上	23									23
2年以上	19								1	18
3年以上	37								33	4
4年以上	30								26	4
5年以上	20								17	3
6年以上	25								20	5
7年以上	33							2	30	1
8年以上	28							19	9	
9年以上	39							32	7	
10年以上	25							23	2	
11年以上	18							17	1	
12年以上	26						2	23	1	
13年以上	22						11	11		
14年以上	10						4	6		
15年以上	22						15	7		
16年以上	18						16	2		
17年以上	17						14	3		
18年以上	13					1	11	1		
19年以上	11						10	1		
20年以上	21					7	13	1		
21年以上	13					2	11			
22年以上	11					5	6			
23年以上	20					11	9			
24年以上	9				1	3	5			
25年以上	24				5	10	9			
26年以上	20				3	8	9			
27年以上	21				7	8	6			
28年以上	13				5	5	3			
29年以上	16				4	7	5			
30年以上	11				2	4	5			
31年以上	14			1	2	6	5			
32年以上	18			1	6	8	3			
33年以上	16	1		2	4	6	3			
34年以上	14				9	5				
35年以上	3					3				
36年以上	2					2				
37年以上	5		1		2	2				
38年以上	5			1	3	1				
39年以上	1				1					
40年以上	10		1	2	2	1	2	2		
41年以上	43			1	8	1	2	29		2

消防団員の階級別勤務年数

(令和5.4.1)

階級 分類	計	団	副	分	副	部	副	班	団
		長	団	団	分	長	部	長	員
定員(人)	1,710	1	18	34	68	122	115	352	1000
実員(人)	1,314	1	18	34	68	122	114	341	616

勤 務 年 数  ( 人 )	2年未満	3							3	
		17					1	1	4	11
		17						1	5	11
		30							3	27
		18								18
		5								5
		3								3
	2年以上5年未満	1								1
		37					4	3	11	19
		24				1		5	8	10
		27					1	1	12	13
		24						1	1	22
		13								13
		16							1	15
5年以上10年未満	2					1			1	
	61				2	9	10	17	23	
	44				1	8	6	16	13	
	52					10	8	13	21	
	63					3	7	11	42	
	20							10	10	
	34						1	15	18	
10年以上15年未満	4				1				3	
	42			2	2	5	7	13	13	
	34			1	1	6	5	11	10	
	42				1	7	6	11	17	
	70			1	2	4	8	19	36	
	21					2		9	10	
	29					1	2	22	4	

階 級		計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	副 部 長	班 長	団 員	
											分 類
勤 務 年 数	15年以上20年未満	4				1	1			2	
		27				2	4	2	10	9	
		28					3	3	2	7	13
		44			1	4	4	6	12	17	
		68		1	3	3	10	7	16	28	
		20					1	5		9	5
		29					2	3	9	13	2
人 数	20年以上25年未満	4			1		1			2	
		20		1	1	1	1	1	8	7	
		16		2	2		2		5	5	
		44			2	5	2	2	10	23	
		34			2	9	6	2	4	11	
		14			1	5			1	7	
		34		1	2	8	8	8	5	2	
人 数	25年以上30年未満	3								3	
		10		1	1	1			3	4	
		11		1			1	1	3	5	
		22		2	2	1		1	7	9	
		18		1	2	2	1		2	10	
		24		1	3	2	5		2	11	
		23		1	3	4	2	1	4	8	
人 数	30年以上	2	1							1	
		12		1					4	7	
		7			1	2			1	3	
		15		1	1	1			2	10	
		12		1						11	
		12		2					1	9	
		4		1	2		1				
勤 務 年 数 平 均 ( 年 )		15.7	35.0		21.0	16.0	13.6			14.5	
		11.4		27.3	18.0	15.6	9.2	8.6	12.5	10.7	
		11.6		24.0	22.2	16.3	12.2	9.2	10.4	11.4	
		13.5		31.3	23.8	21.0	11.4	12.1	13.5	12.7	
		13.5		24.0	20.5	19.8	16.6	12.7	13.7	12.1	
		16.5		31.0	25.2	22.3	20.9		14.2	15.0	
		15.2		27.0	27.0	23.0	22.0	18.3	13.4	9.9	

勤務年数各分類は上段から団本部、中央方面隊、南方面隊、北方面隊、津久井方面隊、相模湖方面隊、藤野方面隊

相模原市消防団 勤務年数平均(年)	13.4	35.0	27.4	22.8	19.8	15.1	12.2	12.9	12.2
----------------------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

# 消防団員の階級別年齢

	団 長						副団長						分団長						副分団長									
	団本部	中央	南	北	津久井	相模湖	藤野	団本部	中央	南	北	津久井	相模湖	藤野	団本部	中央	南	北	津久井	相模湖	藤野	団本部	中央	南	北	津久井	相模湖	藤野
18歳																												
19歳																												
20歳																												
21歳																												
22歳																												
23歳																												
24歳																												
25歳																												
26歳																												
27歳																												
28歳																												
29歳																												
30歳																												
31歳																												
32歳																												
33歳																												
34歳																												
35歳																												
36歳																												
37歳																												
38歳																												
39歳																												
40歳																												
41歳																												
42歳																												
43歳																												
44歳																												
45歳																												
46歳																												
47歳																												
48歳																												
49歳																												
50歳																												
51歳																												
52歳																												
53歳																												
54歳																												
55歳																												
56歳																												
57歳																												
58歳																												
59歳																												
60歳																												
61歳																												
62歳																												
63歳																												
64歳																												
65歳以上																												
合計(人)	1	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	3	3	3	1	4	4	6	8	4	7	2	8	8	12	16	8	14
平均年齢	62.0	-	-	-	-	-	-	56.3	49.3	57.0	56.0	57.0	57.0	57.0	46.3	51.3	50.5	51.3	50.3	53.3	60.0	47.9	48.4	48.9	51.5	50.3	50.6	

< 方面隊等別平均年齢 > 団本部 49.6歳 中央方面隊 42.2歳 南方方面隊 44.7歳

	部長						副部長						班長						団員						合計				
	団本部	中央	南	北	津久井	相模湖	藤野	団本部	中央	南	北	津久井	相模湖	藤野	団本部	中央	南	北	津久井	相模湖	藤野	団本部	中央	南		北	津久井	相模湖	藤野
18歳																													2
19歳																													10
20歳		1																											8
21歳		1																											12
22歳																													4
23歳																													2
24歳																													11
25歳																													9
26歳																													8
27歳																													15
28歳																													8
29歳																													13
30歳																													12
31歳																													22
32歳																													31
33歳																													28
34歳																													19
35歳																													33
36歳																													36
37歳																													28
38歳																													55
39歳																													41
40歳																													39
41歳																													37
42歳																													56
43歳																													46
44歳																													59
45歳																													50
46歳																													62
47歳																													61
48歳																													73
49歳																													48
50歳																													53
51歳																													51
52歳																													46
53歳																													35
54歳																													29
55歳																													35
56歳																													26
57歳																													18
58歳																													17
59歳																													19
60歳																													15
61歳																													4
62歳																													5
63歳																													4
64歳																													5
65歳以上																													14
合計(人)	3	24	20	24	24	12	15	0	24	20	24	25	0	21	0	70	56	70	53	32	60	16	93	70	137	178	70	52	1,314
平均年齢	49.3	40.9	41.5	42.0	46.4	49.4	50.1	-	37.9	44.1	41.0	43.8	-	47.3	-	43.2	43.8	43.2	42.1	44.2	45.5	50.9	41.5	45.5	41.2	41.4	45.2	42.2	43.9

< 方面隊等別平均年齢 > 北方方面隊 42.5歳 津久井方面隊 43.0歳 相模湖方面隊 46.1歳 藤野方面隊 46.1歳

### 令和4年度退職消防団員の階級別勤務年数

階級 勤務年数	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	副 部 長	班 長	団 員	計 (人)
2年未満						1		16	17
2年以上5年未満						1	2	11	14
5年以上10年未満					1		4	16	21
10年以上15年未満							3	11	14
15年以上20年未満					1		2	9	12
20年以上25年未満						1	2	7	10
25年以上30年未満							2	1	3
30年以上								1	1
合 計 ( 人 )	0	0	0	0	2	2	15	72	92

退職時の階級

### 令和4年度退職報償金の階級・勤務年数別支払状況

階級	勤務年数	5年以上	10年以上	15年以上	20年以上	25年以上	30年以上	計
		10年未満	15年未満	20年未満	25年未満	30年未満	30年以上	
団 長	報 償 金	239	344	459	594	779	979	
	人 員							0
	計	0	0	0	0	0	0	0
副 団 長	報 償 金	229	329	429	534	709	909	
	人 員							0
	計	0	0	0	0	0	0	0
分 団 長	報 償 金	219	318	413	513	659	849	
	人 員							0
	計	0	0	0	0	0	0	0
副分団長	報 償 金	214	303	388	478	624	809	
	人 員				1			1
	計	0	0	0	478	0	0	478
部 長 副 部 長 及 び 班 長	報 償 金	204	283	358	438	564	734	
	人 員	8	7	10	9	3	1	38
	計	1,632	1,981	3,580	3,942	1,692	734	13,561
団 員	報 償 金	200	264	334	409	519	689	
	人 員	12	2	1				15
	計	2,400	528	334	0	0	0	3,262
合 計	人 員	20	9	11	10	3	1	54
	計	4,032	2,509	3,914	4,420	1,692	734	17,301

単位：金額は「千円」、人員は「人」。

退職報償金の額は、最も上位の経験階級（1年以上）により算定される。

## 消防相互応援協定

本市が締結している主な消防相互応援協定は次のとおりです。

(令和5.4.1)

	常備・非常備	協定名	協定先
1	常備	東京消防庁と相模原市との消防相互応援協定	東京消防庁
2		中央高速道路富士吉田線消防相互応援協定	中央自動車道が通過する東京消防庁及び7市町等
3		相模原市と上野原市との消防相互応援協定	上野原市
4		相模原市と都留市との消防相互応援協定	都留市
5		神奈川県下消防相互応援協定	神奈川県下22消防本部
6	非常備	町田市と相模原市との消防相互応援協定	町田市
7		八王子市と相模原市との消防相互応援協定	八王子市
8		相模原市と上野原市との消防相互応援協定	上野原市
9		相模原市と清川村との消防相互応援協定	清川村
10		相模原市と道志村との消防相互応援協定	道志村

## 火災相互応援状況

(令和4年中)

相模原市から応援										
市町村別	出動件数	出動隊数	出動人員	放水隊数	消防署			消防団		
					隊数	人員	放水量	隊数	人員	放水量
厚木市										
大和市	4	4	12		4	12				
座間市	2	3	10		2	8	1	2		
愛川町	1	1	3		1	3				
清川村										
町田市	10	15	61		10	38	13	23		
八王子市										
上野原市										
道志村										
都留市										
合計	17	23	86	0	17	61	0	14	25	0

相模原市への応援										
市町村別	出動件数	出動隊数	出動人員	放水隊数	消防署			消防団		
					隊数	人員	放水量	隊数	人員	放水量
厚木市										
大和市	3	3	9		3	9				
座間市	6	6	25		6	25				
愛川町										
清川村										
町田市										
八王子市	2	14	48		8	19	6	29		
上野原市	1	1	4		1	4				
道志村										
都留市										
合計	12	24	86	0	18	57	0	6	29	0

## 航空機特別応援状況

(令和4年中)

相模原市への応援				
消防機関名	出動件数	出動隊数		出動人員
		航空隊	地上支援隊	
横浜市消防局	0	0	0	0
川崎市消防局	1	1	0	5
合計	1	1	0	5

# 消防水利状況

## 消火栓

(令和5.4.1)

区 分	消火栓合計	公 設														私 設
		計	口径 50 ミ	口径 75 ミ	口径 100 ミ	口径 125 ミ	口径 150 ミ	口径 200 ミ	口径 250 ミ	口径 300 ミ	口径 350 ミ	口径 400 ミ	口径 500 ミ	口径 600 ミ	口径 800 ミ	
合 計	7,818	7,766	4	86	3,881	2	2,217	852	21	486	4	159	25	26	3	52
相模原消防署	2,691	2,680	0	3	1,306	0	801	304	12	179	1	63	3	8	0	11
南消防署	2,559	2,538	0	11	1,176	0	769	263	9	211	3	68	20	5	3	21
北消防署	1,452	1,446	0	4	782	0	387	149	0	87	0	22	2	13	0	6
津久井消防署	1,116	1,102	4	68	617	2	260	136	0	9	0	6	0	0	0	14

## 防火水槽、プール、その他の水利

(令和5.4.1)

区 分	防火水槽合計	公 設						私 設					プ ール	自 然 水 利	そ の 他 の 水 利
		計	20 m <sup>3</sup> 未 満	20 m <sup>3</sup> 級	40 m <sup>3</sup> 級	60 m <sup>3</sup> 級	100 m <sup>3</sup> 級 以 上	計	20 m <sup>3</sup> 級	40 m <sup>3</sup> 級	60 m <sup>3</sup> 級	100 m <sup>3</sup> 級 以 上			
合 計	2,467	1,509	97	383	997	10	22	958	457	431	47	23	127	189	10
相模原消防署	780	322	15	140	155	1	11	458	238	184	20	16	34	76	6
南消防署	518	249	8	97	136	2	6	269	130	122	13	4	44	33	3
北消防署	541	343	13	99	222	7	2	198	87	97	12	2	29	19	1
津久井消防署	628	595	61	47	484	0	3	33	2	28	2	1	20	61	0

その他の水利は、池等

## 消防水利合計

(令和5.4.1)

合 計	公設 消火栓	公設 防火水槽	私設 消火栓	私設 防火水槽	プ ール	自 然 水 利	そ の 他 の 水 利
10,611	7,766	1,509	52	958	127	189	10



# 消防活動状況

(令和4年中)

		火災	救助	各種災害	
出場件数		166	842	3,807	
活動件数		166	263	3,740	
出場人員数	消防局	4	4	2	
	消防署	3,977	17,024	28,471	
	消防団	1,147	1,982	1,135	
	警察	988	2,588	5,075	
	その他	303	578	992	
	合計	6,419	22,176	35,675	
総計	活動台数	1,301	4,701	8,036	
	活動時間(分)	137,630	219,352	178,387	
	出場台数	1,373	5,201	8,309	
常備消防	活動台数	1,071	4,337	7,794	
	活動時間(分)	118,443	198,421	173,944	
	出場台数	消防ポンプ自動車	244	735	1,854
		水槽付消防ポンプ自動車	313	922	2,372
		化学消防ポンプ自動車	2	2	2
		水槽付化学消防ポンプ自動車	53	126	251
		はしご自動車	14	50	36
		高所救助車	65	155	91
		救助工作車	107	903	187
		小型消防車	4	2	
		救助資機材車	1	42	8
		指揮車	168	838	368
		救急自動車	116	873	2,836
		小型動力ポンプ			
		その他の車両	46	146	62
合計		1,133	4,794	8,067	
非常備消防	活動台数	229	364	204	
	活動時間(分)	19,187	20,931	4,443	
	出場台数	消防ポンプ自動車	53	105	59
		小型動力ポンプ積載車	187	302	183
		その他の車両			
合計	240	407	242		

## ☆各種災害活動状況☆

		合計	ガス漏れ		危険物	自火報等の吹鳴	火気の不始末	救急活動	その他	
			建物	屋外						
出場件数		3,807		2	126	225	5	2,513	265	
活動件数		3,740		2	126	222	5	2,471	260	
出場 人員 数	消防局	2								
	消防署	28,471		39	782	3,052	56	17,756	1,342	
	消防団	1,135				404	2	9		
	警察	5,075		8	440	372	8	3,580	57	
	その他	992		4	44	261		502	47	
	合計	35,675	0	51	1,266	4,089	66	21,847	1,446	
総計	活動台数	8,036		12	226	897	11	5,077	344	
	活動時間(分)	178,387		345	5,808	23,268	145	100,088	7,902	
	出場台数	8,309		12	228	930	17	5,143	355	
常備 消防	活動台数	7,794		12	226	783	10	5,077	344	
	活動時間(分)	173,944		345	5,808	21,582	145	100,088	7,902	
	出場 台数	消防ポンプ自動車	1,854			67	170	5	1,057	118
		水槽付消防ポンプ自動車	2,372		2	55	331	3	1,340	142
		化学消防ポンプ自動車	2						2	
		水槽付化学消防ポンプ自動車	251			7	29	2	140	8
		はしご自動車	36				19			
		高所救助車	91				40		1	
		救助工作車	187		4		64	1		11
		小型消防車	0							
		救助資機材車	8				3			1
		指揮車	368		2	3	138	2	36	35
		救急自動車	2,836		2	89	43	3	2,556	31
		小型動力ポンプ	0							
		その他の車両	62		2	7	5		10	9
合計		8,067	0	12	228	842	16	5,142	355	
非常 備 消防	活動台数	204				77	1			
	活動時間(分)	4,443				1,686				
	出場 台数	消防ポンプ自動車	52				20			
		小型動力ポンプ積載車	190				68	1	1	
		その他の車両	0							
合計	242	0	0	0	88	1	1	0		

(令和4年中)

風水害種別				調査	危険排除	搜索	特別警戒	非火災	誤報	虚報
水防警戒	警戒	浸水等	その他							
14	35	1		361	17	10	67	47	103	16
14	35	1		355	16	10	66	44	99	14
						2				
52	151	4		1,486	133	118	296	1,294	1,715	195
							66	315	299	40
	6			91	48	98		168	169	30
	3	2		38	23	7		40	20	1
52	160	6	0	1,615	204	225	362	1,817	2,203	266
14	40	1		380	37	43	82	376	438	58
401	1,254	35		9,401	2,032	4,612	4,799	8,793	8,663	841
14	41	1		383	36	44	82	426	537	60
14	40	1		380	36	43	71	319	388	50
401	1,254	35		9,401	2,032	4,612	4,423	7,606	7,569	741
5	18			160	4	15	31	88	101	15
8	14	1		182	13	1	26	96	142	16
1	5			19			3	15	22	
					1		1	11	4	
	1				1			23	23	2
				2	4	6	6	41	44	4
						1			3	
	2			11	11	9		44	69	6
				5	2		3	31	62	9
	1			4		12	1	6	5	
14	41	1	0	383	36	44	71	355	475	52
							11	57	50	8
							376	1,187	1,094	100
							2	16	12	2
							9	55	50	6
0	0	0	0	0	0	0	11	71	62	8

# 救助活動状況

(令和4年中)

		合計	火災	交通事故	水難事故	自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故
出場件数		842	80	47	21		5	162	6		521
活動件数		263	11	29	11		5	153	2		52
救助人数		258	9	29	11		5	152	2		50
出場人員数	消防局	4	4								
	消防署										
	救助隊員	4,340	450	225	176		24	738	60		2,667
	消防隊員	10,059	2,209	344	268		34	1,148	42		6,014
	救急隊員	2,625	297	166	78		21	484	18		1,561
	消防団	1,982	789		308						885
	警察	2,588	581	270	179		10	290	25		1,233
	その他	578	211	83	85		2	14	10		173
合計		22,176	4,541	1,088	1,094	0	91	2,674	155	0	12,533
出場台数	消防ポンプ自動車	735	176	23	29		2	50	1		454
	水槽付消防ポンプ自動車	922	231	25	10		3	105	5		543
	化学消防ポンプ自動車	2	2								
	水槽付化学消防ポンプ自動車	126	42	2	3			7			72
	はしご自動車	50	10					1			39
	高所救助車	155	62					3			90
	救助工作車	903	97	47	37		5	158	12		547
	小型消防車	2	2								
	救助資機材車	42	1	1	16		1	2	2		19
	指揮車	838	81	47	22		5	158	6		519
	救急自動車	873	101	55	22		7	161	6		521
	小型動力ポンプ	0									
	その他の車両	146	29	5	19			9	6		78
	消防団車両	407	164		48						195
合計		5,201	998	205	206	0	23	654	38	0	3,077
事故発生場所	住居	260	32					156	2		70
	その他の屋内	40	19				1	5	1		14
	高速自動車国道	2		1							1
	その他の道路	50	8	36					1		5
	内水面(河川・沼)	18			18						
	山岳	20									20
	その他の屋外	68	18	10	2		4		2		32
	地下	0									
	その他	384	3		1			1			379
搬送人員数	救急自動車	205	9	26	9		4	122	2		33
	ヘリコプター	1									1
	消防機関のその他の車両	0									
	消防機関以外の車両等	0									
合計		206	9	26	9	0	4	122	2	0	34
消防機関以外の活動人数	警察	35	5		10			3			17
	日本赤十字社	0									
	自衛隊	0									
	電力会社	0									
	ガス事業社	0									
	水道事業社	0									
	その他の公的機関	1	1								
	事業主体	0									
	民間	43	2	17	2		2	5			15
合計		79	8	17	12	0	2	8	0	0	32

救助活動状況は、救助を必要として出場した件数を計上しています。

# 水防倉庫備蓄状況

(令和5.4.1)

番号	倉庫名		計	消防局	大野南	田名	新磯	淵野辺	小倉	葉山島
	品名									
1	なわ	束	46	0	5	28	13	0	0	0
2	蛇かご	個	19	0	0	0	15	4	0	0
3	丸太	5 m	5	0	0	5	0	0	0	0
4		4 m	95	0	0	55	23	17	0	0
5		3 . 6 m	50	0	9	0	0	41	0	0
6		3 m	103	0	0	15	51	37	0	0
7		2 m	16	0	0	0	9	0	7	0
8	鉄ぐい	〃	867	134	210	93	150	246	34	0
9	木ぐい	1 . 8 m	390	0	25	53	45	267	0	0
10		0 . 9 m	70	0	0	0	25	45	0	0
11	かすがい	〃	107	31	0	27	49	0	0	0
12	針金	kg	197	10	4	90	2	70	1	20
13	釘	〃	20	4	4	10	2	0	0	0
14	かけや	丁	46	1	14	4	12	13	1	1
15	片手ハンマー	〃	16	3	3	4	1	5	0	0
16	おの	〃	46	4	2	3	8	28	0	1
17	のこぎり	〃	52	9	16	4	14	4	4	1
18	かま	〃	58	28	10	7	2	9	0	2
19	スコップ	〃	249	83	18	29	63	26	15	15
20	じょれん	〃	42	7	3	6	13	7	4	2
21	両ツルハシ	〃	36	8	2	3	12	7	1	3
22	とうぐわ	〃	24	2	5	5	12	0	0	0
23	ペンチ	〃	16	5	3	4	2	2	0	0
24	なた	〃	26	10	2	5	3	0	5	1
25	ボルトクリッパー	〃	22	4	6	2	2	8	0	0
26	しの	本	113	39	13	15	13	31	0	2
27	一輪車	台	28	4	2	5	5	7	2	3
28	排水ポンプ	〃	3	1	1	0	1	0	0	0
29	懐中電灯	本	0	0	0	0	0	0	0	0
30	大ハンマー	丁	31	7	6	4	6	6	0	2
31	中ハンマー	〃	2	0	2	0	0	0	0	0
32	ボール	〃	10	1	6	1	1	0	1	0
33	ビニールシート	枚	138	0	7	28	18	10	40	35
34	ロープ	1 0 m	5	1	3	0	0	1	0	0
35		2 0 m	20	5	3	3	0	9	0	0
36		3 0 m	9	5	4	0	0	0	0	0
37		4 0 m	2	1	1	0	0	0	0	0
38	麻ロープ	〃	1	0	0	0	0	1	0	0
39	標識ロープ	束	13	2	2	1	4	4	0	0
40	もっこ	枚	8	0	4	2	2	0	0	0
41	鋼製棒	式	1	0	0	0	0	1	0	0
42	Tマット	式	13	7	0	0	0	6	0	0
43	塩ビ半割管	本	2	0	0	0	0	2	0	0
44	ウレタン付かけや	丁	1	0	0	0	1	0	0	0
45	噴霧器	台	2	1	1	0	0	0	0	0

# 排水ポンプ、土のう備蓄状況表

(令和5.4.1)

		排水ポンプ	水中ポンプ	合計	土のう		
					砂入り	空	合計
相模原消防署	相模原本署 (本部水防倉庫)	1	1	2	421	3,407	3,828
	田名水防倉庫	0	0	0	0	0	0
	淵野辺防災 水防倉庫	0	0	0	0	19,600	19,600
	田名分署	1	1	2	402	2,107	2,509
	淵野辺分署	1	0	1	418	2,201	2,619
	緑が丘分署	1	0	1	378	1,973	2,351
	上溝分署	0	1	1	410	2,140	2,550
小計		4	3	7	2,029	31,428	33,457
南消防署	南本署 (大野南水防倉庫)	1	0	1	500	3,461	3,961
	麻溝台分署	1	1	2	378	2,281	2,659
	新磯分署	1	0	1	403	3,034	3,437
	東林分署	0	1	1	1,140	3,288	4,428
	大沼分署	1	0	1	411	3,030	3,441
	相武台分署	0	0	0	432	2,202	2,634
	上鶴間分署	1	0	1	674	2,874	3,548
	新磯水防倉庫	0	0	0	0	3,600	3,600
小計		5	2	7	3,938	23,770	27,708
北消防署	北本署	1	0	1	538	752	1,290
	大沢分署	0	0	0	576	547	1,123
	相原分署	0	0	0	383	759	1,142
	城山分署	0	0	0	733	494	1,227
小計		1	0	1	2,230	2,552	4,782
津久井消防署	津久井本署	2	0	2	147	348	495
	藤野分署	0	0	0	260	138	398
	青根分署	0	0	0	220	370	590
	烏屋出張所	0	0	0	274	320	594
	救急隊派出所	1	0	1	300	15	315
小計		3	0	3	1,201	1,191	2,392
合計		13	5	18	9,398	58,941	68,339

# 消防車両の配置状況

(令和5.4.1)

種 別	合 計	消 防 局	相模原署					南署					北署				津久井署								
			本 田 淵 緑 上	本 麻 新 東 大 相 上	本 大 相 城	本 救 藤 青 鳥	名 野 が 溝	溝 磯 林 沼 武 鶴	沢 原 山	急 隊 野 根 屋	分 分 分	分 分 分	分 分 分	分 分 分	分 分 分	分 分 分	分 分 分	分 分 分	分 分 分	分 分 分	分 分 分				
合 計	148	6	17	6	5	7	6	16	2	4	2	5	8	4	10	6	5	7	20	1	4	3	4		
消 防 車	小 計	26	-	1	-	2	1	2	2	1	1	1	2	3	1	1	2	1	-	1	-	1	1	2	
	消 防 ポ ン プ 車	16	-	-	-	1	1	-	-	1	1	1	2	1	-	-	2	1	-	1	-	1	1	2	
	タ ン ク 車	8	-	1	-	1	-	2	1	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	小 型 消 防 車	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
特 殊 車	小 計	48	-	8	4	1	4	2	6	-	1	-	1	3	1	2	2	2	3	5	1	1	1	-	
	は し ご 車	4	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	屈 折 は し ご 車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
	化 学 車	3	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
	高 所 救 助 車	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	救 助 工 作 車	5	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
	救 助 資 機 材 車	4	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
	高 規 格 救 急 車	25	-	3	1	1	2	1	3	-	1	-	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	-
	特 殊 災 害 対 応 自 動 車	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大 型 除 染 シ ス テ ム 搭 載 車	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	燃 料 補 給 車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
重 機 搬 送 車	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
特 別 高 度 工 作 車	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
そ の 他 の 車 両	小 計	74	6	8	2	2	2	2	8	1	2	1	2	2	2	7	2	2	4	14	-	2	1	2	
	指 揮 車	4	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	
	指 令 車	6	1	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	
	災 害 活 動 支 援 車	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
	緊 急 人 員 搬 送 車	3	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
	査 察 車	7	-	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	
	広 報 車	32	1	1	2	2	2	2	1	1	2	1	2	2	2	1	2	2	2	2	-	1	-	1	
	作 業 車	4	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	
	人 員 搬 送 車	5	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	
	資 機 材 搬 送 車	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
ポ ー ト ト レ ー ラ ー	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
情 報 収 集 バ イ ク	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	1	1		
救 命 ポ ー ト	15	-	-	5	-	-	2	-	-	2	-	-	2	-	-	1	-	1	2	-	-	-	-		
震 災 用 小 型 動 力 ポ ン プ	52	1	3	3	2	2	2	4	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	4	1	2	2	5		

# 救助隊用資機材配置先

(令和5.4.1)

区分	所属	合計	相模原署		南署	津久井署
			本署	田名分署	本署	本署
一般救助用器具	かぎ付はしご	4	1	1	1	1
	三連はしご	4	1	1	1	1
	金属製折りたたみはしご又はワイヤはしご	4	1	1	1	1
	空気式救助マット	4	1	1	1	1
	救命索発射銃	6	1	3	1	1
	サバイバースリング又は救助用縛帯	36	8	8	9	11
	平坦架	4	1	1	1	1
	滑車	28	6	9	8	5
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	7	2	1	3	1
	油圧スプレッダー	2	1	-	1	-
	可搬ウィンチ	9	2	2	3	2
	ワイヤロープ	17	4	4	5	4
	マンホール救助器具	4	1	1	1	1
	救助用簡易起重機	2	-	1	-	1
	マット型空気ジャッキ式	4	1	1	1	1
	大型油圧スプレッダー	6	1	2	1	2
	救助用支柱器具	2	1	-	1	-
	チェーンブロック	0	-	-	-	-
切断用器具	油圧切断機	4	1	1	1	1
	エンジンカッター	8	3	1	2	2
	ガス溶断器	4	1	1	1	1
	チェーンソー	16	3	4	3	6
	鉄線カッター	5	1	1	2	1
	空気鋸	4	1	1	1	1
	大型油圧切断機	6	1	2	1	2
	空気切断機	4	1	1	1	1
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	1	1	-	-	-
破壊用器具	万能斧	13	3	3	4	3
	ハンマー	4	1	1	1	1
	携帯用コンクリート破壊器具	5	1	1	2	1
	削岩機	6	1	1	1	3
	ハンマドリル	7	2	3	1	1
検知・器測定具	生物剤検知器	4	4	-	-	-
	化学剤検知器	6	5	-	1	-
	可燃性ガス測定器	14	8	2	2	2
	有毒ガス測定器	37	22	3	9	3
	酸素濃度測定器	14	8	2	2	2
	放射線測定器	21	10	4	4	3
呼吸保護用器具	空気呼吸器	29	12	6	6	5
	空気補充用ポンペ	0	-	-	-	-
	酸素呼吸器	22	5	7	5	5
	簡易呼吸器	10	3	3	2	2
	防塵マスク	29	12	6	6	5
	送排風機	4	1	1	1	1
	エアラインマスク	0	-	-	-	-



隊員保護用器具	革手袋	26	7	8	6	5
	耐電手袋	17	5	5	5	2
	安全帯	19	2	5	3	9
	防塵メガネ	28	-	6	16	6
	携帯警報器	23	6	5	6	6
	防毒マスク	28	11	5	6	6
	化学防護服（陽圧式化学防護服を除く。）	28	13	5	5	5
	陽圧式化学防護服	27	9	5	8	5
	耐熱服	0	-	-	-	-
	放射線防護服	7	-	-	5	2
	個人用線量計	90	47	-	38	5
	耐電衣	8	2	2	2	2
	耐電ズボン	8	2	2	2	2
	耐電長靴	8	2	2	2	2
	特殊ヘルメット	14	8	2	2	2
検索用器具	簡易画像探索機	5	1	1	2	1
除染用器具	除染シャワー	4	4	-	-	-
	除染剤散布器	6	2	-	2	2
水難救助用器具	潜水器具一式	32	-	16	6	10
	流水救助器具一式	16	-	5	6	5
	救命胴衣	119	6	52	25	36
	水中投光器	21	-	9	6	6
	救命浮環	17	-	7	3	7
	浮標	14	-	6	4	4
	救命ボート	6	-	3	1	2
	船外機	5	-	3	1	1
	水中スクーター	0	-	-	-	-
	水中無線機	1	-	1	-	-
	水中時計	21	-	17	-	4
	水中テレビカメラ	0	-	-	-	-
山岳救助器具	登山器具一式	8	-	3	-	5
	バスケット担架	9	3	1	3	2
その他の救助用器具	投光器一式	5	1	1	2	1
	携帯投光器	18	4	6	1	7
	携帯拡声器	8	2	2	2	2
	携帯無線機	22	6	5	6	5
	応急処置用セット	4	1	1	1	1
	車両移動器具	1	-	-	1	-
	その他の携帯救助工具	4	1	1	1	1
	緩降機	3	1	-	1	1
	ロープ登降機	10	2	-	2	6
	救助用降下機	6	-	-	-	6
	発電機	6	1	1	3	1
高度救助用器具	画像探索機	2	1	-	1	-
	地中音響探知機	2	1	-	1	-
	熱画像直視装置	4	1	1	1	1
	夜間用暗視装置	2	1	-	1	-
	地震警報器	2	1	-	1	-
	電磁波探査装置	1	1	-	-	-
	二酸化炭素探査装置	1	1	-	-	-
	水中探査装置	1	1	-	-	-

# ★消防隊・救急隊用資機材配置先★

(令和5. 4. 1)

区分	合計	相模原署					南 署							北 署				津久井署				
		本署	田名分署	淵野辺分署	緑が丘分署	上溝分署	本署	麻溝台分署	新磯分署	東林分署	大沼分署	相武台分署	上鶴間分署	本署	大沢分署	相原分署	城山分署	本署	救急隊派出所	藤野分署	青根分署	鳥屋出張所
ホース（65ミリ）※	1,773	72	79	117	74	83	80	85	84	91	82	86	74	78	77	83	95	183	0	84	83	83
ホース（50ミリ）※	999	58	40	59	51	52	50	54	58	55	27	50	49	49	41	47	53	84	0	43	40	39
ホースカー	26	1	1	2	1	2	1	1	1	1	2	2	1	1	2	1	1	1	0	1	1	2
ガンタイプノズル	71	5	3	3	3	4	4	3	3	3	3	4	2	5	3	3	3	7	0	3	4	3
エンジンカッター	17	1	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	2	2	0	1	2	1
チェーンソー	30	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	3	5	0	1	3	2
筒式簡易発泡器	25	1	3	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	0	1	1	1
三連はしご	25	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	2	1	1	2	1	1	1	0	1	1	2
救命胴衣※	342	20	53	5	5	10	18	5	18	10	5	32	5	11	11	5	16	65	3	13	21	11
空気呼吸器※	154	15	10	4	6	13	16	4	4	4	4	12	4	9	8	4	8	16	0	4	3	6
8リットルポンベ※	7	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0
4.7リットルポンベ※	403	68	35	8	10	13	67	8	8	8	8	10	8	44	8	8	12	58	0	10	6	6
防毒マスク	84	47	0	0	0	0	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耐電衣一式※	15	3	2	0	1	0	3	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0
発電機付投光器	38	3	1	1	2	3	2	1	1	1	1	4	1	4	2	2	2	3	0	1	1	2
酸欠空気、危険性ガス測定器※	37	9	3	1	1	1	4	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	4	0	1	1	1
携帯警報器※	141	13	10	5	6	5	13	4	5	5	5	8	4	11	4	5	8	17	0	4	3	6
小型高圧遠距離送水装置	22	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1
耐振動血圧計	25	3	1	1	2	1	3	0	1	0	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	0
血中酸素飽和度測定器	30	3	1	1	2	1	3	0	1	1	1	1	1	1	2	1	1	2	3	2	2	0
患者監視装置	25	3	1	1	2	1	3	0	1	0	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	0
気道確保用資器材	25	3	1	1	2	1	3	0	1	0	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	0
定置型電動式吸引器	25	3	1	1	2	1	3	0	1	0	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	0
喉頭鏡	27	3	1	1	2	1	3	0	1	0	1	1	1	1	2	1	1	2	2	2	1	0
自動式人工呼吸器	25	3	1	1	2	1	3	0	1	0	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	0
自動体外式除細動器	66	5	3	3	4	3	5	2	3	2	3	3	3	3	4	3	3	5	1	3	3	2
手動式人工呼吸器	27	3	1	1	2	1	3	0	1	1	1	1	1	1	2	1	1	2	1	2	1	0
スクープストレッチャー	26	3	1	1	2	1	3	0	1	0	1	1	1	1	2	1	1	2	2	1	1	0
バックボード	35	3	1	2	2	1	3	0	2	0	2	1	2	1	2	2	1	2	2	4	2	0
血糖値測定器	27	3	1	1	2	1	3	0	1	0	1	1	1	1	2	1	1	2	2	2	1	0
自動式心マッサージ器	23	3	1	1	1	1	2	0	1	0	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	0
特定行為用資器材	25	3	1	1	2	1	3	0	1	0	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	0
ビデオ喉頭鏡	25	3	1	1	2	1	3	0	1	0	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	0

※は救助隊配置資機材を含む



☆ 月別・曜日別救急事故 ☆

(令和4年中)

区分		合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他			
													転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 材 搬 送	そ の 他
合計	救急出場件数	42,060	132		11	2,343	285	215	5,661	150	457	28,869	2,716	23	1	1,197
	搬送件数	34,670	32		4	2,060	278	203	4,947	105	325	24,020	2,693			3
	搬送人員	34,826	33		4	2,151	278	203	4,955	107	326	24,065	2,701			3
1月	救急出場件数	3,488	15	0	0	191	20	13	551	14	31	2,319	231	0	0	103
	搬送件数	2,954	2	0	0	171	19	12	492	10	22	1,997	229	0	0	0
	搬送人員	2,965	2	0	0	181	19	12	492	10	22	1,998	229	0	0	0
2月	救急出場件数	3,102	10	0	0	121	21	4	413	16	29	2,193	203	0	0	92
	搬送件数	2,557	2	0	0	109	20	4	380	13	24	1,803	202	0	0	0
	搬送人員	2,569	2	0	0	113	20	4	381	14	24	1,809	202	0	0	0
3月	救急出場件数	3,227	13	0	1	188	21	10	457	6	34	2,151	239	1	1	105
	搬送件数	2,669	3	0	0	166	21	10	390	3	26	1,811	239	0	0	0
	搬送人員	2,679	3	0	0	174	21	10	390	3	26	1,813	239	0	0	0
4月	救急出場件数	3,082	9	0	0	196	20	14	463	11	36	2,041	222	5	0	65
	搬送件数	2,643	1	0	0	171	18	13	417	7	23	1,772	220	0	0	1
	搬送人員	2,655	1	0	0	177	18	13	420	7	23	1,773	222	0	0	1
5月	救急出場件数	3,225	6	0	1	201	20	26	407	14	46	2,168	239	3	0	94
	搬送件数	2,740	1	0	0	181	20	25	371	10	34	1,861	236	0	0	1
	搬送人員	2,754	1	0	0	193	20	25	371	10	34	1,862	237	0	0	1
6月	救急出場件数	3,416	9	0	3	238	24	21	456	14	43	2,263	225	2	0	118
	搬送件数	2,926	1	0	1	217	23	20	406	12	31	1,991	224	0	0	0
	搬送人員	2,940	1	0	1	226	23	20	407	12	31	1,995	224	0	0	0
7月	救急出場件数	4,252	9	0	1	197	27	35	484	9	33	3,079	256	6	0	116
	搬送件数	3,420	5	0	1	170	27	31	430	7	20	2,476	252	0	0	1
	搬送人員	3,431	5	0	1	172	27	31	430	7	20	2,485	252	0	0	1
8月	救急出場件数	4,055	9	0	2	189	28	15	400	16	40	3,027	202	2	0	125
	搬送件数	3,132	2	0	2	162	28	15	343	9	28	2,343	200	0	0	0
	搬送人員	3,147	2	0	2	174	28	15	344	9	28	2,345	200	0	0	0
9月	救急出場件数	3,305	13	0	1	180	14	15	435	11	50	2,297	218	1	0	70
	搬送件数	2,743	2	0	0	156	14	15	367	7	35	1,930	217	0	0	0
	搬送人員	2,754	2	0	0	161	14	15	367	7	35	1,935	218	0	0	0
10月	救急出場件数	3,405	8	0	2	211	24	29	510	10	34	2,273	209	0	0	95
	搬送件数	2,833	3	0	0	181	24	26	437	7	26	1,921	208	0	0	0
	搬送人員	2,841	3	0	0	184	24	26	439	7	26	1,924	208	0	0	0
11月	救急出場件数	3,443	16	0	0	221	32	20	500	15	44	2,278	218	3	0	96
	搬送件数	2,843	7	0	0	194	32	19	429	9	34	1,903	216	0	0	0
	搬送人員	2,859	8	0	0	204	32	19	429	9	35	1,906	217	0	0	0
12月	救急出場件数	4,060	15	0	0	210	34	13	585	14	37	2,780	254	0	0	118
	搬送件数	3,210	3	0	0	182	32	13	485	11	22	2,212	250	0	0	0
	搬送人員	3,232	3	0	0	192	32	13	485	12	22	2,220	253	0	0	0
日曜日		5,713	20	0	2	245	14	74	841	24	61	4,050	216	2	0	164
月曜日		6,326	19	0	2	321	42	18	808	21	62	4,399	441	3	0	190
火曜日		5,989	22	0	1	329	37	17	760	15	74	4,143	443	4	0	144
水曜日		6,008	14	0	3	358	62	23	800	21	67	4,084	401	4	1	170
木曜日		5,834	19	0	1	337	37	25	778	21	79	3,978	397	4	0	158
金曜日		6,152	22	0	0	392	53	14	777	24	64	4,142	477	4	0	183
土曜日		6,038	16	0	2	361	40	44	897	24	50	4,073	341	2	0	188

☆ 時刻別・覚知別救急出場件数 ☆

(令和4年中)

区分		合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資材搬送	その他
合計	救急出場件数	42,060	132		11	2,343	285	215	5,661	150	457	28,869	2,716	23	1	1,197
	搬送人員	34,826	33		4	2,151	278	203	4,955	107	326	24,065	2,701			3
0時～2時	救急出場件数	1,999	8			36	6		183	12	25	1,606	52			71
	搬送人員	1,459	4			30	6		134	9	21	1,203	51			1
2時～4時	救急出場件数	1,633	6			27	3		151	16	37	1,320	34			39
	搬送人員	1,283	2			24	3		122	9	28	1,061	34			
4時～6時	救急出場件数	1,750	5			52	4		154	8	28	1,408	33			58
	搬送人員	1,380	1			47	4		133	8	19	1,135	33			
6時～8時	救急出場件数	2,804	4		3	179	10		387	7	35	2,052	40	2		85
	搬送人員	2,271			1	159	9		346	6	31	1,678	40			1
8時～10時	救急出場件数	4,766	14			335	41	21	647	9	39	3,279	258	4		119
	搬送人員	4,158	2			302	41	21	601	8	27	2,897	258			1
10時～12時	救急出場件数	5,001	11			267	66	51	751	11	46	3,099	541	4		154
	搬送人員	4,347	2			266	66	48	697	8	25	2,692	543			
12時～14時	救急出場件数	4,748	17			292	31	34	616	10	38	3,026	555	3	1	125
	搬送人員	4,086	10			272	31	32	548	7	27	2,607	552			
14時～16時	救急出場件数	4,364	12		4	290	46	42	672	6	47	2,737	379	1		128
	搬送人員	3,708	3		2	273	46	39	610	5	30	2,325	375			
16時～18時	救急出場件数	4,327	25		2	313	47	24	675	13	40	2,662	390	5		131
	搬送人員	3,571	6		1	282	46	24	578	10	26	2,211	387			
18時～20時	救急出場件数	4,357	10		2	312	19	22	609	22	43	2,984	201	2		131
	搬送人員	3,588	2			291	16	20	523	12	34	2,492	198			
20時～22時	救急出場件数	3,509	10			158	9	19	484	14	41	2,568	120	2		84
	搬送人員	2,818				141	7	18	397	12	30	2,093	120			
22時～24時	救急出場件数	2,802	10			82	3	2	332	22	38	2,128	113			72
	搬送人員	2,157	1			64	3	1	266	13	28	1,671	110			
自己覚知		84			1	16	1		7		1	17	29	11		1
消防専用電話		41,249	120		9	2,245	279	211	5,579	127	414	28,515	2,683	12	1	1,054
加入電話		605	12		1	78	2		56	22	40	261	4			129
警察電話		10							1			5				4
かけつけ		88				4	1		14	1	1	59				8
その他		24					2	4	4		1	12				1

☆ 程度別・年齢別搬送人員状況 ☆

(令和4年中)

区 分		合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他		
													転院搬送	その他	
傷病程度別 搬送人員	小計	34,826	33		4	2,151	278	203	4,955	107	326	24,065	2,701	3	
	軽症	17,716	10			1,651	180	162	3,318	84	100	11,946	265		
	中等症	13,939	12		1	422	83	39	1,490	20	152	9,908	1,809	3	
	重症	2,895	9		3	76	15	2	137	3	59	1,965	626		
	死亡	275	2			2			10		15	246			
	その他	1												1	
年齢別 搬送人員	新生児	110							1			20	89		
	乳幼児	1,948				47			384			1,355	162		
	少年	7歳以上 12歳未満	481				85		20	112	1	1	249	13	
		12～18	741	1			184	1	101	64	2	22	334	32	
	成人	18～20	381	1			99	5	13	16	3	21	213	10	
		20～30	2,241	1		1	315	44	33	124	18	91	1,518	96	
		30～40	1,882	3		1	219	49	4	112	11	37	1,296	148	2
		40～50	2,404	5			282	52	10	187	14	45	1,655	153	1
		50～65	4,667	9			408	75	13	479	37	61	3,199	386	
	老人	65歳以上	19,971	13		2	512	52	9	3,476	21	48	14,226	1,612	
不搬送件数		7,390	100		7	283	7	12	714	45	132	4,849	23	1,218	
不搬送理由	辞退（到着前）	92				4		1	11		1	62	1	12	
	辞退（到着後）	2,589	5		1	85	2	5	257	16	17	2,100	5	96	
	拒否	3,058	5			164	3	4	416	24	43	2,267	2	130	
	明らかな死亡	742	1		2	1			1		62	222		453	
	他車（隊）搬送	24	1			4	1		3		1	10	2	2	
	傷病者なし	324	85			16			4	1	1	4	1	212	
	誤報・悪戯	207	3			1			1			1		201	
	その他	354			4	8	1	2	21	4	7	183	12	112	

☆ 急病にかかる疾病分類別傷病程度別搬送人員 ☆

(令和4年中)

	合計	循環系		消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確	
		脳疾患	心疾患									
合計	死亡	246	1	132		4			12	4	93	
	重症	1,965	394	457	54	212	5	18	12	82	136	595
	中等症	9,908	719	647	737	972	40	179	190	210	1,145	5,069
	軽症	11,946	143	279	583	511	218	436	367	44	1,459	7,906
	その他											
新生児	死亡											
	重症	1									1	
	中等症	9									6	3
	軽症	10			2				1		3	4
	その他											
乳幼児	死亡	1										1
	重症	9		1				1				7
	中等症	273	1		8	30		2		1	30	201
	軽症	1,072			43	117	2	12	2		145	751
	その他											
少年	死亡											
	重症	5					1					4
	中等症	128			3	9		5	2		20	89
	軽症	450	1		23	29	7	32	2		76	280
	その他											
成人	死亡	24	1	12						1	1	9
	重症	381	96	90	15	22	3	5	2	17	27	104
	中等症	2,450	155	134	245	105	31	72	80	41	295	1,292
	軽症	5,026	43	65	252	198	168	206	226	11	684	3,173
	その他											
老人	死亡	221		120		4				11	3	83
	重症	1,569	298	366	39	190	1	12	10	65	108	480
	中等症	7,048	563	513	481	828	9	100	108	168	794	3,484
	軽症	5,388	99	214	263	167	41	186	136	33	551	3,698
	その他											

※ 令和3年から分類項目が一部変更となったもの。(救急年報報告入力要領の変更)

## 応急処置状況

(令和4年中)

区分	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他	
対象人員	34,752	24,022	2,148	4,945	3,637	
処置合計	131,855	91,915	8,521	18,043	13,376	
応急処置内容	止血	601	134	62	323	82
	固定	2,093	115	933	810	235
	人工呼吸	80	68	3	4	5
	心マッサージ	50	43	2	2	3
	自動式心マッサージ器		16		1	1
	心肺蘇生	735	627	8	34	66
	うち自動式心マッサージ器		284	2	13	21
	酸素吸入	5,749	4,487	99	216	947
	保温	470	292	49	65	64
	被覆	2,520	103	602	1,556	259
	在宅診療継続	446	392		32	22
	ショックパンツの血圧保持	1				1
	血圧測定	32,681	22,532	2,109	4,654	3,386
	聴診器による心音呼吸音	9,614	7,527	556	814	717
	血中酸素飽和量の測定	33,939	23,381	2,129	4,876	3,553
	心電図	14,545	11,978	341	957	1,269
	除細動		79			6
	気道確保	379	328	3	21	27
	うち経鼻エアウェイ	11	6		1	4
	うち喉頭鏡、鉗子等	15	6		9	
	うちラリングアルマスク等	353	316	3	11	23
	気管挿管	98	78	1	10	9
	うち喉頭鏡		27		2	2
	うちビデオ喉頭鏡		51	1	8	7
	静脈路確保		498	5	23	34
	うち静脈路確保(CPA前)		97	3	2	6
	うち静脈路確保(CPA後)		338	2	20	28
	うち静脈路確保(ブドウ糖)		63		1	
アドレナリン投与	361	315	2	18	26	
ブドウ糖投与	62	61		1		
血糖測定	265	258	2	2	3	
その他の応急処置	25,525	17,743	1,607	3,578	2,597	

## 診療科目別搬送人員

(令和4年中)

区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
												転院搬送	その他
合計	34,826	33		4	2,151	278	203	4,955	107	326	24,065	2,701	3
内科	16,374	4		1	13	20	10	134	3	80	15,292	817	
外科	2,139	5		1	267	66	19	1,035	34	41	469	202	
小児科	2,037				3		6	49		2	1,715	262	
整形外科	5,310				1,442	108	96	2,374	39	9	1,057	185	
脳神経	3,652				262	38	55	1,138	21		1,825	313	
産婦人科	450				2			5			298	142	3
眼科	46				1	3	7	10	1		17	7	
耳鼻咽喉科	279						1	21			241	16	
精神科	71							1		5	56	9	
その他	4,468	24		2	161	43	9	188	9	189	3,095	748	







負傷者	焼損面積					林野(a)	損害額(千円)								
	建物(m <sup>2</sup> )						総額	小計	建物		林野	車両	航空機船	その他	爆発
	総計	全焼	半焼	部分焼	ぼや				建築物	内容物					
35	1,115	555	98	462	-	15	88,228	80,578	60,356	20,222	10	6,164	-	1,476	-
19	1,791	1,602	95	93	1	-	228,366	217,783	156,184	61,599	-	3,392	-	7,191	-
35	2,586	1,832	169	584	1	17	142,221	137,509	104,962	32,547	-	3,746	-	966	-
1	110	110	-	-	-	-	39,054	38,971	37,281	1,690	-	81	-	2	-
-	77	62	-	15	-	8	824	785	278	507	-	39	-	-	-
-	48	47	-	-	1	1	1,447	466	431	35	-	973	-	8	-
1	11	11	-	-	-	-	536	233	61	172	-	300	-	3	-
-	-	-	-	-	-	-	3,660	3,600	-	3,600	-	60	-	-	-
-	796	796	-	-	-	-	16,524	16,427	13,598	2,829	-	22	-	75	-
-	13	-	-	13	-	-	585	525	496	29	-	60	-	-	-
1	49	-	26	23	-	-	4,905	4,903	3,423	1,480	-	-	-	2	-
1	-	-	-	-	-	-	712	2	-	2	-	710	-	-	-
5	72	-	-	72	-	-	2,708	2,707	2,366	341	-	-	-	1	-
1	50	-	50	-	-	-	1,861	1,861	1,553	308	-	-	-	-	-
2	23	-	23	-	-	-	611	611	544	67	-	-	-	-	-
4	210	-	70	140	-	-	17,412	17,409	16,385	1,024	-	-	-	3	-
6	555	514	-	41	-	-	15,527	14,418	3,776	10,642	-	1,068	-	41	-
1	254	184	-	70	-	-	17,730	17,714	15,572	2,142	-	1	-	15	-
1	-	-	-	-	-	-	442	279	23	256	-	163	-	-	-
5	45	-	-	45	-	-	2,736	2,577	863	1,714	-	118	-	41	-
1	52	52	-	-	-	7	571	397	366	31	-	-	-	174	-
1	56	56	-	-	-	1	5,330	5,255	1,140	4,115	-	52	-	23	-
1	116	-	-	116	-	-	7,055	6,623	5,538	1,085	-	-	-	432	-
1	37	-	-	37	-	-	814	814	706	108	-	-	-	-	-
2	12	-	-	12	-	-	1,177	932	562	370	-	99	-	146	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21	1,226	698	169	359	-	-	62,051	60,150	44,115	16,035	-	1,839	-	62	-
6	119	-	26	93	-	-	8,734	7,962	6,192	1,770	-	770	-	2	-
6	555	514	-	41	-	-	15,527	14,418	3,776	10,642	-	1,068	-	41	-
4	210	-	70	140	-	-	17,412	17,409	16,385	1,024	-	-	-	3	-
3	38	-	23	15	-	-	785	784	637	147	-	-	-	1	-
2	304	184	50	70	-	-	19,593	19,577	17,125	2,452	-	1	-	15	-
12	318	108	-	210	-	8	18,125	16,877	9,198	7,679	-	432	-	816	-
5	161	-	-	161	-	-	9,980	9,412	6,399	3,013	-	118	-	450	-
1	-	-	-	-	-	-	216	27	-	27	-	-	-	189	-
1	52	52	-	-	-	8	431	371	366	5	-	52	-	8	-
2	12	-	-	12	-	-	1,177	932	562	370	-	99	-	146	-
1	-	-	-	-	-	-	189	26	23	3	-	163	-	-	-
1	93	56	-	37	-	-	6,068	6,068	1,846	4,222	-	-	-	-	-
1	-	-	-	-	-	-	64	41	2	39	-	-	-	23	-
1	235	219	-	15	1	9	41,325	40,222	37,990	2,232	-	1,093	-	10	-
-	-	-	-	-	-	-	9	9	-	9	-	-	-	-	-
-	77	62	-	15	-	8	824	785	278	507	-	39	-	-	-
1	110	110	-	-	-	-	39,045	38,962	37,281	1,681	-	81	-	2	-
-	48	47	-	-	1	1	1,447	466	431	35	-	973	-	8	-
1	807	807	-	-	-	-	20,720	20,260	13,659	6,601	-	382	-	78	-
1	11	11	-	-	-	-	3,836	3,833	61	3,772	-	-	-	3	-
-	796	796	-	-	-	-	16,584	16,427	13,598	2,829	-	82	-	75	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	300	-	-	-	-	300	-	-	-
4	404	259	49	96	-	1	24,981	24,848	18,752	6,096	-	99	-	34	-
-	695	695	-	-	-	-	15,158	15,100	12,403	2,697	-	50	-	8	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	1	-	-	-	1	-	5,597	4,487	340	4,147	-	1,063	-	47	-
-	-	-	-	-	-	-	17	17	11	6	-	-	-	-	-
26	1,486	878	120	488	-	16	96,468	93,057	73,456	19,601	-	2,534	-	877	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

月別・時刻別・曜日別の火災

区 分	総 数	火 災 件 数							焼 損 棟 数					罹 災 世 帯 数								
		小 計	全 焼	建 物 火 災		爆 発	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	総 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ほ よ	総 計	全 損	半 損	小 損		
				半 焼	部 分 焼																	
総 計	166	92	11	4	17	60	-	4	20	-	-	50	121	22	5	22	72	107	14	15	78	
月 別	1月	24	11	-	-	3	8	-	2	1	-	-	10	11	-	-	3	8	11	1	-	10
	2月	17	9	1	-	-	8	-	-	4	-	-	4	12	3	-	-	9	7	1	-	6
	3月	21	13	4	1	-	8	-	1	1	-	-	6	19	7	1	-	11	19	6	3	10
	4月	12	6	-	1	1	4	-	-	1	-	-	5	6	-	1	1	4	6	-	1	5
	5月	6	3	2	-	1	-	-	-	1	-	-	2	3	2	-	1	-	2	-	-	2
	6月	11	9	2	-	2	5	-	1	1	-	-	-	13	3	-	4	6	4	-	1	3
	7月	10	5	-	-	2	3	-	-	2	-	-	3	7	-	-	3	4	12	1	1	10
	8月	9	4	-	-	1	3	-	-	1	-	-	4	4	-	-	1	3	4	-	-	4
	9月	16	6	-	1	-	5	-	-	4	-	-	6	7	-	1	-	6	3	-	1	2
	10月	10	5	1	-	1	3	-	-	-	-	-	5	6	1	-	1	4	4	1	-	3
	11月	16	11	-	-	4	7	-	-	3	-	-	2	11	-	-	4	7	14	-	8	6
	12月	14	10	1	1	2	6	-	-	1	-	-	3	22	6	2	4	10	21	4	-	17
時 刻 別	6～7時	3	3	1	-	1	1	-	-	-	-	-	3	1	-	1	1	1	1	-	-	1
	7～8	2	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	3	1	-	1	1	2	-	1	1	
	8～9	8	5	-	-	1	4	-	-	1	-	-	2	8	-	-	2	6	10	1	-	9
	9～10	11	7	2	-	3	2	-	-	1	-	-	3	8	2	-	3	3	6	-	-	6
	10～11	7	4	1	-	-	3	-	-	1	-	-	2	7	2	-	2	3	1	-	-	1
	11～12	10	4	1	-	1	2	-	-	2	-	-	4	6	1	-	1	4	15	6	3	6
	12～13	8	5	-	-	-	5	-	-	1	-	-	2	5	-	-	-	5	4	-	-	4
	13～14	14	8	1	-	2	5	-	1	2	-	-	3	13	4	-	3	6	20	1	6	13
	14～15	8	4	-	-	1	3	-	-	1	-	-	3	4	-	-	1	3	2	-	-	2
	15～16	8	2	-	1	-	1	-	1	2	-	-	3	3	-	1	-	2	6	2	-	4
	16～17	15	6	1	-	2	3	-	1	3	-	-	5	6	1	-	2	3	7	2	-	5
	17～18	11	10	-	1	1	8	-	-	-	-	-	1	11	-	1	1	9	7	-	2	5
	18～19	3	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	4	3	-	-	1	1	1	-	-
	19～20	11	4	-	1	-	3	-	-	2	-	-	5	5	-	1	-	4	3	-	1	2
	20～21	8	4	-	-	1	3	-	1	1	-	-	2	5	-	-	1	4	3	-	1	2
	21～22	6	3	-	-	-	3	-	-	1	-	-	2	3	-	-	-	3	2	-	-	2
	22～23	4	4	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	4	1	-	2	1	3	-	-	3
	23～24	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0～1	6	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	3	2	-	-	2
	1～2	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-	1
	2～3	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
3～4	5	3	-	-	1	2	-	-	2	-	-	-	4	-	-	1	3	5	-	-	5	
4～5	6	5	1	1	-	3	-	-	-	-	-	1	12	6	2	1	3	5	1	1	3	
5～6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
不明	5	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	2	-	-	-	2	1	-	-	1	
曜 日 別	日 曜 日	17	10	1	2	2	5	-	1	2	-	-	4	17	3	2	3	9	22	4	1	17
	月 曜 日	23	14	2	1	3	8	-	-	2	-	-	7	19	3	1	6	9	17	2	2	13
	火 曜 日	27	14	1	-	3	10	-	2	6	-	-	5	17	1	-	3	13	13	-	2	11
	水 曜 日	21	13	2	-	1	10	-	-	1	-	-	7	17	5	-	1	11	11	-	6	5
	木 曜 日	23	11	2	-	4	5	-	-	6	-	-	6	13	2	-	4	7	22	7	3	12
	金 曜 日	30	18	3	1	3	11	-	-	2	-	-	10	25	8	2	4	11	14	1	1	12
土 曜 日	21	11	-	-	1	10	-	1	1	-	-	8	12	-	-	1	11	8	-	-	8	
不明	4	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	1	-	-	-	1	-	-	-	-	

(令和4年中)

罹災人員	死者	負傷者	焼損面積						損害額(千円)								
			建物(m <sup>2</sup> )					林野(a)	総額	建物			林野	車両	船舶・航空機	その他	爆発
			総計	全焼	半焼	部分焼	ぼや			小計	建築物	内容物					
216	3	35	2,586	1,832	169	584	1	17	142,221	137,509	104,962	32,547	-	3,746	-	966	-
18	-	3	198	-	-	198	-	8	3,717	3,692	1,987	1,705	-	24	-	1	-
14	1	2	184	184	-	-	-	-	21,169	19,701	14,910	4,791	-	1,300	-	168	-
36	-	3	332	306	26	-	-	8	39,982	39,812	37,877	1,935	-	153	-	17	-
11	-	1	65	-	50	15	-	-	2,078	2,005	1,627	378	-	60	-	13	-
3	-	1	78	58	-	20	-	-	5,617	5,389	4,871	518	-	60	-	168	-
8	-	1	583	570	-	13	-	1	11,225	10,896	3,771	7,125	-	298	-	31	-
36	-	4	72	-	-	72	-	-	3,860	3,177	2,483	694	-	579	-	104	-
5	-	3	37	-	-	37	-	-	1,330	834	713	121	-	480	-	16	-
5	1	2	70	-	70	-	-	-	13,132	13,099	12,944	155	-	29	-	4	-
8	1	3	74	19	-	55	-	-	2,039	1,621	1,531	90	-	15	-	403	-
31	-	9	90	-	-	89	1	-	10,502	9,779	6,210	3,569	-	700	-	23	-
41	-	3	803	695	23	85	-	-	27,570	27,504	16,038	11,466	-	48	-	18	-
1	-	-	126	56	-	70	-	-	7,194	7,194	1,857	5,337	-	-	-	-	-
5	-	-	91	82	-	9	-	-	1,652	1,645	1,327	318	-	7	-	-	-
22	-	-	85	-	-	85	-	-	7,473	7,415	3,099	4,316	-	50	-	8	-
8	-	2	99	30	-	69	-	-	10,527	10,409	2,261	8,148	-	75	-	43	-
4	-	2	514	514	-	-	-	-	5,109	4,669	2,131	2,538	-	410	-	30	-
26	-	-	123	110	-	13	-	-	39,502	39,359	37,761	1,598	-	133	-	10	-
13	-	3	-	-	-	-	-	-	70	10	2	8	-	60	-	-	-
42	1	8	164	62	-	102	-	8	6,110	5,110	3,091	2,019	-	985	-	15	-
2	-	3	-	-	-	-	-	-	597	181	39	142	-	416	-	-	-
10	-	2	23	-	23	-	-	7	1,408	628	555	73	-	780	-	-	-
15	-	3	203	52	-	151	-	1	2,239	2,196	1,613	583	-	24	-	19	-
16	-	2	49	-	26	23	-	-	4,946	4,946	3,416	1,530	-	-	-	-	-
2	-	2	184	184	-	-	-	-	16,033	16,033	14,855	1,178	-	-	-	-	-
5	-	-	50	-	50	-	-	-	2,278	1,867	1,555	312	-	405	-	6	-
10	-	-	15	-	-	15	-	1	1,204	852	286	566	-	24	-	328	-
4	-	1	-	-	-	-	-	-	417	171	11	160	-	99	-	147	-
5	-	2	74	47	-	27	-	-	1,253	1,253	811	442	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	295	-	-	-	-	-	-	295	-
4	-	2	-	-	-	-	-	-	82	36	23	13	-	-	-	46	-
2	-	1	-	-	-	-	-	-	53	53	38	15	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	-	2	20	-	-	20	-	-	5,433	5,137	4,630	507	-	278	-	18	-
12	1	-	766	695	70	-	1	-	28,314	28,314	25,577	2,737	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	1	-	-	-	-	-	-	-	32	31	24	7	-	-	-	1	-
42	2	7	362	184	93	85	-	8	41,982	41,485	31,444	10,041	-	486	-	11	-
35	-	3	788	596	26	166	-	-	11,025	9,815	5,910	3,905	-	1,178	-	32	-
32	-	6	105	52	-	53	-	8	7,689	5,962	3,998	1,964	-	1,381	-	346	-
18	1	5	126	81	-	45	-	-	8,066	7,582	2,074	5,508	-	330	-	154	-
44	-	5	312	157	-	154	1	-	48,411	47,935	44,689	3,246	-	297	-	179	-
30	-	4	861	762	50	49	-	-	24,202	24,120	16,445	7,675	-	51	-	31	-
15	-	5	32	-	-	32	-	1	842	607	400	207	-	23	-	212	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	3	2	1	-	-	-	1	-

## 原因別・月別の火災発生状況

区 分	総 計		建 物			林 野			車 両	
	件数	損害額 (千円)	件数	焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)	件数	焼損面積 (a)	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)
合 計	166	142,221	92	2,586	137,509	4	17	-	20	3,746
た ば こ	30	23,662	16	235	23,637	2	9	-	1	24
こ ん ろ	9	999	9	12	999	-	-	-	-	-
か ま ど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風 呂 か ま ど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
炉	1	6	1	-	6	-	-	-	-	-
焼 却 炉	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ス ト ー プ	6	17,321	6	203	17,275	-	-	-	-	15
こ た つ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ボ イ ラ ー	1	338	1	32	338	-	-	-	-	-
煙 突 ・ 煙 道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排 気 管	5	898	-	-	-	-	-	-	5	890
電 気 機 器	15	766	8	1	423	-	-	-	4	127
電 気 装 置	3	199	1	-	35	-	-	-	2	164
電灯・電話等の配線	4	62	3	-	62	-	-	-	-	-
内 燃 機 関	2	970	-	-	-	-	-	-	2	970
配 線 器 具	7	7,327	7	181	7,327	-	-	-	-	-
火 あ そ び	4	1,398	2	9	1,398	-	-	-	-	-
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	4	411	2	47	180	-	-	-	1	230
た き 火	6	80	1	62	42	1	7	-	-	15
溶 接 機 ・ 切 断 機	2	7,949	2	-	7,949	-	-	-	-	-
灯 火	1	253	1	-	253	-	-	-	-	-
衝 突 の 火 花	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
取 灰	3	14,949	1	695	14,946	-	-	-	-	-
火 入 れ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
放 火	27	47,386	5	193	46,138	1	1	-	2	596
放 火 の 疑 い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他	28	16,530	23	834	16,251	-	-	-	1	248
不 明	5	717	2	82	250	-	-	-	2	467

(令和4年中)

船舶・航空機	その他		爆発	月別の状況												
	件数	損害額 (千円)	損害額 (千円)	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
-	50	966	-	166	24	17	21	12	6	11	10	9	16	10	16	14
-	11	1	-	30	3	2	2	1	2	3	2	1	6	3	-	5
-	-	-	-	9	2	-	-	1	-	1	1	-	1	-	3	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
-	-	31	-	6	1	1	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	8	-	5	-	1	1	-	1	-	-	1	1	-	-	-
-	3	216	-	15	1	1	-	2	1	2	-	2	2	1	2	1
-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1
-	1	-	-	4	1	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
-	-	-	-	7	1	2	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1
-	2	-	-	4	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	1	-
-	1	1	-	4	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-
-	4	23	-	6	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1
-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
-	2	3	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
-	19	652	-	27	7	2	5	4	-	-	4	-	-	2	3	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	4	31	-	28	4	4	4	2	1	3	2	3	1	1	1	2
-	1	-	-	5	-	-	1	1	-	-	-	1	1	-	1	-

## 建物用途別火災発生状況

(令和4年中)

建築物用途	火 災 件 数	焼 損 棟 数				焼失面積 (㎡)	死者 (人)	負傷者 (人)	損 害 額 (千円)
		全焼	半焼	部分焼	ぼや				
住宅	23	4	3	4	15	389	1	6	38,662
併用住宅	1	-	-	-	1	-	-	1	-
共同住宅	28	1	1	10	24	460	1	16	55,355
劇場	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公会堂	-	-	-	-	-	-	-	-	-
キャバレー	-	-	-	-	-	-	-	-	-
遊技場	-	-	-	-	-	-	-	-	-
料理店	-	-	-	-	-	-	-	-	-
飲食店	1	-	-	-	1	-	-	-	-
物品販売店舗	1	-	-	-	1	-	-	-	110
旅館	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-
社会福祉施設	2	-	-	-	2	-	-	1	3
幼稚園	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学校	3	-	-	-	3	-	-	-	39
図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特殊浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公衆浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-
停車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神社・寺院 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工場	13	2	-	2	11	133	-	1	13,585
スタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駐車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倉庫	4	4	-	2	1	617	-	-	10,099
事務所	-	-	-	-	-	-	-	-	-
複合用途(特定)	8	-	-	3	6	178	-	3	4,125
複合用途(非特定)	2	-	-	-	2	-	-	1	174
地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-
準地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-
文化財	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	6	11	1	1	3	809	-	1	15,357
合計	92	22	5	22	70	2,586	2	30	137,509



# 建物用途別出火原因

(令和4年中)

区 分	総計	住宅	併用住宅	共同住宅	公会堂	飲食店	物品販売店舗	旅館	病院	学校	社会福祉施設	工場	倉庫	事務所	複合用途(特)	複合用途(非特)	その他
火災件数	92	23	1	28	-	1	1	-	-	3	2	13	4	-	8	2	6
たばこ	16	3	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-
こんろ	9	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風呂かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
炉	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
焼却炉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ストーブ	6	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
こたつ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ボイラー	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
煙突・煙道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排気管	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
電気機器	8	3	-	2	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
電気装置	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
電灯・電話等の配線	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
内燃機関	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
配線器具	7	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	1
火あそび	2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
マッチ・ライター	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
たき火	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
溶接機・切断機	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
灯 火	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
衝突の火花	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
取 灰	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
火 入 れ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
放 火	5	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
放火の疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他	23	6	-	4	-	1	-	-	-	1	-	7	2	-	1	-	1
不 明	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-

## 令和4年中の主な火災

整理番号	出火月	火災種別	火元用途	り災世帯 (世帯)	り災人員 (人)	死者数 (人)	負傷者数 (人)	焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)
1	2月	建物	共同住宅	1	1	1	-	0	28
2	3月	建物	共同住宅	12	20	-	-	110	38,929
3	9月	建物	住宅	1	1	1	-	70	13,067
4	10月	その他	-	-	-	1	-	-	1
5	10月	建物	共同住宅	1	3	-	3	55	364
6	11月	建物	共同住宅	6	10	-	3	45	2,515

主な火災とは

- 1 死者1人以上発生したもの
- 2 負傷者が3人以上発生したもの
- 3 建物焼損面積1,000㎡以上のもの
- 4 損害額3,000万円以上のもの

防火対象物の地区別・署別・中高層建築物の状況

(令和5.4.1)

地区別		階層		11階以上	地下1階	地下2階以上
		3～10階	地区別計			
<b>合計</b>		<b>8,580</b>	<b>8,341</b>	<b>239</b>	<b>1,174</b>	<b>57</b>
緑区	小計	1,485	1,450	35	218	19
	橋本	1,057	1,024	33	108	10
	大沢	185	183	2	20	1
	城山	94	94	-	16	3
	津久井	71	71	-	27	3
	相模湖	35	35	-	16	0
	藤野	43	43	-	31	2
中央区	小計	3,623	3,511	112	483	15
	小山	318	292	26	47	1
	横山	196	196	0	13	0
	清新	624	597	27	102	4
	中央	824	796	28	108	7
	星が丘	269	267	2	42	1
	光が丘	103	103	0	15	0
	大野北	868	847	21	105	1
	上溝	223	217	6	28	0
田名	198	196	2	23	1	
南区	小計	3,472	3,380	92	473	23
	大野中	493	484	9	63	5
	大野南	1,217	1,149	68	179	10
	麻溝	138	137	1	35	2
	新磯	24	24	0	6	1
	相模台	617	612	5	65	2
	相武台	346	346	0	25	1
東林	637	628	9	100	2	
署別		階層		11階以上	地下1階	地下2階以上
署別計		3～10階	地区別計			
<b>合計</b>		<b>8,580</b>	<b>8,341</b>	<b>239</b>	<b>1,174</b>	<b>57</b>
相模原署	小計	3,623	3,511	112	483	15
	本署	1,659	1,578	81	240	10
	田名分署	199	197	2	23	1
	淵野辺分署	839	818	21	101	1
	緑が丘分署	517	515	2	71	3
	上溝分署	409	403	6	48	0
南署	小計	3,472	3,380	92	473	23
	本署	917	882	35	131	6
	麻溝台分署	336	335	1	46	0
	新磯分署	117	117	0	23	3
	東林分署	531	524	7	82	2
	大沼分署	419	410	9	53	4
	相武台分署	489	487	2	43	2
上鶴間分署	663	625	38	95	6	
北署	小計	1,336	1,301	35	144	14
	本署	668	643	25	79	7
	大沢分署	185	183	2	20	1
	相原分署	389	381	8	29	3
	城山分署	94	94	0	16	3
津久井署	小計	149	149	0	74	5
	本署	72	72	0	29	3
	藤野分署	45	45	0	31	2
	青根分署	3	3	0	1	0
	鳥屋出張所	29	29	0	13	0

# 防火対象物の防火管理者状況

(令和5.4.1)

区 分		消 設 防 法 用 第 対 1 象 7 備 物 条 等 数	防 任 火 対 管 第 理 象 者 物 条 選 数	防 選 火 任 管 実 理 者 数	防 選 火 任 管 の 理 割 者 合 (%)
■■■■ は特定用途防火対象物					
合 計		21,670	4,437	3,877	87.4
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場	10	4	4	100.0
	ロ 公会堂、集会場	68	55	53	96.4
2	イ キャバレー、カフェ、ナイトクラブの類	-	-	-	-
	ロ 遊技場、ダンスホール	37	27	24	88.9
	ハ 性風俗関連特殊営業	-	-	-	-
	ニ カラオケ等	11	9	9	100.0
3	イ 待合、料理店の類	2	2	2	100.0
	ロ 飲食店	553	222	204	91.9
4	百貨店、マーケット	606	430	398	92.6
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所	327	70	68	97.1
	ロ 寄宿舍、下宿、共同住宅	11,037	1,039	951	91.5
6	イ 病院、診療所、助産所	224	61	61	100.0
	ロ 老人短期入所施設等	299	253	234	92.5
	ハ 老人デイサービスセンター等	362	192	182	94.8
	ニ 幼稚園、特別支援学校	75	48	48	100.0
7	小、中、高等学校、大学、各種学校	543	144	141	97.9
8	図書館、博物館、美術館	12	9	9	100.0
9	イ 蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場	6	5	5	100.0
	ロ イに掲げるもの以外の公衆浴場	4	2	2	100.0
10	車両の停車場、船舶、航空機の発着場(旅客の乗降又は待合いの用に供する建築物)	10	-	-	-
11	神社、寺院、教会の類	106	57	52	91.2
12	イ 工場、作業場	2,033	149	145	97.3
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ	2	-	-	-
13	イ 自動車車庫、駐車場	50	1	1	100.0
	ロ 飛行機等の格納庫	-	-	-	-
14	倉庫	883	39	32	82.1
15	前各号に該当しない事業場	1,138	335	304	90.7
16	イ 特定用途部分を含む防火対象物	1,998	1,058	754	71.3
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	1,267	224	192	85.7
16の2	地下街	-	-	-	-
16の3	準地下街	-	-	-	-
17	重要文化財、重要民俗資料、史跡、重要美術品等の建造物	6	2	2	100.0
18	アーケード	1	-	-	-
19	市町村長の指定する山林	-	-	-	-
20	総務省令で定める舟車	-	-	-	-

# 防火対象物の中高層別状況

(令和5.4.1)

区分	中高層別							地下 1階	地下 2階	地下 3階 以上	
	計	3 ~ 10階	11 階	12 階	13 階	14 階	15 階 以上				
■■■■	・・・は特定用途防火対象物										
<b>合 計</b>	<b>8,580</b>	<b>8,341</b>	<b>63</b>	<b>36</b>	<b>26</b>	<b>63</b>	<b>51</b>	<b>1,174</b>	<b>51</b>	<b>6</b>	
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場	3	3	-	-	-	-	-	1	-	-
	ロ 公会堂、集会場	19	19	-	-	-	-	-	8	1	-
2	イ キャバレー、カフェ、ナイトクラブの類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ 遊技場、ダンスホール	16	16	-	-	-	-	-	3	1	-
	ハ 性風俗関連特殊営業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ニ カラオケ等	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-
3	イ 待合、料理店の類	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ 飲食店	32	32	-	-	-	-	-	13	1	-
4	百貨店、マーケット	46	46	-	-	-	-	-	19	1	-
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所	52	49	1	-	-	2	-	17	1	-
	ロ 寄宿舎、下宿、共同住宅	4,829	4,639	49	28	21	52	40	440	21	-
6	イ 病院、診療所、助産所	86	85	-	-	-	1	-	22	-	-
	ロ 老人短期入所施設等	110	110	-	-	-	-	-	14	-	-
	ハ 老人デイサービスセンター等	61	61	-	-	-	-	-	12	-	-
	ニ 幼稚園、特別支援学校	15	15	-	-	-	-	-	6	-	-
7	小、中、高等学校、大学、各種学校	273	273	-	-	-	-	-	41	1	-
8	図書館、博物館、美術館	2	2	-	-	-	-	-	2	2	-
9	イ 蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	ロ イに掲げるもの以外の公衆浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	車両の停車場、船舶、航空機の発着場 (旅客の乗降又は待合いの用に供する建築物)	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
11	神社、寺院、教会の類	14	14	-	-	-	-	-	9	-	-
12	イ 工場、作業場	336	336	-	-	-	-	-	42	1	-
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	イ 自動車車庫、駐車場	8	8	-	-	-	-	-	1	-	-
	ロ 飛行機等の格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	倉庫	103	103	-	-	-	-	-	6	-	-
15	前各号に該当しない事業場	398	398	-	-	-	-	-	114	7	2
16	イ 特定用途部分を含む防火対象物	1,254	1,223	5	5	4	7	10	278	12	2
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	918	904	8	3	1	1	1	125	2	2
16の2	地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16の3	準地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	重要文化財、重要民俗資料、史跡、重要 美術品等の建造物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	アーケード	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	市町村長の指定する山林	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	総務省令で定める舟車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

署別・防火対象物別中高層建築物の状況

区 分	対 象 物 合 計	相 模 原 署					
		本 署	田 名 分 署	淵 野 辺 分 署	緑 が 丘 分 署	上 溝 分 署	
■■■■ は特定用途防火対象物							
合 計	8,580	1,659	199	839	517	409	
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場	3	-	-	-	1	1
	ロ 公会堂、集会場	19	4	-	2	-	-
2	イ キャバレー、カフェ、ナイトクラブの類	-	-	-	-	-	-
	ロ 遊技場、ダンスホール	16	3	-	4	-	-
	ハ 性風俗関連特殊営業	-	-	-	-	-	-
	ニ カラオケ等	3	1	-	-	-	-
3	イ 待合、料理店の類	1	-	-	-	-	-
	ロ 飲食店	32	8	-	-	2	2
4	百貨店、マーケット	46	13	-	3	2	4
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所	52	14	-	7	1	3
	ロ 寄宿舎、下宿、共同住宅	4,829	894	61	500	244	233
6	イ 病院、診療所、助産所	86	13	3	6	2	4
	ロ 老人短期入所施設等	110	19	4	5	5	11
	ハ 老人デイサービスセンター等	61	9	1	5	9	6
	ニ 幼稚園、特別支援学校	15	2	-	2	1	-
7	小、中、高等学校、大学、各種学校	273	15	10	30	21	16
8	図書館、博物館、美術館	2	-	-	-	1	-
9	イ 蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場	-	-	-	-	-	-
	ロ イに掲げるもの以外の公衆浴場	-	-	-	-	-	-
10	車両の停車場、船舶、航空機の発着場 (旅客の乗降又は待合いの用に供する建築物)	1	1	-	-	-	-
11	神社、寺院、教会の類	14	3	-	1	1	2
12	イ 工場、作業場	336	68	59	24	1	9
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ	-	-	-	-	-	-
13	イ 自動車車庫、駐車場	8	3	-	1	-	-
	ロ 飛行機等の格納庫	-	-	-	-	-	-
14	倉庫	103	20	20	5	15	11
15	前各号に該当しない事業場	398	115	13	24	36	16
16	イ 特定用途部分を含む複合用途防火対象物	1,254	269	9	127	99	49
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	918	185	19	93	76	42
16の2	地下街	-	-	-	-	-	-
16の3	準地下街	-	-	-	-	-	-
17	重要文化財、重要民俗資料、史跡、重要美術品等の建造物	-	-	-	-	-	-
18	アーケード	-	-	-	-	-	-
19	市町村長の指定する山林	-	-	-	-	-	-
20	総務省令で定める舟車	-	-	-	-	-	-

本署	南署						北署				津久井署			
	麻溝台分署	新磯分署	東林分署	大沼分署	相武台分署	上鶴間分署	本署	大沢分署	相原分署	城山分署	本署	藤野分署	青根分署	鳥屋出張所
917	336	117	531	419	489	663	668	185	389	94	72	45	3	29
-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	4	1	-	2	-	1	1	-	2	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	-	-	2	2	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
4	-	1	5	-	-	3	5	-	1	-	1	-	-	-
3	1	1	2	8	1	4	2	-	1	-	1	-	-	-
-	2	1	-	1	-	10	4	2	-	-	1	6	-	-
576	167	47	307	234	368	426	392	129	187	48	12	4	-	-
7	13	3	5	7	2	4	4	3	4	2	4	-	-	-
9	2	11	2	7	5	6	2	5	4	3	4	4	1	1
6	3	1	-	2	2	6	5	-	3	-	1	1	1	-
-	1	1	2	1	2	-	-	2	-	-	1	-	-	-
34	44	6	10	8	10	13	6	13	8	9	9	3	-	8
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	-	1	-	-	1	2	-	-	-	2	-	-	-	-
-	27	4	-	19	-	3	11	8	79	5	5	6	-	8
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	4	2	-	5	-	5	2	1	7	-	3	-	-	2
27	8	12	9	25	7	21	30	4	27	8	9	5	-	2
167	36	17	108	56	52	80	116	13	25	8	12	9	1	1
78	27	8	79	39	37	79	85	4	40	8	9	4	-	6
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

# 署別・種別対象物数

(令和5.4.1)

署 別	消設（ 防置法 用対第 設象1 備物7 等数） 条	定 期 点 検 1 号	定 期 点 検 2 号	1	1	2	2	3	3	
				種 A	種 B	種 A	種 B	種 A	種 B	
<b>合 計</b>	<b>21,670</b>	<b>546</b>	<b>176</b>	<b>1,992</b>	<b>427</b>	<b>3,644</b>	<b>396</b>	<b>3,369</b>	<b>11,120</b>	
相 模 原 署	小 計	8,645	142	77	789	177	1,561	171	1,512	4,216
	本 署	3,206	63	43	308	43	683	76	565	1,425
	田名分署	1,161	10	4	68	22	201	12	275	569
	淵野辺分署	1,800	29	8	155	32	365	16	255	940
	緑が丘分署	1,272	22	11	148	45	155	38	178	675
	上溝分署	1,206	18	11	110	35	157	29	239	607
南 署	小 計	7,759	176	71	578	109	1,401	105	958	4,361
	本 署	1,779	29	26	129	26	317	22	197	1,033
	麻溝台分署	933	41	11	55	13	241	10	135	427
	新磯分署	698	17	3	72	8	40	18	78	462
	東林分署	1,075	11	17	70	21	134	7	131	684
	大沼分署	1,082	42	3	95	16	230	12	132	552
	相武台分署	846	7	6	60	6	202	9	98	458
	上鶴間分署	1,346	29	5	97	19	237	27	187	745
北 署	小 計	3,881	85	15	266	107	545	97	702	2,064
	本 署	1,234	20	11	105	32	193	36	210	627
	大沢分署	745	22	3	41	25	97	28	143	386
	相原分署	1,340	30	0	74	24	186	18	292	716
	城山分署	562	13	1	46	26	69	15	57	335
津久井 署	小 計	1,385	143	13	359	34	137	23	197	479
	本 署	641	131	0	97	21	61	13	89	229
	藤野分署	282	6	13	77	6	29	5	52	94
	青根分署	162	2	0	148	1	0	0	6	5
	烏屋出張所	300	4	0	37	6	47	5	50	151



## 防火対象物査察実施状況

区 分		査 察 実 施 数	指 防 導 火 の 対 象 物 数	指 防 導 火 の 対 象 物 数	
<input type="checkbox"/> ...は特定用途防火対象物					
<b>合 計</b>		<b>2,941</b>	<b>1,474</b>	<b>1,467</b>	
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	2	1	1
	ロ	公会堂、集会場	26	7	19
2	イ	キャバレー、カフェ、ナイトクラブの類			
	ロ	遊技場、ダンスホール	8	7	1
	ハ	性風俗関連特殊営業			
3	イ	待合、料理店の類			
	ロ	飲食店	117	90	27
4		百貨店、マーケット	95	65	30
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	109	30	79
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅	964	465	499
6	イ	病院、診療所、助産所	67	46	21
	ロ	老人短期入所施設等	66	48	18
	ハ	老人デイサービスセンター等	60	35	25
	ニ	幼稚園、盲学校、聾学校又は養護学校	10	3	7
7		小、中、高等学校、大学、各種学校	97	32	65
8		図書館、博物館、美術館	1		1
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場			
	ロ	イに掲げるもの以外の公衆浴場			
10		車両の停車場、船舶、航空機の発着場(旅客の乗降又は待合いの用に供する建築物)	8	1	7
11		神社、寺院、教会の類	21	13	8
12	イ	工場、作業場	384	147	237
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫、駐車場	7	4	3
	ロ	飛行機等の格納庫			
14		倉庫	103	59	44
15		前各号に該当しない事業場	159	71	88
16	イ	特定用途部分を含む複合用途防火対象物	479	261	218
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	154	88	66
16の2		地下街			
16の3		準地下街			
17		重要文化財、重要民俗資料、史跡、重要美術品等の建造物	4	1	3
18		アーケード			
19		市町村長の指定する山林			
20		総務省令で定める舟車			

指導内容							
指導 総 数	建 防 火 築 的 物 措 の 置	消 防 用 設 備 等	火 気 使 用 設 備	危 険 物 関 係	電 気 関 係	防 火 管 理	住 宅 用 火 災 警 報 器
2,930	31	1,558	26	63	12	1,223	17
2	1	1					
18		4				14	
23		8				15	
179		96		1		82	
162	1	53	1	4	2	101	
60	2	21	1	3		27	6
630		500				123	7
52		29	1	1	3	18	
122	6	49	10	1	4	52	
71	4	38	1			28	
3						3	
33		2		1		30	
1		1					
23	1	17				5	
255	3	160	7	36	1	48	
5		4				1	
109	2	87		3		17	
102	1	61		8		32	
927	9	320	5	4	2	585	2
152	1	106		1		42	2
1		1					

# 建築物消防同意事務取扱状況

(令和4年度)

区 分		受 付 件 数					同 意 件 数					不 同 意 件 数			
		計	新築	増築	改築	その他	計	新築	増築	改築	その他	新築	増築	改築	その他
計		2,335	2,278	44	1	12	2,339	2,286	42	1	10	-	-	-	-
1	イ	映画館等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	集会場等	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
2	イ	キャバレー等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	遊技場等	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	ハ	風俗関連特殊営業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ニ	カラオケ等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	イ	料理店等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	飲食店等	6	5	1	-	6	5	1	-	-	-	-	-	-
4		百貨店、マーケット等	15	11	1	-	3	15	11	1	-	3	-	-	-
5	イ	旅館等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	共同住宅等	165	162	3	-	-	166	164	2	-	-	-	-	-
6	イ	病院等	9	7	2	-	-	8	6	2	-	-	-	-	-
	ロ	老人短期入所施設等	21	21	-	-	-	22	22	-	-	-	-	-	-
	ハ	老人デイサービスセンター等	15	10	1	-	4	13	10	1	-	2	-	-	-
	ニ	幼稚園等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7		小中高大学校等	6	-	6	-	-	6	-	6	-	-	-	-	-
8		図書館等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	イ	蒸・熱気浴場等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	公衆浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10		車両の停車場等	2	2	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-
11		神社、寺院等	1	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-
12	イ	工場・作業場	11	7	4	-	-	12	8	4	-	-	-	-	-
	ロ	スタジオ等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	イ	車庫、駐車場等	6	5	1	-	-	4	4	-	-	-	-	-	-
	ロ	格納庫等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14		倉庫	31	24	6	-	1	30	23	6	-	1	-	-	-
15		その他の事業場	94	87	7	-	-	100	93	7	-	-	-	-	-
16	イ	特定複合用途	24	18	2	-	4	23	17	2	-	4	-	-	-
	ロ	その他 "	15	15	-	-	-	14	14	-	-	-	-	-	-
16の2		地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16の3		準地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17		文化財	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18		アーケード	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令別表以外		危険物施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		工作物等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		専用住宅	1,913	1,903	10	-	-	1,915	1,905	10	-	-	-	-	-
		併用住宅	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		エレベーター等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

# 火災予防上必要な各種申請・届出・願・報告書

(令和4年度)

	計	予防課	危険物保安課	相模原署	南 署	北 署	津久井署	
消防法及び火災予防条例等に基づく各種の申請、届出等の件数	23,393	2,590	6	8,436	6,653	4,008	1,700	
消防同意受付	2,335	2,335	-	-	-	-	-	
防火管理者選任（解任）届	1,247	-	-	482	425	267	73	
統括防火管理者選任（解任）届	32	-	-	10	14	8	-	
消防計画作成（変更）届	1,376	-	-	509	461	313	93	
全体についての消防計画作成（変更）届	39	-	-	11	18	10	-	
表示マーク交付（更新）申請	0	-	-	-	-	-	-	
消防法令適合通知書交付申請	8	-	-	1	-	1	6	
防火対象物定期点検報告	446	-	-	123	166	149	8	
防火対象物定期点検特例申請	85	-	-	24	27	30	4	
消防用設備等着工届	559	56	-	204	193	82	24	
消防用設備等設置届	1,552	74	-	593	543	256	86	
消防用設備等工事計画	212	23	-	68	66	35	20	
消防用設備等点検報告	6,979	-	-	2,812	2,378	1,346	443	
消防用設備等検査済証交付	124	16	-	48	28	19	13	
消防用設備等特例適用承認申請	142	1	-	12	6	7	116	
禁止行為解除承認申請	44	-	-	6	34	3	1	
火災予防業務計画	1	-	-	1	-	-	-	
管理権原者変更届	-	-	-	-	-	-	-	
防火対象物使用開始届	718	14	-	267	252	126	59	
火を使用する設備等の設置（変更）届	87	1	-	37	15	12	22	
急速充電・発電・変電・蓄電池等・ネオン管灯設備設置届	144	27	-	56	22	15	24	
水素ガス気球設置届	-	-	-	-	-	-	-	
火煙発生届	587	-	-	126	112	163	186	
煙火消費届	56	-	6	19	9	14	8	
催物開催届	3	-	-	2	-	1	-	
水道断減水届	110	-	-	53	46	5	6	
道路工事・占用届	1,998	-	-	1,336	353	170	139	
露店等の開設届出	175	-	-	42	73	36	24	
少量危険物等（貯蔵・取扱）開始（廃止）届	138	5	-	60	14	33	26	
指定可燃物（貯蔵・取扱）開始（廃止）届	24	-	-	13	5	5	1	
指定洞道等届	-	-	-	-	-	-	-	
圧縮アセチレンガス等（貯蔵・取扱）開始（廃止）届	76	-	-	32	17	22	5	
罹災証明願	114	-	-	59	28	21	6	
防火管理講習資格証明申請	37	37	-	-	-	-	-	
防災管理講習資格証明申請	-	-	-	-	-	-	-	
消防訓練指導申請、消防訓練通報	3,605	-	-	1,366	1,222	736	281	
遠隔移報システム等受付	96	-	-	31	32	19	14	
防火相談	29	1	-	7	3	6	12	
意見書	-	-	-	-	-	-	-	
防災管理	防災管理管理者選任（解任）届	52	-	-	5	31	16	-
	統括防災管理者選任（解任）届	2	-	-	1	1	-	-
	消防計画作成（変更）届	54	-	-	6	31	17	-
	全体についての消防計画作成（変更）届	4	-	-	-	3	1	-
	自衛消防組織設置（変更）届	17	-	-	6	9	2	-
	防災管理点検結果報告	69	-	-	8	11	50	-
	防災管理点検報告特例認定申請	17	-	-	-	5	12	-

危険物施設の状況

(令和5.4.1)

地区別 区分	施設 区分	合計	製 造 所	貯 蔵 所									取 扱 所					
				小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給油取扱所		第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
													自 家 用	営 業 用				
合計		846	9	512	185	20	12	188	4	87	16	325	58	78	5	3	181	
緑区	小計	314	2	199	66	11	9	75	3	32	3	113	22	27	-	1	63	
	橋本	95	2	60	32	8	1	15	-	4	-	33	7	6	-	1	19	
	大沢	61	-	40	5	2	5	18	-	9	1	21	6	1	-	-	14	
	城山	39	-	24	8	-	1	9	1	4	1	15	1	5	-	-	9	
	津久井	71	-	46	15	1	1	14	2	12	1	25	4	9	-	-	12	
	相模湖	24	-	15	5	-	-	8	-	2	-	9	1	3	-	-	5	
	藤野	24	-	14	1	-	1	11	-	1	-	10	3	3	-	-	4	
中央区	小計	360	6	218	84	9	-	66	-	48	11	136	25	31	5	2	73	
	小山	51	1	32	20	1	-	7	-	3	1	18	3	1	-	2	12	
	横山	13	-	7	7	-	-	-	-	-	-	6	2	2	0	-	2	
	清新	39	1	17	8	-	-	5	-	1	3	21	1	6	3	-	11	
	中央	31	-	19	3	1	-	12	-	3	-	12	-	5	1	-	6	
	星が丘	12	-	7	-	-	-	2	-	5	-	5	-	3	-	-	2	
	光が丘	11	-	5	1	-	-	1	-	3	-	6	3	3	-	-	0	
	大野北	45	2	30	13	1	-	16	-	-	-	13	3	3	-	-	7	
	上溝	53	1	39	4	1	-	3	-	27	4	13	5	4	-	-	4	
南区	田名	105	1	62	28	5	-	20	-	6	3	42	8	4	1	-	29	
	小計	172	1	95	35	-	3	47	1	7	2	76	11	20	-	-	45	
	大野中	46	1	28	14	-	1	8	-	4	1	17	3	6	-	-	8	
	大野南	18	-	9	2	-	1	5	-	1	-	9	1	4	-	-	4	
	麻溝	50	-	31	8	-	1	21	1	-	-	19	6	2	-	-	11	
	新磯	8	-	4	-	-	-	3	-	1	-	4	-	2	-	-	2	
	相模台	38	-	16	7	-	-	8	-	1	-	22	-	3	-	-	19	
	相武台	2	-	0	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	1	
保安監督者等選任状況	東林	10	-	7	4	-	-	2	-	-	1	3	-	3	-	-	-	
	保安監督者	499	9	238	174	20	-	38	3	-	3	252	58	78	4	3	109	
	取扱者	347	-	274	11	-	12	150	1	87	13	73	-	-	1	-	72	
合計	846	9	512	185	20	12	188	4	87	16	325	58	78	5	3	181		
査察状況	対象数	846	9	512	185	20	12	188	4	87	16	325	58	78	5	3	181	
	査察件数	387	3	251	65	9	3	81	1	84	8	133	26	38	2	-	67	
	実施率	46%	33%	49%	35%	45%	25%	43%	25%	97%	50%	41%	45%	49%	40%	0%	37%	
	指導施設数	77	-	44	23	0	1	16	0	3	1	33	5	15	1	0	12	
	指導内容	位置	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-
		構造	4	-	0	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	1
		設備	18	-	11	3	-	2	4	-	2	-	7	1	3	1	-	2
		管理	97	-	64	27	-	1	29	-	6	1	33	4	18	-	-	11
合計	119	-	75	30	0	3	33	0	8	1	44	5	24	1	0	14		

## 年度別危険物施設数

施設区分	年度	平成26年 4月1日	平成27年 4月1日	平成28年 4月1日	平成29年 4月1日	平成30年 4月1日	令和元年 4月1日	令和2年 4月1日	令和3年 4月1日	令和4年 4月1日	令和5年 4月1日
事業所数		541	532	521	513	501	493	482	475	466	462
合計		979	965	939	916	898	884	872	864	854	846
製造所		10	10	10	9	9	9	9	9	9	9
屋内貯蔵所		188	189	186	188	191	193	192	192	190	185
屋外タンク貯蔵所		28	27	19	19	20	19	19	20	20	20
屋内タンク貯蔵所		14	14	14	14	13	13	13	11	11	12
地下タンク貯蔵所		237	233	227	212	206	199	196	194	191	188
簡易タンク貯蔵所		6	6	6	6	4	4	4	4	4	4
移動タンク貯蔵所		98	97	96	93	90	90	92	88	88	87
屋外貯蔵所		23	23	21	19	18	18	15	15	15	16
給油取扱所		152	149	147	146	142	142	141	139	136	136
第1種販売取扱所		8	8	8	7	6	6	6	6	5	5
第2種販売取扱所		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
一般取扱所		212	206	202	200	196	188	182	183	182	181

## 署別・類別貯蔵取扱量

(令和5.4.1)

類別区分		第1類 (kg)	第2類 (kg)	第3類 (kg)	第4類 (k)	第5類 (kg)	第6類 (kg)
合計		554,815	114,773	28	19,572	19,572,343	6,339
相模原署	小計	34,892	112,410	9	10,272	10,272,176	5,639
	本署	31,441	96,110	1	4,989	4,989,405	4,139
	田名分署	3,451	3,200	3	2,433	2,433,092	
	淵野辺分署		13,100	5	736	735,983	
	緑が丘分署				745	744,812	1,500
	上溝分署				1,369	1,368,884	
南署	小計	419	1,059	2	4,105	4,104,528	36
	本署				528	528,037	
	麻溝台分署	419	35	2	1,634	1,633,621	1
	新磯分署				609	608,593	
	東林分署		1,024		236	236,411	
	大沼分署				792	791,925	35
	相武台分署				19	19,200	
	上鶴間分署				287	286,741	
北署	小計	519,179	1,179	17	3,689	3,689,312	664
	本署	6,900	1,164		1,493	1,492,923	581
	大沢分署				346	346,039	
	相原分署	512,279	15	17	1,242	1,242,328	83
	城山分署				608	608,023	
津久井署	小計	325	125	0	1,506	1506326.4	0
	本署				794	794,223	
	藤野分署				305	304,694	
	青根分署				44	44,000	
	鳥屋出張所	325	125		363	363,409	

☆ 気象観測表 ☆ 消防指令センター観測分

(令和4年中)

月 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均	極値
平均風速	最大 (m/s)	9.0	11.2	16.4	13.8	11.1	12.4	9.8	12.3	14.8	11.5	10.5	8.2	11.8	16.4
	風 向	北	西	南	南	南	南	南	南	南	南	南	西		
	起 日	21日	21日	26日	26日	14日	24日	27日	11日	20日	11日	29日	14日		
	平均 (m/s)	2.6	2.8	3.2	3.2	3.1	3.0	3.3	3.2	2.9	2.8	2.7	2.7	2.9	3.3
最 多 風 向		西北西	西北西	南	南	南	南	南	南	北	西北西	西北西	西北西		
最大瞬間風速	風速 (m/s)	15.9	19.0	25.1	24.3	19.8	21.9	17.0	18.1	25.8	17.1	20.7	16.7	20.1	25.8
	風 向	北	西南西	南	南南東	南東	南	南	南	南	南	南	西南西		
	起 日	4日	27日	26日	27日	27日	24日	22日	11日	20日	11日	29日	23日		
気 温	平均 (℃)	4.5	5.0	10.8	15.2	18.7	23.0	27.2	27.5	24.5	17.2	14.5	7.5	16.3	27.5
	最高 (℃)	12.9	16.8	24.0	27.4	28.9	36.8	36.7	37.6	32.1	30.0	25.7	16.7	27.1	37.6
	起 日	9日	27日	14日	23日	30日	30日	1日	2日	14日	2日	3日	4日		
	最低 (℃)	-3.2	-2.4	1.3	2.3	9.9	14.4	22.0	19.4	16.3	7.9	7.5	-0.6	7.9	-3.2
湿 度	平均 (%)	46.2	46.5	57.3	67.6	66.6	71.8	74.5	74.2	74.5	69.5	64.8	52.9	63.9	74.5
	最小 (%)	12.4	7.2	7.9	21.7	20.2	16.8	37.1	36.7	32.0	25.8	23.4	10.3	21.0	7.2
	起 日	21日	17日	6日	1日	8日	1日	20日	2日	28日	2日	3日	23日		
気 圧	平均 (hPa)	999.8	1000.7	999.4	1001.3	997.9	995.3	993.2	994.3	999.4	1004.3	1003.4	999.5	999.0	1004.3
	最高 (hPa)	1010.5	1011.4	1016.6	1015.4	1008.8	1004.3	1003.3	1005.5	1008.1	1013.6	1013.3	1012.5	1010.3	1016.6
	起 日	22日	18日	29日	3日	5日	14日	29日	29日	22日	21日	11日	3日		
	最低 (hPa)	980.9	983.3	977.1	985.7	981.4	978.9	982.8	986.0	979.8	991.4	988.7	972.2	982.4	972.2
起 日	11日	20日	19日	29日	27日	7日	22日	18日	20日	11日	14日	22日			
降 水 日 数		2	5	9	16	11	12	12	11	12	12	8	7		合計 117
雲 量 平 均		3.7	3.6	6.3	6.8	7	7.2	6.7	7.1	7.6	6.5	5.3	4.4		

風向頻度 (%)	北	北北東	北東	東北東	東	東南東	南東	南南東	南	南南西	南西	西南西	西	西北西	北西	北北西	静穏
		11.7	7.8	5.5	2.6	2.1	2.2	2.4	6.3	15.3	2.0	1.2	1.6	4.7	13.0	9.5	10.3

- (参考) 1 データは相模原市消防局観測値  
 2 風向風速は地上高37mでの観測値  
 3 最多風向は、風向頻度の最大値  
 4 雲量平均は、3・6・9・12・15・18・21・24時の8回の平均を日平均値とし、算出

☆ 気象観測表 ☆ 津久井消防署観測分

(令和4年中)

月 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均	極値
平均風速	最大 (m/s)	8.5	8.0	8.0	6.9	4.8	7.0	4.5	5.1	5.2	4.5	6.1	7.4	6.3	8.5
	風 向	北北東	西	西北西	北北東	東南東	西南西	北東	北北東	南南西	北	西	西北西		
	起 日	21日	27日	6日	1日	30日	24日	28日	13日	20日	26日	13日	23日		
	平均 (m/s)	1.6	1.7	1.6	1.6	1.5	1.4	1.3	1.3	1.1	1.4	1.5	1.7	1.5	1.7
最 多 風 向		北西	北西	東南東	南東	東南東	東南東	東南東	東南東	北北西	北北西	北北西	北西		
最大瞬間風速	風速 (m/s)	15.2	16.2	17.5	14.1	13.5	17.5	9.8	11.1	19.8	9.9	13.0	14.5	14.3	19.8
	風 向	北北東	西	西北西	北	南南東	西南西	北	北	南西	北	西北西	西北西		
	起 日	21日	21日	6日	1日	27日	24日	28日	13日	20日	26日	13日	23日		
気 温	平均 (℃)	2.7	3.2	9.5	14.4	17.7	21.9	26.1	26.3	23.0	15.1	12.1	5.1	14.7	26.3
	最高 (℃)	13.2	15.1	23.2	27.4	29.0	36.8	36.6	38.2	32.5	30.5	24.6	15.8	26.9	38.2
	起 日	9日	27日	14日	27日	30日	29日	1日	2日	13日	4日	3日	4日		
	最低 (℃)	-5.5	-4.7	-2.8	-0.2	8.4	13.7	20.1	18.6	15.5	4.6	3.6	-4.2	5.6	-5.5
湿 度	起 日	1日	7日	7日	2日	3日	8日	9日	29日	22日	27日	17日	19日		
	平均 (%)	67.0	64.9	73.4	81.1	79.9	82.5	84.6	84.9	86.4	87.7	85.3	74.3	79.3	87.7
	最小 (%)	12.9	12.6	9.0	22.1	22.0	21.1	39.7	37.9	38.7	27.3	31.7	13.4	24.0	9.0
起 日	起 日	21日	17日	6日	10日	10日	1日	20日	2日	30日	2日	8日	23日		
	平均 (hPa)	993.0	993.9	992.6	994.5	991.2	988.7	986.7	987.8	992.8	997.6	996.6	992.5	992.3	997.6
	最高 (hPa)	1003.5	1004.8	1009.9	1008.7	1002.0	997.5	996.7	998.8	1001.3	1006.8	1006.8	1005.3	1003.5	1009.9
気 圧	起 日	22日	18日	29日	3日	5日	14日	29日	29日	22日	21日	11日	3日		
	最低 (hPa)	974.5	976.4	970.8	979.3	974.9	972.6	976.2	979.5	972.4	984.3	982.3	965.6	975.7	965.6
	起 日	11日	20日	19日	29日	27日	7日	22日	18日	20日	10日	14日	22日		
降 水 日 数		2	5	6	15	11	13	14	12	13	11	7	6		合計 115

風向頻度 (%)	北	北北東	北東	東北東	東	東南東	南東	南南東	南	南南西	南西	西南西	西	西北西	北西	北北西	静穏
		8.8	2.8	2.0	2.1	2.5	12.2	10.9	3.5	2.5	2.3	3.1	3.7	4.1	8.5	14.7	14.0

- (参考) 1 データは津久井消防署観測値  
 2 風向風速は地上高13mでの観測値  
 3 最多風向は、風向頻度の最大値



☆降雨状況☆

(令和4年中)

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年降水量	10分間最高	起時	1時間最高	起時	1日最高	起日
相模原(mm)	16.0	53.5	92.5	261.0	131.0	136.5	170.0	152.0	349.5	131.0	89.5	55.0	1637.5	9.5	9月18日	25.5	9月23日	95.0	9月18日
津久井(mm)	12.5	47.0	80.5	212.5	156.5	130.0	125.0	123.5	301.5	105.5	70.0	39.5	1404.0	11.5	9月18日	31.5	5月27日	93.0	5月27日
田名(mm)	16.0	58.0	88.0	262.5	162.0	147.0	185.5	157.5	393.0	129.5	87.5	52.0	1738.5	9.0	9月18日	29.5	7月15日	90.0	9月18日
淵野辺(mm)	16.0	58.5	91.0	243.5	121.5	121.0	217.5	140.0	283.0	131.5	83.5	57.0	1564.0	8.5	7月15日	26.5	9月18日	92.0	7月15日
緑が丘(mm)	15.0	46.5	87.5	231.0	124.5	128.5	224.5	152.0	292.5	118.0	78.0	50.0	1548.0	10.5	7月15日	38.0	7月15日	106.5	7月15日
上溝(mm)	13.0	44.0	81.5	222.5	116.0	116.0	187.0	145.0	276.0	110.5	78.0	44.5	1434.0	10.5	7月15日	37.0	7月15日	95.0	7月15日
南(mm)	18.0	57.0	114.5	253.0	130.5	109.0	197.5	164.0	259.0	122.0	82.5	54.5	1561.5	10.5	8月18日	26.5	8月18日	75.5	7月15日
新磯(mm)	17.0	58.0	110.0	243.0	130.0	104.0	248.0	148.5	284.5	118.5	79.0	50.5	1591.0	11.0	7月15日	39.0	7月15日	110.5	7月15日
東林(mm)	20.0	63.5	113.5	255.5	140.0	100.5	174.5	152.5	260.5	122.5	89.0	57.5	1549.5	9.5	8月18日	32.0	7月15日	74.5	7月15日
大沼(mm)	19.5	60.5	102.5	264.0	126.0	139.0	204.5	132.5	264.5	139.5	84.5	59.5	1596.5	10.0	7月15日	30.0	7月15日	98.5	7月15日
相武台(mm)	19.0	66.0	114.5	252.5	127.5	110.0	227.0	152.0	273.5	128.5	88.0	58.0	1616.5	12.0	7月15日	38.5	7月15日	104.0	7月15日
北(mm)	17.0	55.5	79.5	208.5	152.0	108.5	148.5	139.5	420.0	101.5	65.5	43.5	1539.5	14.5	5月27日	30.5	8月13日	93.5	9月24日
大沢(mm)	14.0	44.5	73.5	222.0	146.0	152.5	160.0	147.5	374.5	99.5	66.5	43.5	1544.0	15.5	6月11日	39.0	6月11日	82.0	8月13日
相原(mm)	17.5	61.0	90.5	250.5	175.5	135.0	150.5	137.5	420.5	117.0	78.0	50.5	1684.0	19.0	9月19日	34.5	5月27日	105.5	5月27日
城山(mm)	14.0	49.5	77.5	214.5	151.0	133.5	144.5	135.5	423.0	102.0	67.5	41.5	1554.0	17.0	9月18日	31.0	5月27日	111.0	9月18日
派出所(mm)	14.0	53.5	79.0	257.5	180.5	164.5	159.5	150.0	349.5	121.0	83.0	47.5	1659.5	12.5	9月18日	28.5	5月27日	103.5	5月27日
藤野(mm)	17.5	53.0	78.5	184.0	122.0	123.5	81.5	124.5	241.0	116.0	73.0	38.5	1253.0	7.5	9月18日	21.0	5月27日	75.5	9月18日
鳥屋(mm)	16.5	52.0	77.5	248.0	174.0	189.5	168.5	174.5	379.0	124.0	90.5	40.0	1734.0	15.5	9月18日	31.0	5月27日	110.0	9月18日
青根(mm)	25.5	61.0	81.5	244.0	134.0	157.5	140.5	129.5	425.5	119.0	100.0	45.0	1663.0	12.5	9月19日	34.5	9月18日	142.5	9月18日

令和4年中の気象観測極値（過去最高値、最低値は昭和34年以降の記録。）

雨量計は市内19箇所に設置し、その中での極値を表したもの。

※城山、派出所、藤野、鳥屋、青根の5地点は、平成28年1月25日に雨量計を新たに設置した。

- ・1日の最大降水量 9月18日 142.5mm（青根分署） 【過去最高 令和元年10月12日 713.0mm（鳥屋出張所）】
- ・1時間の最大降水量 7月15日15時～16時 39.0mm（新磯分署） 【過去最高 昭和59年7月27日 90.0mm（消防指令センター）】
- 6月11日23時～0時 39.0mm（大沢分署）

気象観測システムは消防指令センターと津久井消防署の2箇所に設置し、その中での極値を表したもの。

- ・最高気温 8月2日 38.2℃（津久井消防署） 【過去最高 平成8年8月15日 39.6℃（消防指令センター）】
- ・最低気温 1月1日 -5.5℃（津久井消防署） 【過去最低 昭和35年1月25日 -9.3℃（消防指令センター）】
- ・最深積雪 2月10日 5cm（津久井消防署） 【過去最高 平成26年2月15日 56cm（消防指令センター）】

※最深積雪値観測場所：消防指令センター又は津久井消防署

☆気象通報状況調べ☆ 相模原市消防局管轄弁表分

(令和4年中)

種別 月	警 報					注 意 報															合 計
	大 雨	大 雪	洪 水	波 浪	暴 風	風 雪	強 風	大 雨	大 雪	濃 霧	雷	乾 燥	霜	波 浪	洪 水	高 潮	低 温	着 氷	着 雪	津 波	
計	45	0	0	0	0	0	27	102	8	22	326	140	2	0	67	0	21	0	7	0	767
1									2	1	2	63					12		2		82
2									4		2	39					9		4		58
3									2	1	8	13							1		25
4								11		9	19		2		4						45
5								7		1	28				6						42
6								2		1	27										30
7	15							22		1	76				11						125
8	3						21	26		3	80				11						144
9	27						5	28			66				33						159
10								6		2	9				2						19
11							1			3	9										13
12												25									25

## 旧分署等財産一覧

上記以外の財産については、随時更新する。

NO	名称	所在地	構造等 面積（敷地面積）	建築年月等	備考
1	旧津久井消防署藤野分署	緑区日連 143 番 2	- ( 495.00 )	-	土地 のみ
2	旧津久井消防署青根出張所	緑区青根 1289 番 4 他	- ( 786.64 )	-	土地 のみ
3	水防防災倉庫	中央区淵野辺 4 丁目 954 番 38	鉄筋コンクリート 219 m <sup>2</sup> ( 260.69 ) 木造 14.58 m <sup>2</sup>	昭和 28 年 12 月 昭和 41 年 3 月	倉庫 2 棟
4	田名水防資材庫	中央区水郷田名 3 丁目 17 番 17	軽量鉄骨 36.66	昭和 63 年 3 月	
5	葉山島水防倉庫	緑区葉山島 字清水川原先	木造 33.95	昭和 42 年 4 月	
6	小倉水防倉庫	緑区小倉 525 番 1	軽量鉄骨		
7	旧南方面隊第 3 分団第 2 部	南区東林間 4 丁目 5770 番 44	鉄骨 41.92 ( 90.88 )	昭和 57 年 3 月	乾燥塔 あり
8	旧津久井方面隊第 6 分団第 2 部	緑区鳥屋 789 番 7	鉄骨 53.6	昭和 61 年 3 月	
9	旧津久井消防団第 8 分団第 3 部	緑区青根 1837 番 4	- ( 40.12 )	-	土地 のみ
10	旧津久井消防団第 8 分団第 4 部	緑区青根 1838 番地 2	木造 39.60	昭和 51 年 12 月	建物 のみ
11	旧藤野方面隊小淵分団第 2 部 ( 上小淵 )	緑区小淵 406 番 8	鉄骨 79.39 ( 52.63 )	昭和 61 年 4 月	
12	新戸地区消防器具詰所	緑区寸沢嵐 2391 番 1	木造 26	平成 9 年 3 月	
13	サイレン塔 ( 旧藤野町地内 )	緑区佐野川 2481 番	-	-	
14	サイレン塔 ( 旧藤野町地内 )	緑区牧野 6867 番 2	-	-	

## 総合防災訓練

### 令和4年度相模原市総合防災訓練

訓練内容	実施場所	実施日	訓練対象者
情報収集活動訓練、救出救助救助・消火訓練、航空機訓練等	<主会場> 相模総合補給廠一部返還地ほか	9月4日 (日)	指定した自主防災隊員、防災関係機関等(95機関)
避難誘導訓練、避難所体験訓練、初期消火訓練、災害体感訓練等	<地域会場> 緑区：中沢中、中央区：並木小、南区：谷口台小		自主防災隊等

## 個別訓練

### 1 職員非常参集訓練

訓練内容	実施日	訓練対象者
動員指令伝達訓練	令和4年4月25日	原則全職員
非常時登庁手段確認訓練	令和4年4月25日～6月3日	新所属への異動者、令和4年度新規採用職員など
避難所・風水害時避難場所・救護所開設手順確認訓練	令和4年4月25日～6月3日	特命担当員

### 2 職員初動対応訓練

訓練内容	実施日	訓練対象者
状況付与型の図上訓練や災害情報共有システムの操作訓練等 (地震災害、風水害、大雪災害、国民保護事案、新型インフルエンザ等の想定のうち、各局・区役所の実情に合わせて選定)	令和4年10月～12月	各局・区役所

### 3 風水害対策訓練

訓練内容	実施日	訓練対象者
境川洪水対策に関する講義、マイ・タイムラインの作成等	令和4年6月5日	境川流域の浸水想定区域内に所在する自治会(宮下、丸山)の自主防災隊要員及び要配慮者利用施設(5施設)の管理者等

### 4 孤立対策推進地区対応訓練

訓練内容	実施日	訓練対象者
藤野(名倉)地区の中山間地域において、交通、通信等が途絶し、集落が孤立した場合を想定した情報受伝達、避難誘導、救出・救助訓練等	令和5年2月5日	名倉地区の孤立対策推進地区に当たる自治会/単位自主防災隊(名倉、大刀、芝田、葛原、日向)の参加希望者及び同地区内の要配慮者利用施設(4施設)の管理者等

5 多数遺体収容施設設置運営訓練

訓練内容	実施日	実施場所	訓練対象者
遺体収容施設の設営、遺体の収容から引き渡しまでの業務内容の確認を行う運営訓練	令和5年2月9日	総合体育館	健康福祉局 相模原市医師会、 歯科医師会、警察 等

6 飲料水兼用貯水槽等取扱訓練

訓練内容	実施日	実施場所	訓練対象者
飲料水兼用貯水槽及び緊急遮断弁付き受水槽の取扱い訓練	令和5年1月16日	桜台小学校	特命担当員 避難所運営協議会

7 災害対策本部現地情報収集班（オートバイ隊）運営訓練

訓練内容	実施日	実施場所	訓練対象者
総合防災訓練(地域会場訓練含む)、令和元年東日本台風の被災現場と拠点となる施設確認、孤立対策地区対応訓練	令和4年8月4日(木) 令和4年8月31日(水) 令和4年9月4日(日) 令和5年2月5日(日)	相模総合補給廠一部返還地ほか	オートバイ隊隊員

## 自主防災組織の育成

単位自主防災隊の編成率 1

年度	自治会数	単位自主防災隊を編成している自治会数 (単位自主防災隊総数) 2	編成率(%)	自治会加入世帯数
30	592	586 (564)	99.0	173,362
R1	593	587 (565)	99.0	171,343
R2	589	585 (565)	99.3	168,654
R3	590	585 (561)	99.2	166,397
R4	589	585 (560)	99.3	164,273

1：自治会加入世帯数は年度当初、その他は年度末時点

2：複数の自治会によって編成されている単位自主防災隊がある

### 防災訓練等の実施状況

年度	自主防災訓練		防災指導員養成講習会		起震車	
	回数	参加者数	回数	参加人員数	回数	体験者数
30	287	24,880	1	91	201	14,403
R1	323	24,821	1	78	158	10,729
R2	74	4,106	0	0	39	1,172
R3	96	4,818	1	90	49	2,819
R4	194	14,082	1	78	94	5,952

1：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止

## 避難場所・防災備蓄倉庫の整備

広域避難場所

(令和5.4.1)

広域避難場所名称		総面積 (㎡)	収容可能 人員(人)	広域避難場所対応倉庫設置場所
1	相模原北公園	105,000	47,200	
2	在日米陸軍相模総合補給廠(野積場)	366,000	146,000	小山公民館
3	淵野辺公園一帯	660,000	182,100	相模原球場
4	相模原ゴルフクラブ	1,291,000	515,100	相模原ゴルフクラブ
5	在日米陸軍キャンプ座間内	748,000	319,700	相武台分署
6	相模カンツリー倶楽部	580,000	170,800	東林分署
7	横山公園・上溝中学校	203,700	57,200	横山公園 総合水泳場内
8	鹿沼公園	59,160	14,700	鹿沼公園
9	相模女子大学一帯	343,500	62,400	谷口台小学校
10	青山学院・国学院大学	191,100	64,100	
11	県立橋本高等学校・相原中学校	53,500	15,700	県立橋本高等学校
12	小山中学校・小山公園一帯	76,000	20,300	小原公園
13	下九沢団地一帯	59,500	15,400	
14	県立相模原公園一帯	560,300	237,070	麻溝公園
15	(独)国立病院機構相模原病院一帯	231,100	63,900	桜台小学校
16	さがみロボット産業特区プレ実証フィールド	36,000	14,600	さがみロボット産業特区プレ実証フィールド
17	県立上溝南高等学校	35,900	14,300	県立上溝南高等学校
18	県立相模田名高等学校	36,900	28,200	県立相模田名高等学校
19	上鶴間小学校・上鶴間中学校	40,300	15,000	上鶴間中学校
20	古淵鶴野森公園	27,300	20,200	古淵鶴野森公園
21	川尻小学校・相模丘中学校	47,194	19,050	
22	県立相模原城山高等学校・中沢中学校	72,952	27,451	中沢中学校

広域避難場所名称		総面積 (㎡)	収容可能 人員 (人)	広域避難場所対応倉庫設置場所
23	津久井湖ゴルフ倶楽部	1,410,000	682,338	
24	串川小学校・串川中学校	28,640	11,860	串川グラウンド
25	旧鳥屋小学校・鳥屋学園	21,819	4,482	鳥屋出張所
26	青野原グラウンド	18,506	8,867	青野原グラウンド
27	旧青根中学校	11,290	3,845	
28	内郷小学校・内郷グラウンド	20,454	6,093	内郷グラウンド
29	北相中学校	13,317	6,510	与瀬グラウンド
30	藤野中学校	13,680	3,854	藤野中学校
31	名倉グラウンド	24,448	12,009	名倉グラウンド
32	旧県立相模原総合高等学校	45,200	15,100	
33	旭小学校	16,790	3,089	
34	旭中学校・橋本小学校	60,205	15,569	
35	宮上小学校	11,792	2,116	
36	当麻田小学校	17,253	3,815	
37	相原小学校	17,616	3,046	
38	相武台小学校	20,341	3,750	
39	相武台中学校	33,356	10,625	
40	もえぎ台小学校	18,144	4,330	
41	緑台小学校	16,788	3,601	
42	若草小学校	17,448	4,265	
43	若草中学校	20,318	5,282	

一般倉庫

(令和5.4.1)

名 称	面積(㎡)	構造	名 称	面積(㎡)	構造
1 上溝防災備蓄倉庫	132	S造	8 南台防災備蓄倉庫	288	R C造
2 緑が丘分署防災備蓄倉庫	358	R C造	9 新磯分署防災備蓄倉庫	210	R C造
3 南合同庁舎防災備蓄倉庫	60	R C造	10 三井防災備蓄倉庫	154	S造
4 淵野辺水防防災備蓄倉庫	98	R C造	11 市救援物資集積・配送センター内防災備蓄倉庫	549	S造
5 相模原球場防災備蓄倉庫	278	R C造			
6 消防局防災備蓄倉庫	25	SRC造	12 吉野郵便局内防災備蓄倉庫	21	R C造
7 大沢防災備蓄倉庫	230	R C造			

避難所倉庫

(令和5.4.1)

名 称	面積(㎡)	構造	名 称	面積(㎡)	構造
1 星が丘小学校	約30	R C造	55 麻溝小学校	約30	軽量鉄骨造
2 共和小学校	"	"	56 大島小学校	"	"
3 内出中学校	"	"	57 新宿小学校	"	"
4 大沢中学校	"	"	58 大沼小学校	"	R C造 (余裕教室)
5 田名中学校	"	"	59 新磯小学校	"	軽量鉄骨造
6 相陽中学校	"	"	60 桜台小学校	"	"
7 若草中学校	"	"	61 清新小学校	約29	体育館併設
8 小山中学校	"	軽量鉄骨造	62 弥栄中学校	約30	軽量鉄骨造
9 清新中学校	"	"	63 陽光台小学校	"	"
10 中央小学校	"	"	64 旭小学校	"	"
11 青葉小学校	"	"	65 当麻田小学校	"	"
12 橋本小学校	"	"	66 大野台中央小学校	"	"
13 相原中学校	"	"	67 田名北小学校	"	"
14 淵野辺小学校	"	"	68 上溝南小学校	"	"

	名 称	面積(m <sup>2</sup> )	構造		名 称	面積(m <sup>2</sup> )	構造
15	上 溝 南 中 学 校	約30	軽量鉄骨造	69	富 士 見 小 学 校	約 32	体育館併設
16	上 鶴 間 小 学 校	"	"	70	夢 の 丘 小 学 校	約 34	"
17	光 が 丘 小 学 校	約61	R C 造 (余裕教室)	71	横 山 小 学 校	約30	軽量鉄骨造
18	大 野 台 中 学 校	"	"	72	若 草 小 学 校	"	"
19	相 武 台 小 学 校	約32	"	73	小 山 小 学 校	約 56	体育館併設
20	東 林 小 学 校	約41	"	74	相 武 台 中 学 校	約 30	"
21	旭 中 学 校	約30	R C 造	75	向 陽 小 学 校	"	軽量鉄骨造
22	鶴 野 森 中 学 校	"	"	76	大 野 北 中 学 校	"	"
23	上 溝 中 学 校	"	"	77	相 模 台 小 学 校	"	"
24	も え ぎ 台 小 学 校	"	"	78	大 野 南 中 学 校	約 53	校舎併設 ・旧機械室
25	東 林 中 学 校	"	"	79	大 野 北 小 学 校	約 30	軽量鉄骨造
26	弥 栄 小 学 校	"	軽量鉄骨造	80	新 町 中 学 校	"	"
27	若 松 小 学 校	"	"	81	由 野 台 中 学 校	"	"
28	鶴 の 台 小 学 校	"	"	82	相 模 台 中 学 校	"	"
29	大 野 小 学 校	"	"	83	相 模 丘 中 学 校	65	"
30	谷 口 台 小 学 校	"	"	84	川 尻 小 学 校		
31	鹿 島 台 小 学 校	"	"	85	湘 南 小 学 校	約 30	"
32	大 野 台 小 学 校	約46	R C 造 (余裕教室)	86	広 田 小 学 校	"	"
33	作 の 口 小 学 校	約31	"	87	広 陵 小 学 校	"	"
34	麻 溝 台 中 学 校	約26	"	88	中 沢 中 学 校	"	"
35	上 鶴 間 中 学 校	約30	"	89	鳥 屋 学 園	"	"
36	く ん ぎ 台 小 学 校	約23	"	90	中 野 中 学 校	"	"
37	田 名 小 学 校	約35	R C 造 (体育館併設)	91	青 和 学 園	"	"
38	緑 が 丘 中 学 校	約30	R C 造	92	三 井 地 域 セ ン タ ー	"	"
39	共 和 中 学 校	"	"	93	根 小 屋 小 学 校	"	"
40	中 央 中 学 校	"	軽量鉄骨造	94	中 野 小 学 校	"	"
41	並 木 小 学 校	"	"	95	旧 青 根 中 学 校	"	"
42	宮 上 小 学 校	"	"	96	津 久 井 中 央 小 学 校	"	"
43	淵 野 辺 東 小 学 校	"	"	97	串 川 小 学 校	"	体育館 2 F を 倉庫として一 部使用
44	谷 口 小 学 校	"	"				
45	九 沢 小 学 校	"	"	98	小 網 地 域 セ ン タ ー	約21	敷地内倉庫の 一部を使用
46	双 葉 小 学 校	"	"	99	千 木 良 小 学 校	約19	体育館下倉庫
47	緑 台 小 学 校	"	"	100	桂 北 小 学 校	約 30	軽量鉄骨造
48	相 原 小 学 校	"	R C 造	101	内 郷 小 学 校	"	"
49	南 大 野 小 学 校	"	"	102	藤 野 南 小 学 校	"	"
50	二 本 松 小 学 校	"	軽量鉄骨造	103	ふるさと自然体験教室 ・ 沢 井 体 育 館	約 33	"
51	鶴 園 小 学 校	"	"				
52	谷 口 中 学 校	"	"	104	藤 野 小 学 校	約 30	"
53	大 沢 小 学 校	"	"	105	藤 野 中 学 校	"	"
54	上 溝 小 学 校	"	"				

相模丘中学校・川尻小学校は、相模丘中学校敷地内に設置した倉庫を共同使用



その他備蓄倉庫

(令和5.4.1)

	名 称	面積(m <sup>2</sup> )	構造		名 称	面積(m <sup>2</sup> )	構造
1	城山保健福祉センター	14.4	アルミ製	11	旧 牧 郷 小 学 校 牧 郷 ラ ボ	5.8	アルミ製
2	青山 3848 国道 413 号脇	"	"	12	旧 菅 井 小 学 校	6.6	亜鉛鉄板製
3	消防団 5 - 4 敷地内	14.7	"	13	シュタイナー学園 (旧名倉小学校)	5.8	アルミ製
4	津久井又野公園	14.4	"	14	旧 小 淵 小 学 校	"	"
5	相模湖林間公園隣接地	"	"	15	藤野総合事務所	9.8	RC造
6	小原ふれあい広場	"	"	16	藤野総合事務所	7.2	アルミ製
7	相模湖総合事務所	"	"	17	佐野川公民館	10.8	"
8	藤野芸術の家	5.8	"	18	藤野北小学校	5.8	"
9	旧篠原小学校地内 篠原の里センター	"	"	19	旧佐野川町民センター	"	"
10	藤野農村環境改善 セ ン タ ー	7.2	"	20	旧 吉 野 小 学 校	8.2	"

防災情報システムの整備

防災行政用無線の設置状況

(令和5.4.1)

局種	同 報 無 線			移 動 無 線 ( デジタル地域防災無線 )				
	親局	子局	戸別受信機	統制 基地局	中継局	移 動 局 ( 計 325 )		
設置数	1	558	340	1	5	車載	可搬	携帯
						83	157	85

震度情報システム

(令和5.4.1)

震度観測地域	地震計設置場所	設置主体	ネットワーク
中央	市役所	気象庁	気象庁へ接続
橋本	北消防署本署	相模原市	気象庁へ接続
上溝	上溝分署	相模原市	気象庁へ接続
田名	田名分署	相模原市	
水郷田名	相模川ふれあい科学館	相模原市	気象庁へ接続
磯部	新磯まちづくりセンター	相模原市	気象庁へ接続
中央	消防指令センター	相模原市	
大島	大沢分署	防災科学研究所	気象庁へ接続
中野	津久井総合事務所	神奈川県	気象庁へ接続
与瀬	相模湖総合事務所	神奈川県	気象庁へ接続
久保沢	城山総合事務所	神奈川県	気象庁へ接続
小淵	藤野総合事務所	防災科学研究所	気象庁へ接続



# 令和5年版 消防年報

令和5年8月発行

発行 相模原市消防局  
編集 消防部 消防総務課

〒252 - 0239

相模原市中央区中央2丁目2番15号

電話 042(751)9111(代表)

042(751)9105(直通)

FAX 042(786)2471(直通)

メールアドレス

syobousoumu@city.sagamihara.kanagawa.jp (Eメール)

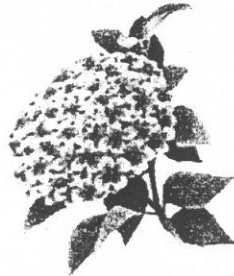
syobousoumu@city.sagamihara.lg.jp (LGWANメール)

---

市制 20 周年を記念して  
選ばれた市の花

昭和 49 年 11 月 20 日制定

市  
の  
花



あじさい



けやき

市  
の  
木

たくましい市民のまちを象徴

昭和 43 年 3 月 1 日制定

---

市制 20 周年を記念して  
選ばれた市の鳥

昭和 49 年 11 月 20 日制定

市  
の  
鳥



ひばり